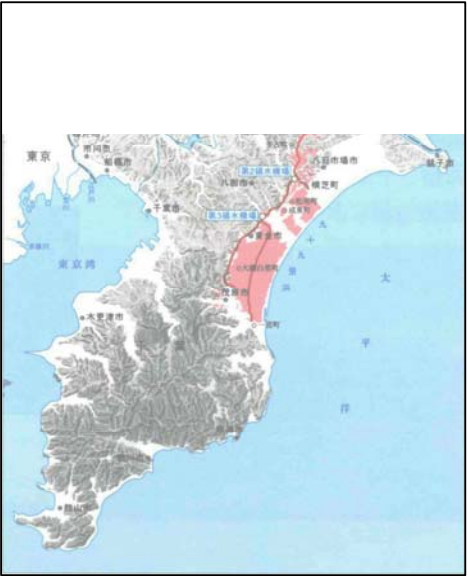
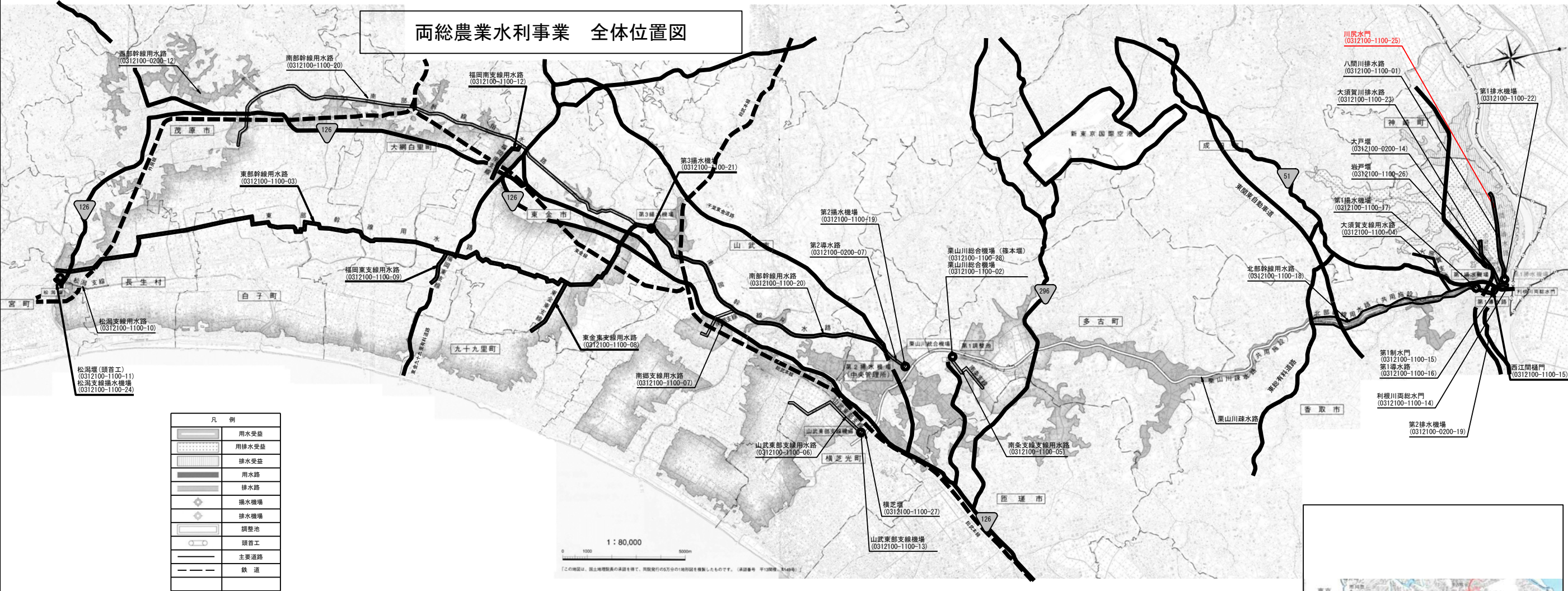
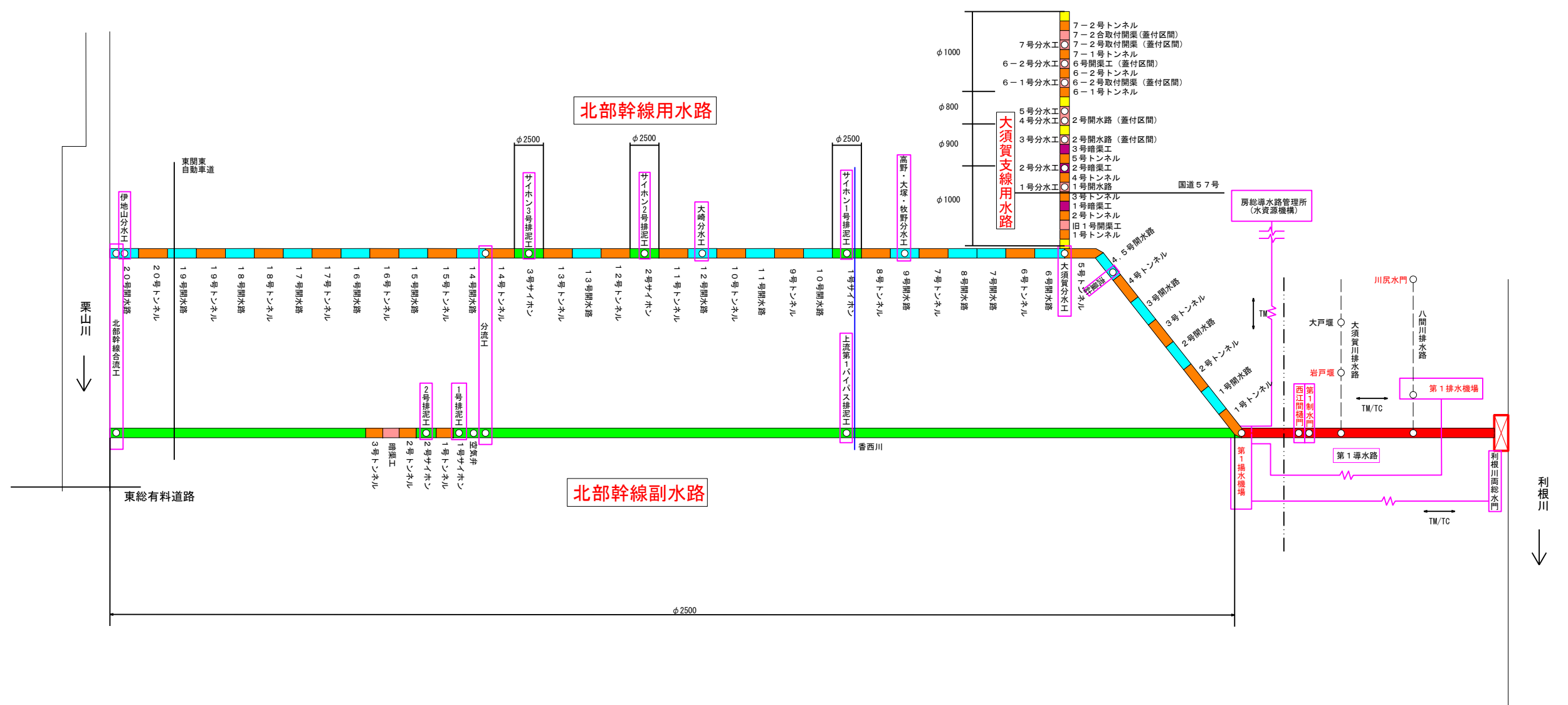




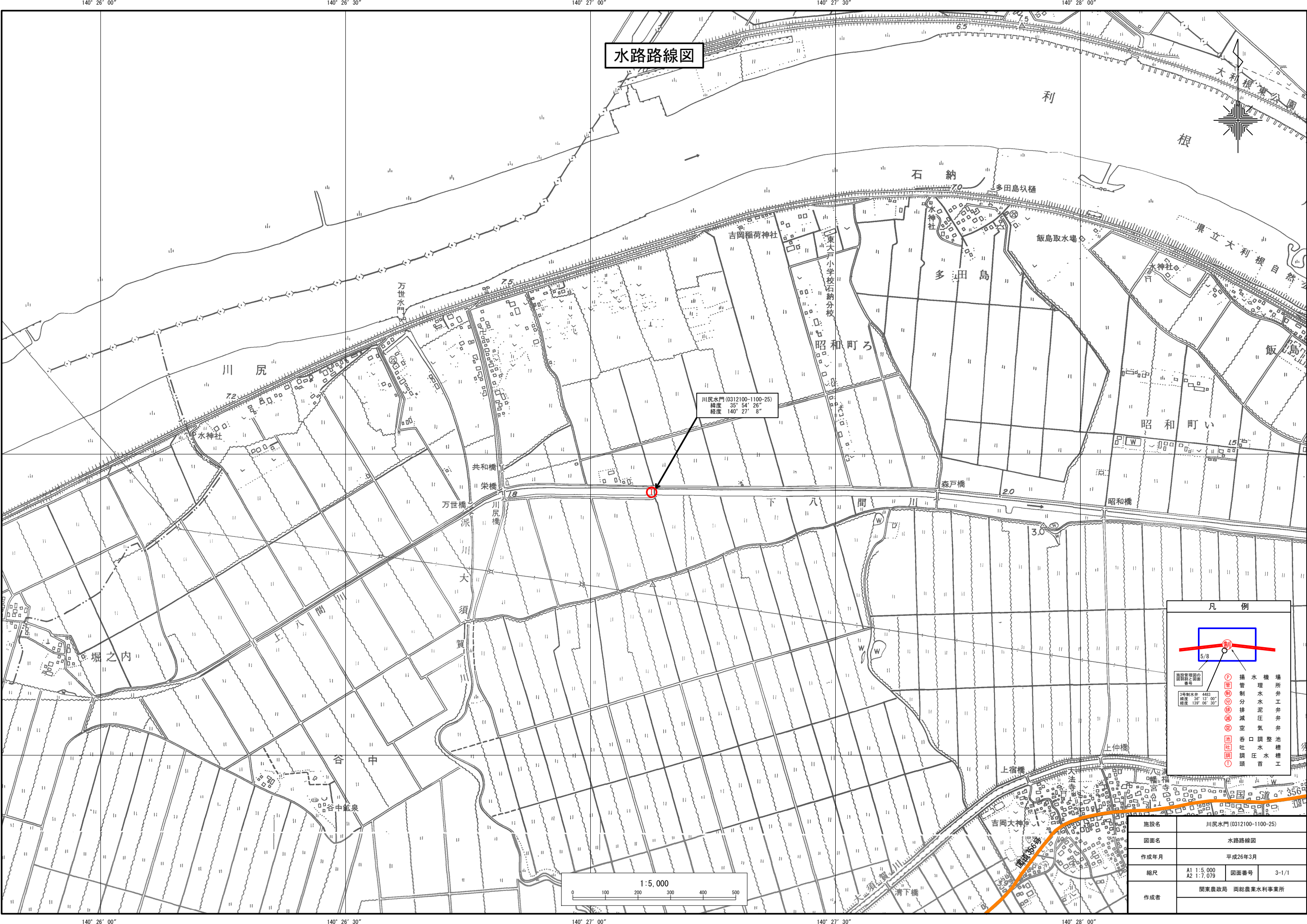
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	全体位置図		
作成年月日	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 80,000	図面番号	1-1/1
	A2 1:113,137		
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

両総農業水利事業 管理用設備模式図



凡 例	
記号	名称
	φ 2800
	φ 2500
	φ 800
	開水路
	トンネル
	暗渠工
	開渠工
	TM/TC

施設名 (施設番号)	両総農業水利事業		
図面名	管理用設備模式図		
作成年月日	平成26年3月		
縮尺	————	図面番号	2-1/1
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



水路路線図

川尻水門 (0312100-1100-25)
緯度 35° 54' 26"
経度 140° 27' 8"

凡 例

① 揚水機 ② 水門 ③ 分水 ④ 調整池 ⑤ 排水口 ⑥ 吐水 ⑦ 排水頭

⑧ 3号制水弁 4483
緯度 35° 13' 00"
経度 139° 05' 30"

⑨ 施設管理図の図面番号と図面番号

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	水路路線図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:5,000 A2 1:7,079	図面番号	3-1/1
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

施設図郭割図

水路路線図

川尻水門 (0312100-1100-25)
緯度 35° 54' 26"
経度 140° 27' 8"

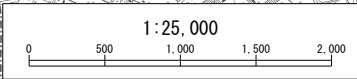
凡 例

水路路線図 の図面番号	水路路線図1/2 30/45	水路路線図 の図面番号
施設管理図 の図面番号		施設管理図 の図面番号

--- 用水路 (隧道・パイプライン)
— 用水路 (開水路)

(P) 揚水機場
管 管 理 所
池 呑口調整池
吐 吐水槽
調 調圧水槽
▲ 頭首工

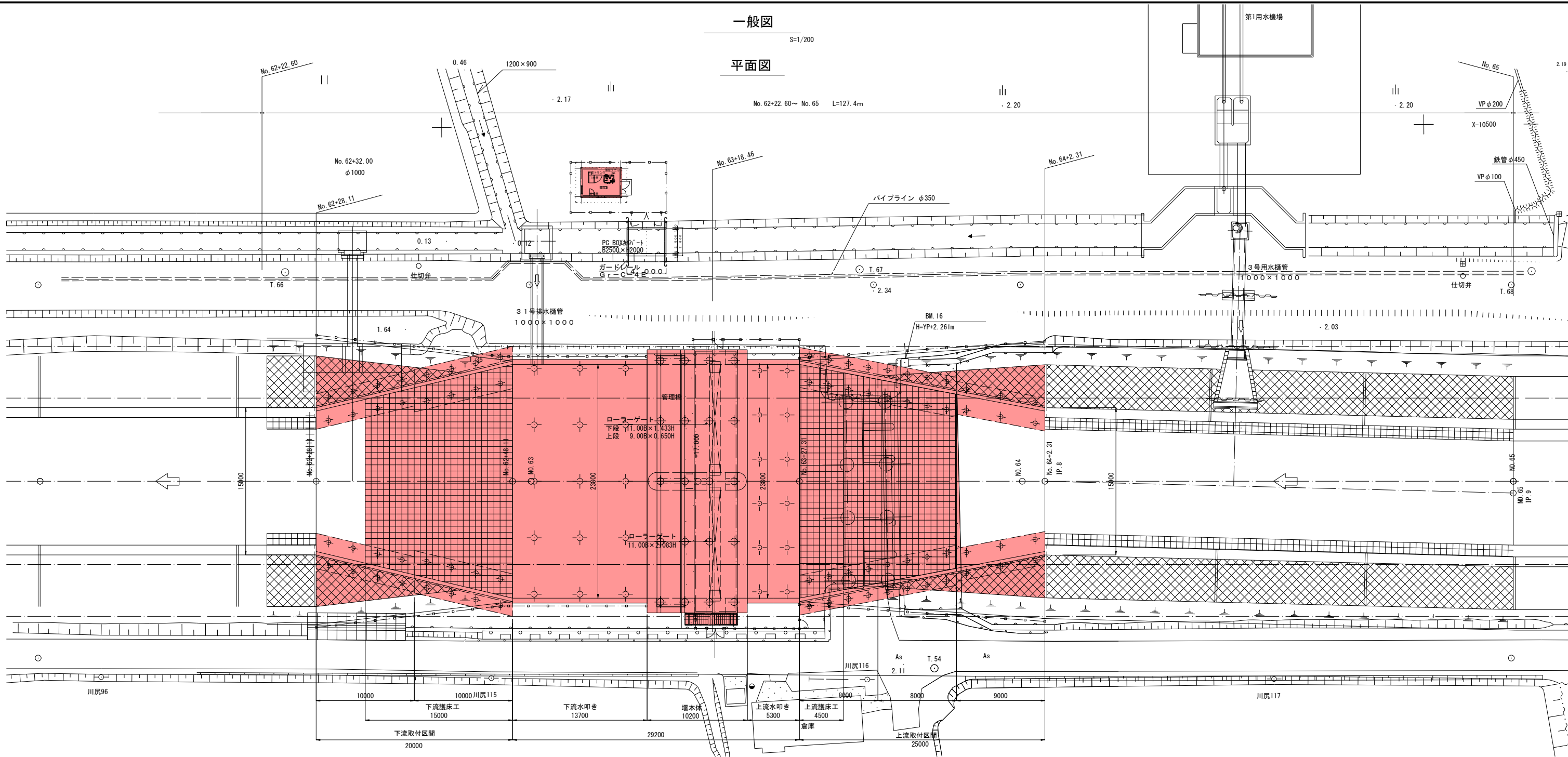
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	施設図郭割図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:25,000 A2 1:35,395	図面番号	4-1/1
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



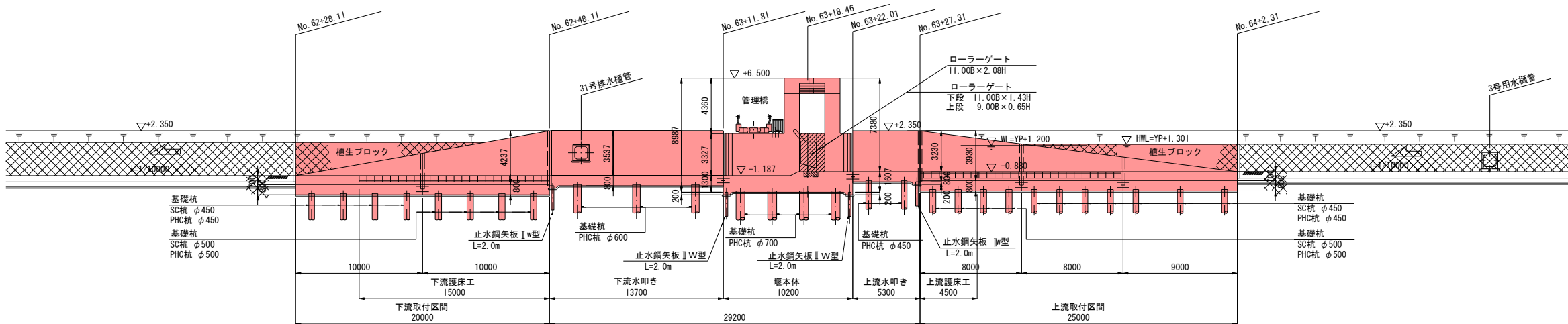
一般図

S=1/200

平面図

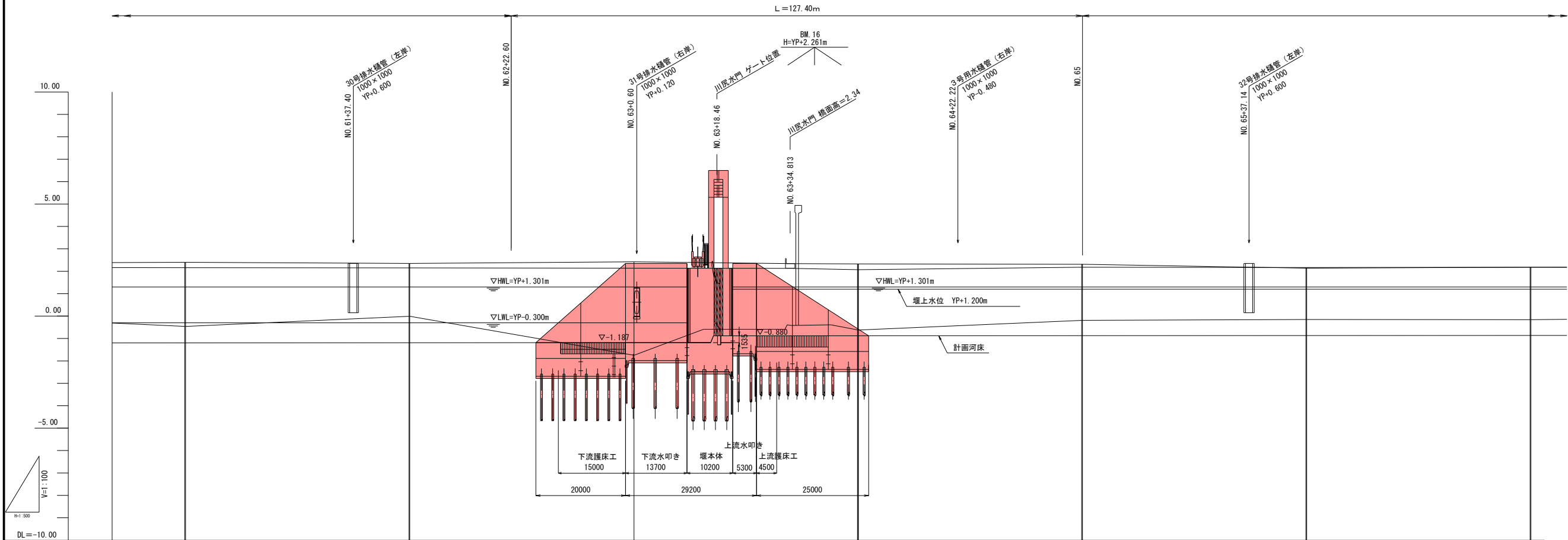


縦断面図



施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	平面図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:200 A2 1:283	図面番号	5-1/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

縦断面図



計 画									
1/10流量	1/10水位高	河床勾配	右堤防高	左堤防高	河床高	追加距離	単距離	測点	曲線
23.4m3/s	1.303 1.303		2.350 2.350	2.350 2.350	-1.195 -1.195				
		$i=1/10000$ $L=3128.11m$	2.350 2.350	2.350 2.350	-1.190 -1.190				
		Level	2.350 2.350	2.350 2.350	-1.187 -1.187				
		Level	2.350 2.350	2.350 2.350	-1.187 -0.880				
		Level	2.350 2.350	2.350 2.350	-0.880 -0.880				
14.8m3/s	1.301 1.301		2.350 2.350	2.350 2.350	-0.875 -0.875				
		$i=1/10000$ $L=437.000m$	2.350 2.350	2.350 2.350	-0.870 -0.870				
			2.350 2.350	2.350 2.350	-0.865 -0.865				
			2.350 2.350	2.350 2.350	-0.865 -0.865				

現 況									
左堤防高 (右堤防高)	河床高	追加距離	単距離	測点	曲線	左堤防高 (右堤防高)	河床高	追加距離	単距離
2.16 (2.40)	-0.46	3048.804 3050.00	48.804 0.196	+48.804 No. 61		2.16 (2.40)	-0.46	3048.804 3050.00	48.804 0.196
2.15 (2.35)	-0.01	3098.804 3100.00	48.804 0.196	+48.804 No. 62		2.15 (2.35)	-0.01	3098.804 3100.00	48.804 0.196
2.14 (2.42)	-1.75	3122.60 3128.11	48.804 0.196	+48.804 No. 63		2.14 (2.42)	-1.75	3122.60 3128.11	48.804 0.196
2.13 (2.34)	-0.42	3184.854 3186.00	34.854 0.196	+34.854 No. 64		2.13 (2.34)	-0.42	3184.854 3186.00	34.854 0.196
2.07 (2.33)	-0.82	3198.804 3200.00	14.950 0.196	+48.804 No. 65		2.07 (2.33)	-0.82	3198.804 3200.00	14.950 0.196
2.18 (2.31)	-0.19	3248.804 3250.00	48.804 0.196	+48.804 No. 66		2.18 (2.31)	-0.19	3248.804 3250.00	48.804 0.196
2.17 (2.14)	-0.15	3298.804 3300.00	48.804 0.196	+48.804 No. 67		2.17 (2.14)	-0.15	3298.804 3300.00	48.804 0.196
2.16 (2.18)	-0.16	3348.804 3350.00	48.804 0.196	+48.804 No. 68		2.16 (2.18)	-0.16	3348.804 3350.00	48.804 0.196

凡 例	
現況河床高	——
現況左堤防高	——
現況右堤防高	——
計画河床高	——
計画左堤防高	——
計画右堤防高	——
計画1/10水位高	——
計画1/2水位高	——

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	縦断面図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-2/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

標準断面図

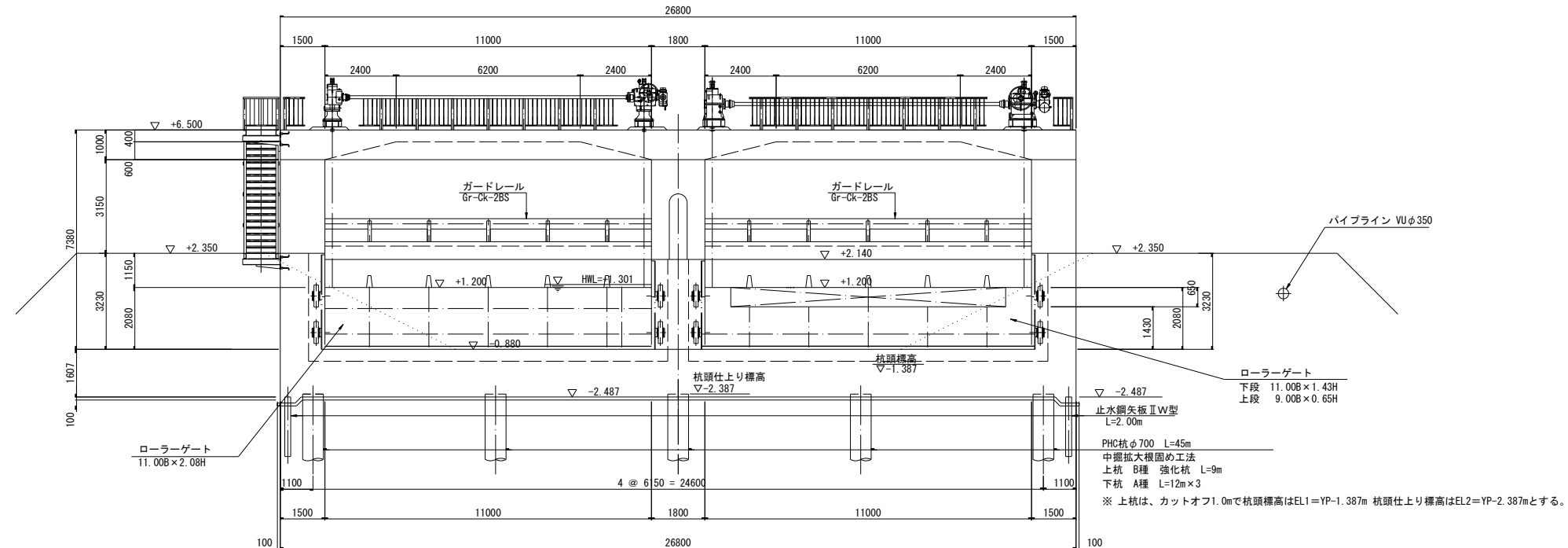
ゲート部標準断面図（正面図）

No. 63+18.46

 $S=1/100$

(左岸側)

(右岸側)

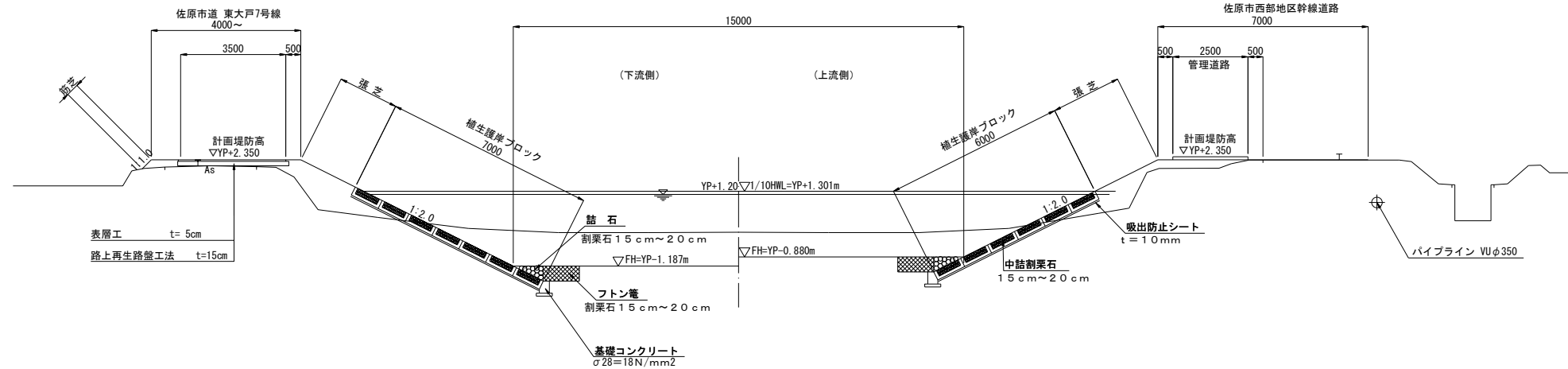


河川標準断面図

$$S=1/100$$

(左岸側)

(右岸側)



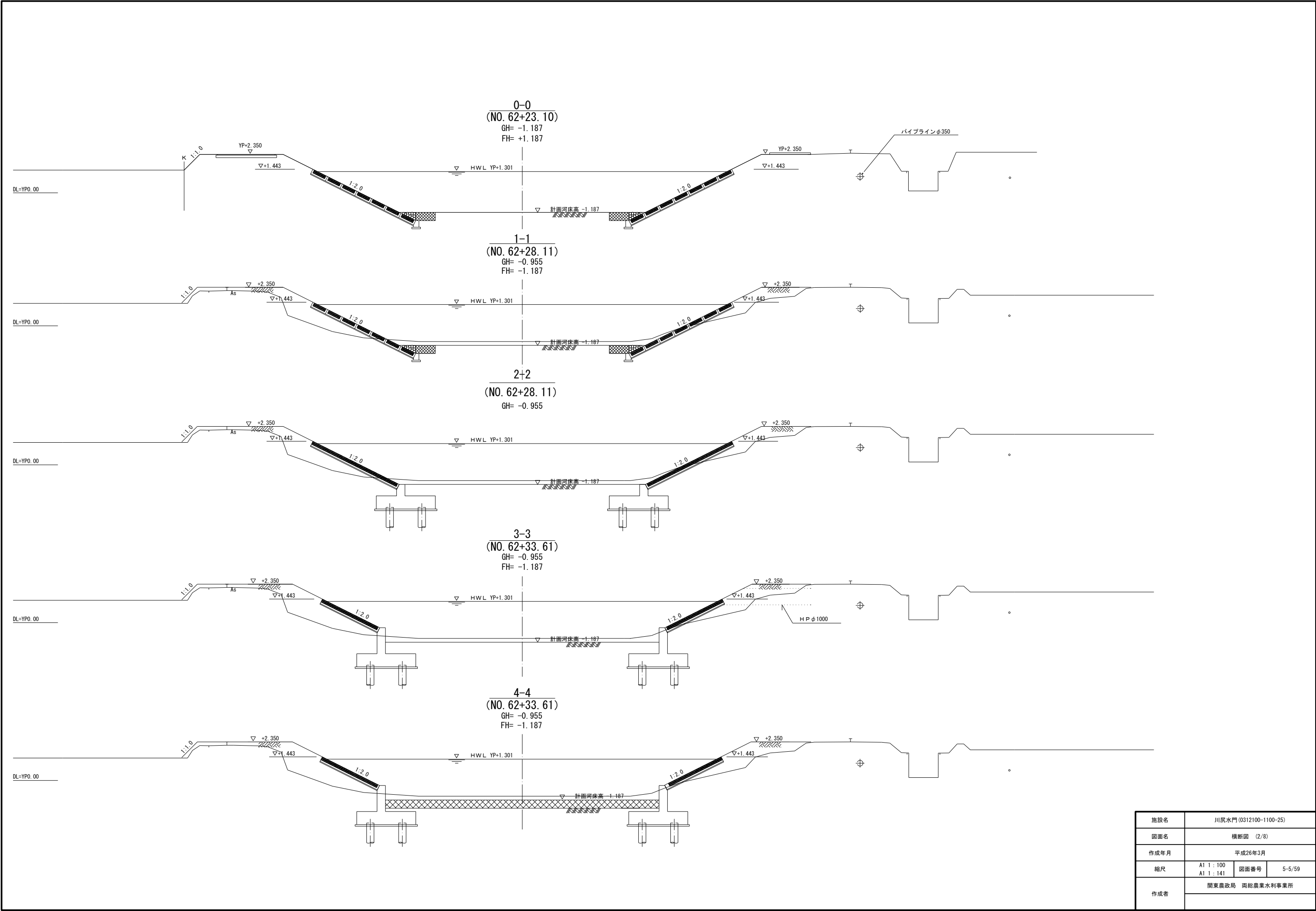
DL=YP-5.00

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	標準断面図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A2 1 : 141	図面番号	5-3/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

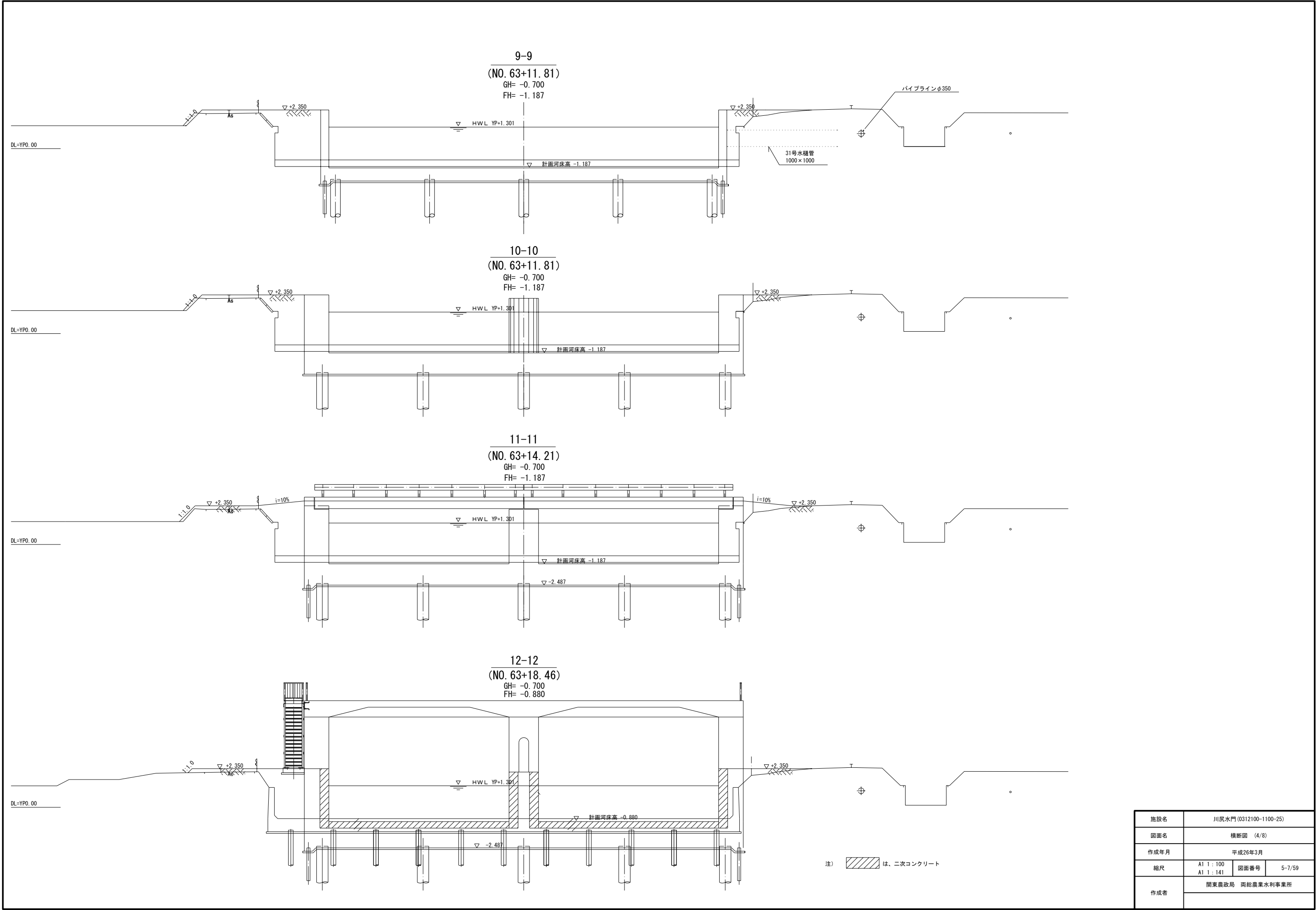
S=1/200



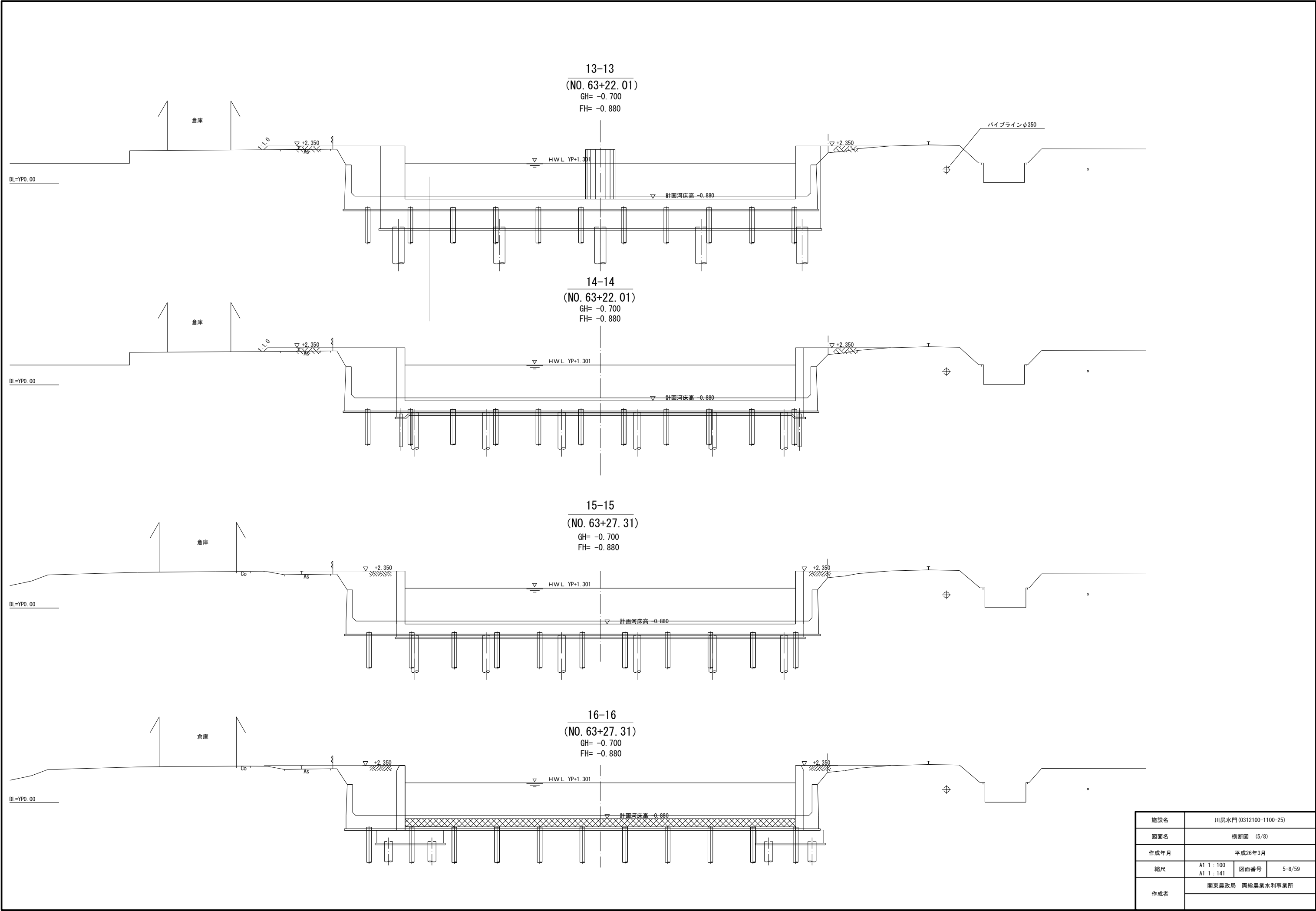
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	横断面 (位置図) (1/8)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 200 A2 1 : 283	図面番号	5-4/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



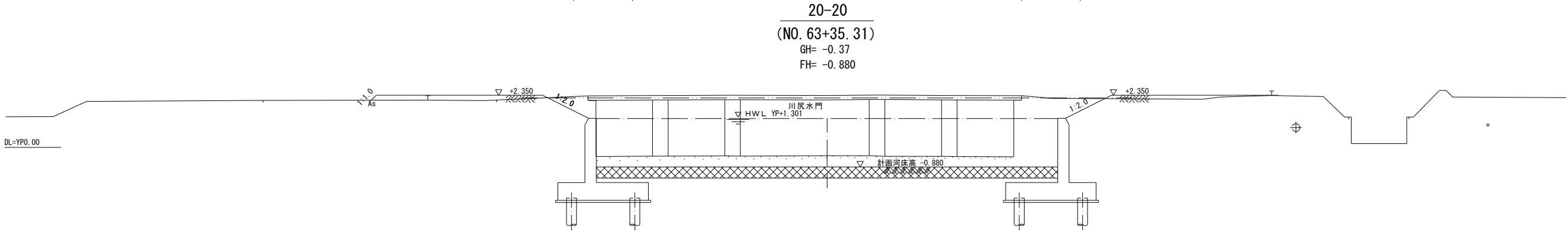
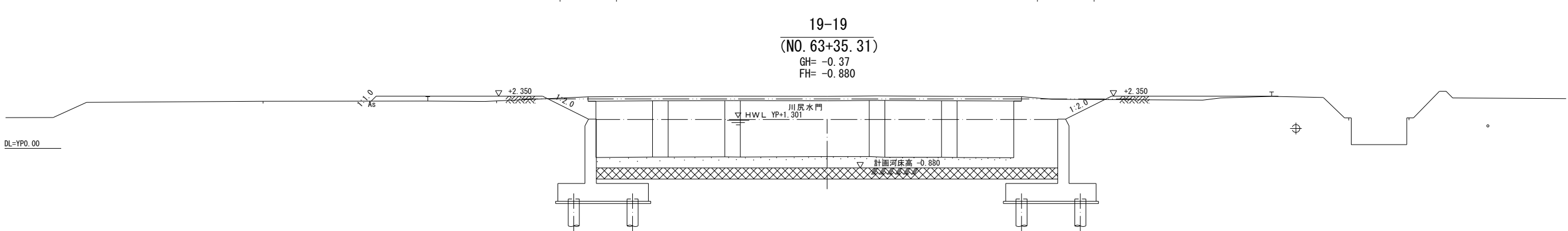
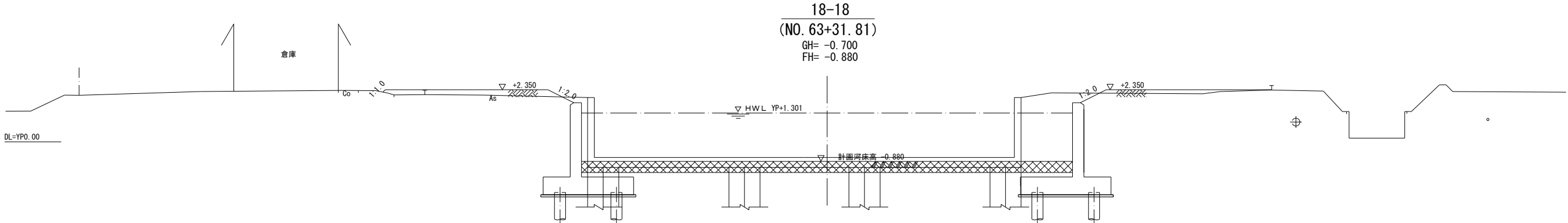
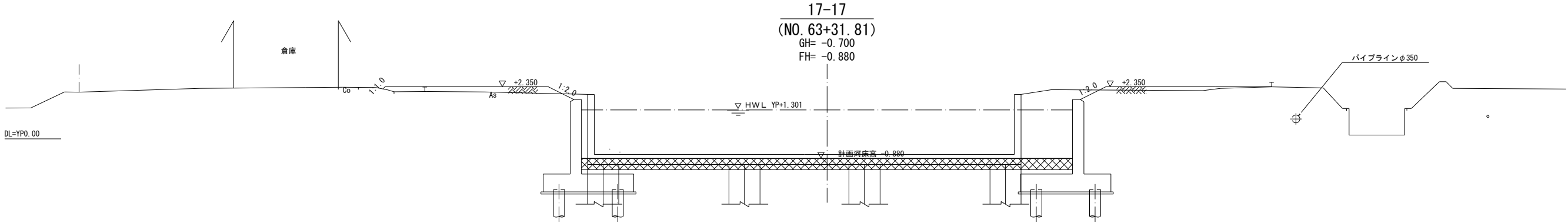
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	横断面 (2/8)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A1 1 : 141	図面番号	5-5/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



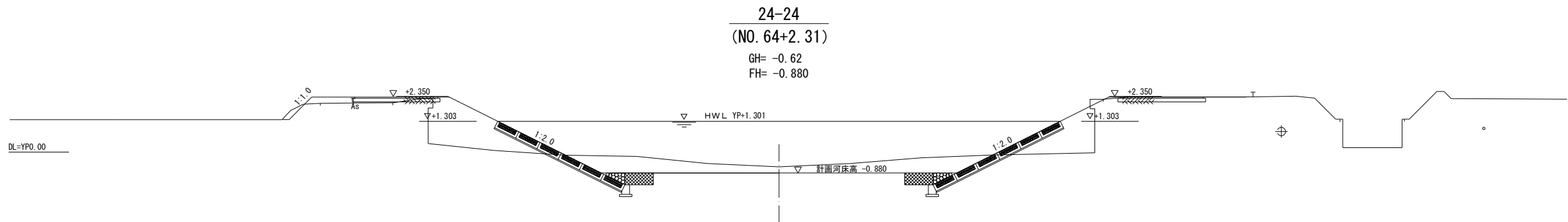
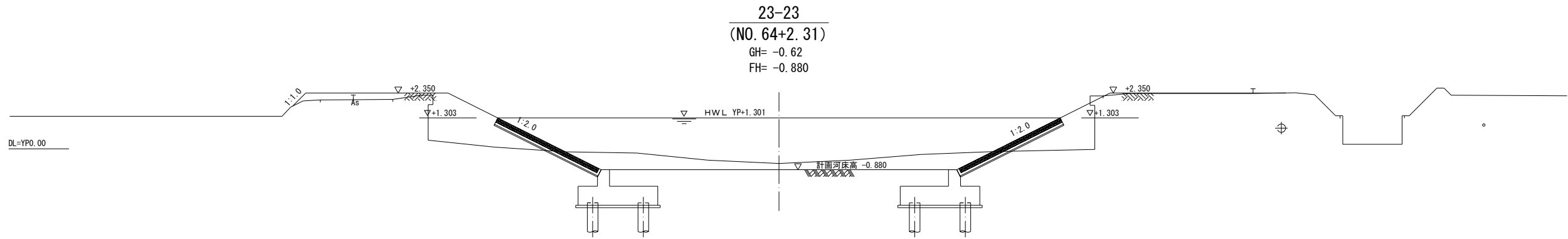
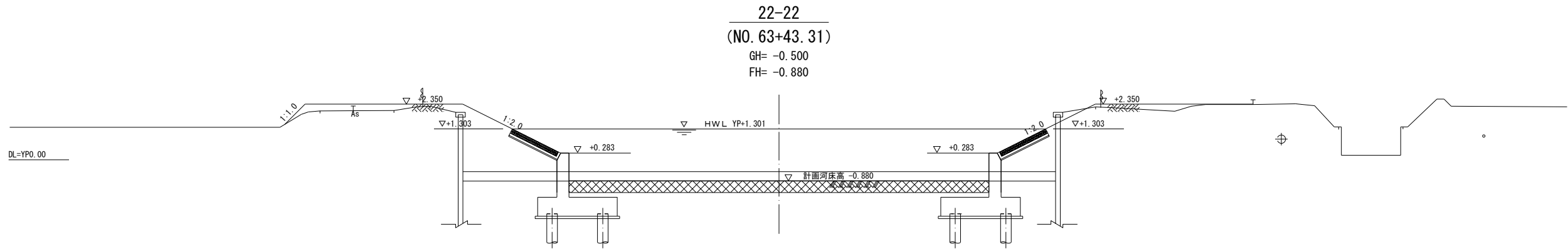
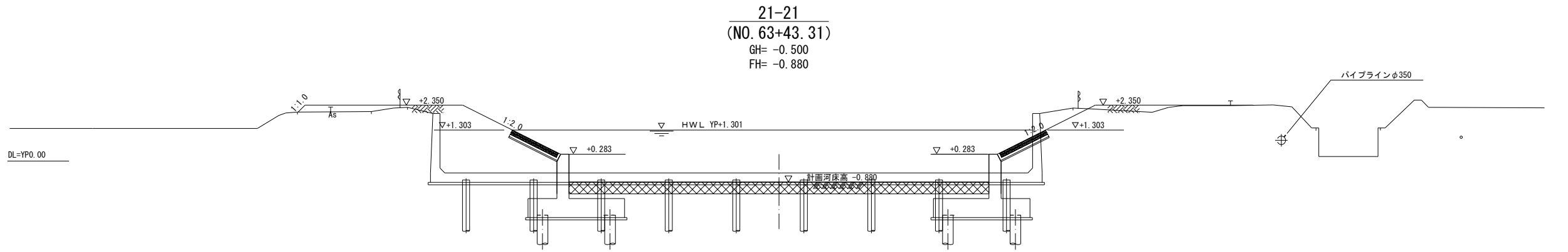
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	横断面 (4/8)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A1 1 : 141	図面番号	5-7/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



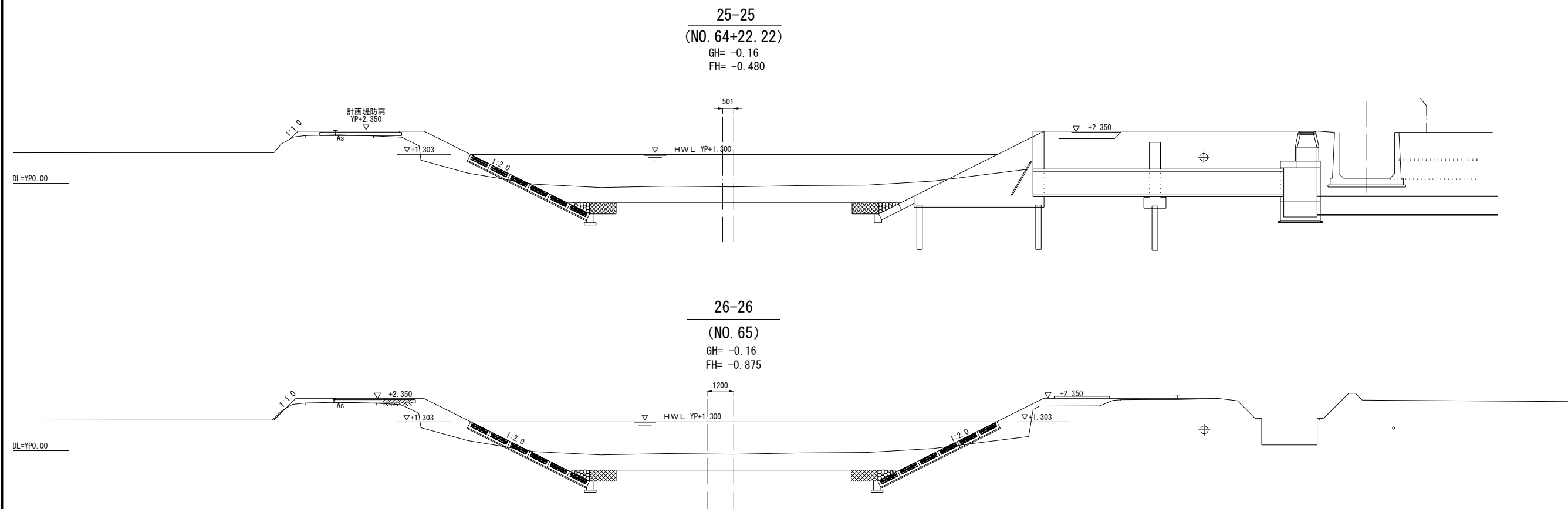
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	横断面 (5/8)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A1 1 : 141	図面番号	5-8/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	横断面 (6/8)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A1 1 : 141	図面番号	5-9/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

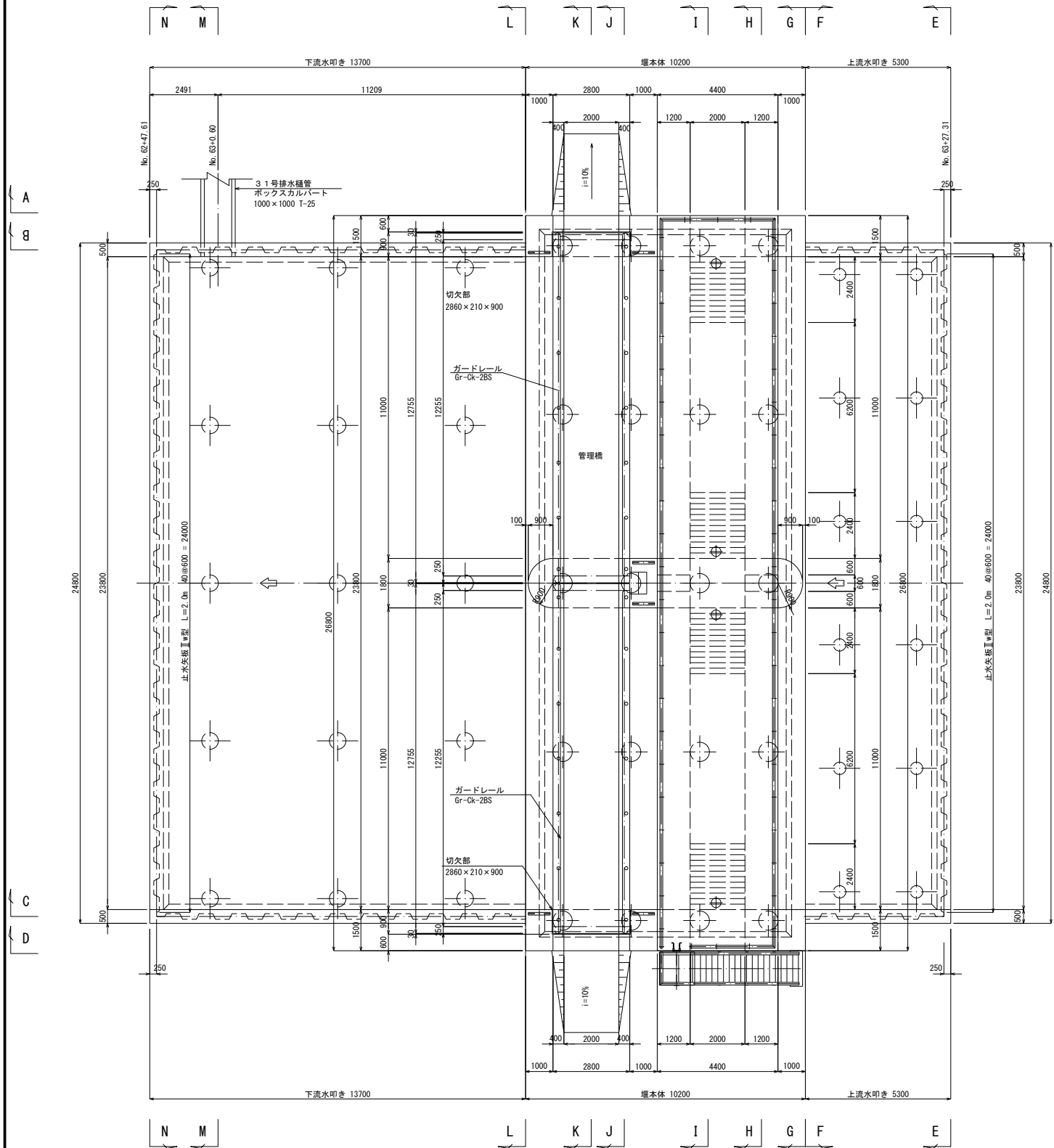


施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	横断面 (7/8)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A1 1 : 141	図面番号	5-10/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

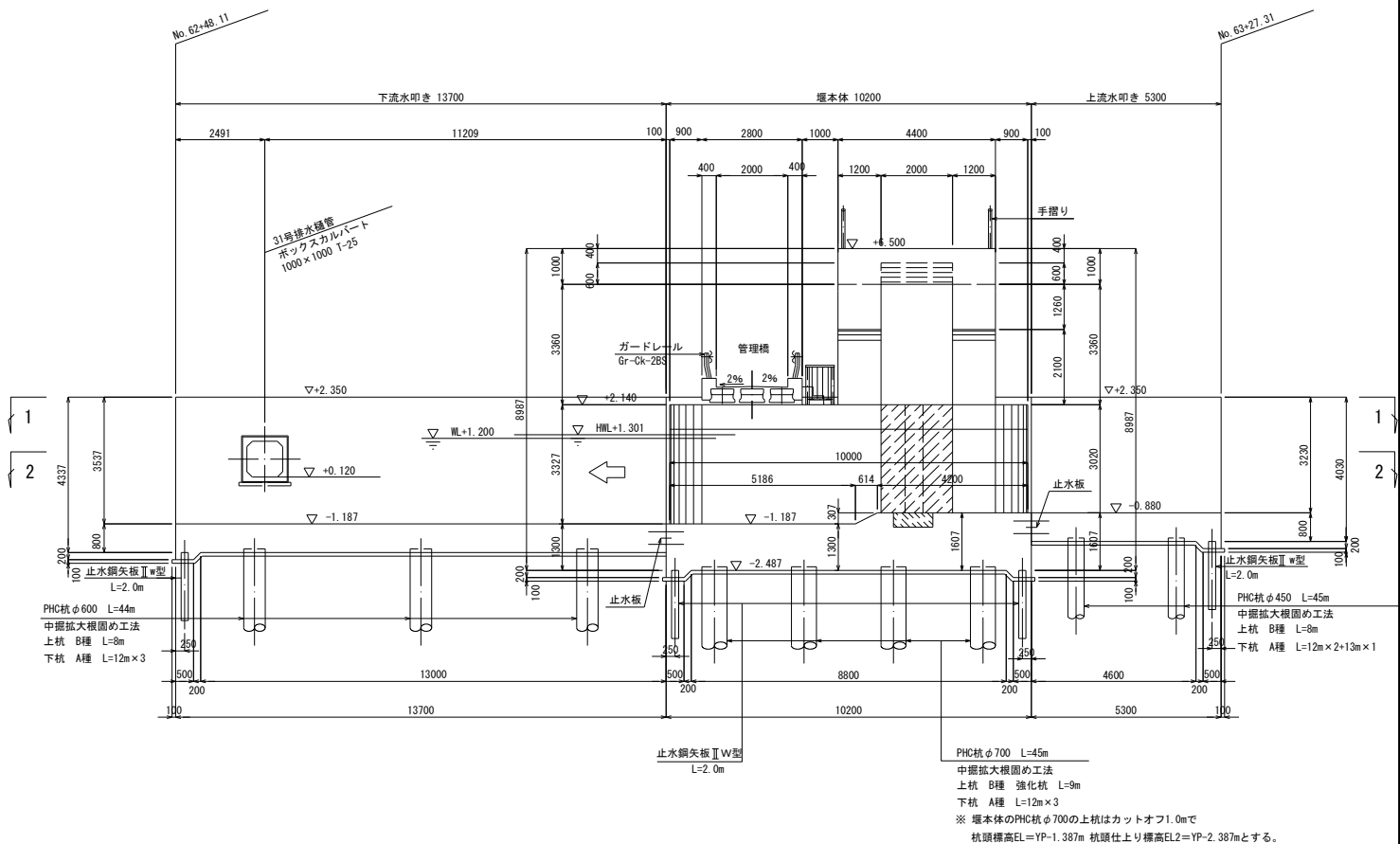


施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	横断面 (8/8)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A1 1 : 141	図面番号	5-11/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

平面図



縦断面図



使用材質

均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
無筋コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
鉄筋コンクリート	$\sigma_{ck}=21N/mm^2$
二次コンクリート	$\sigma_{ck}=21N/mm^2$
鉄筋	S295A

注意事項

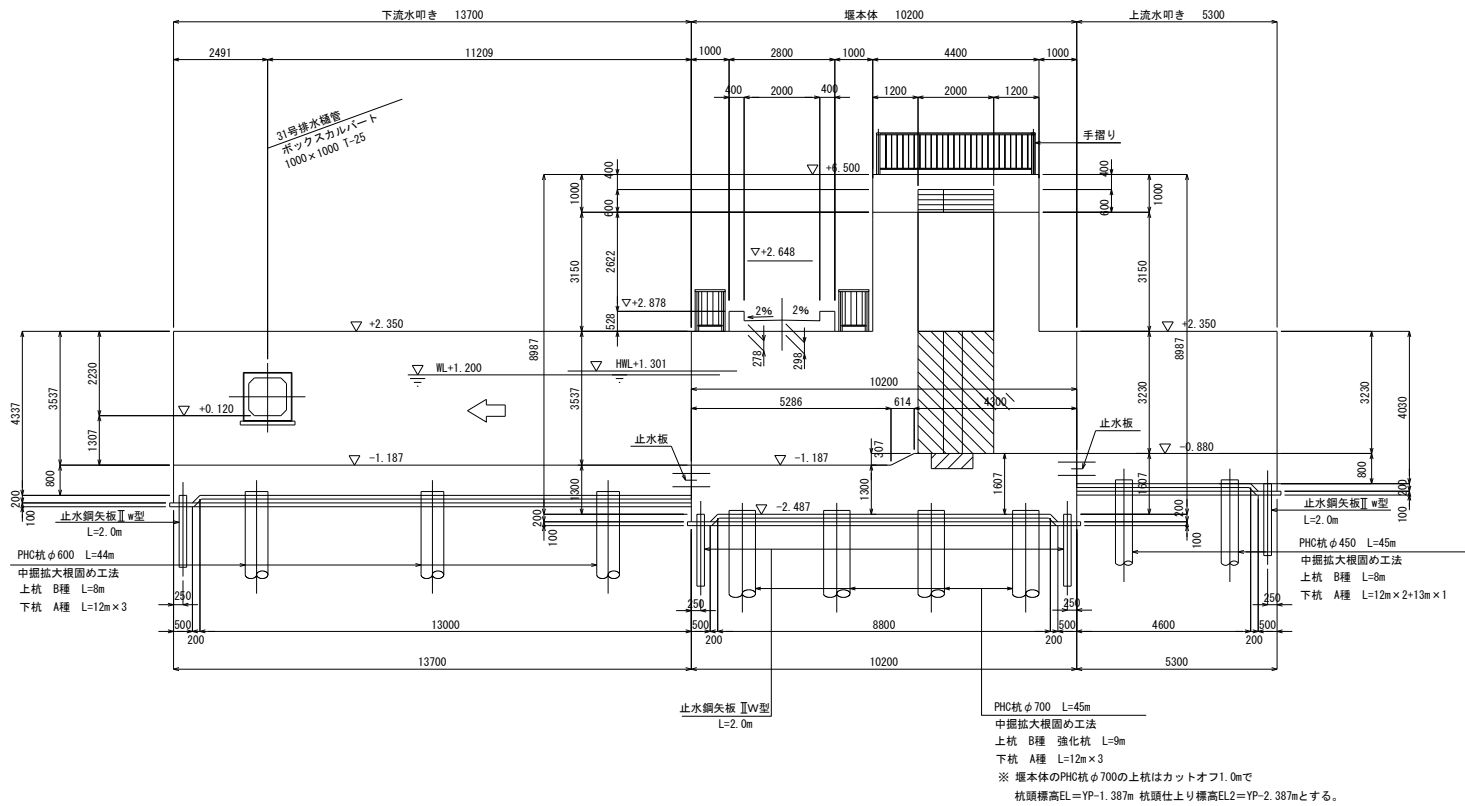
- 止水鋼矢板の平面配置は、別図「下部工構造図 (5/9, 8/9)」参照。
- 止水板、ダウエルバーの配置は、別図「下部工構造図 (3/9, 4/9)」参照。
- 止水板、ダウエルバーの配置は、別図「上流取付護岸工 (2/2)」参照。
- 止水板、ダウエルバーの配置は、別図「下流取付護岸工 (2/2)」参照。
- 管理棟700mm幅箱抜き位置及び寸法は、「管理棟詳細図 (1/6) 及び (4/6)」によるものとする。
- ゲートの箱抜き・サシ筋は、「箱抜き・サシ筋図」によるものとする。

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下部工構造図 (1/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:100 A1 1:141	図面番号	5-12/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

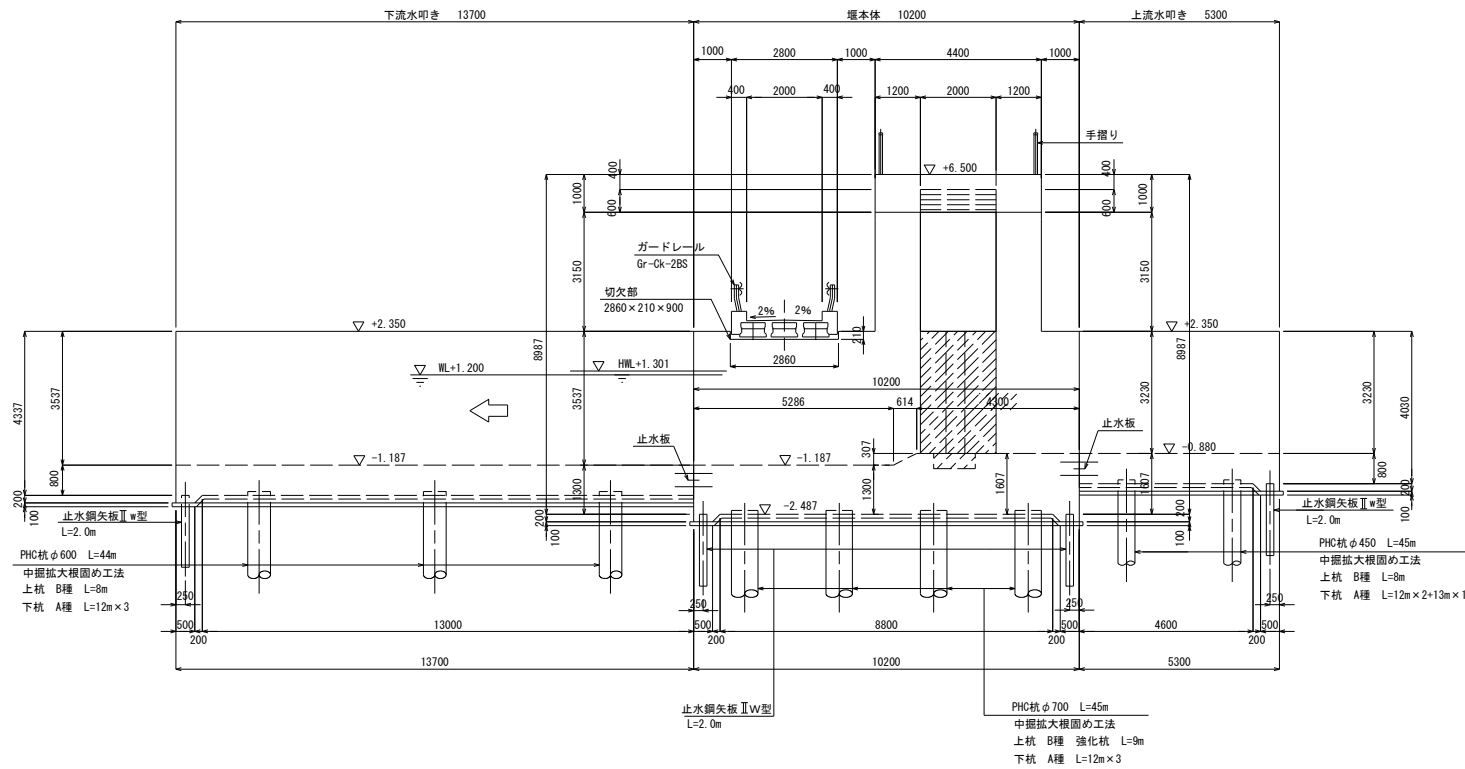
下部工構造図 (2/9)

S=1/100

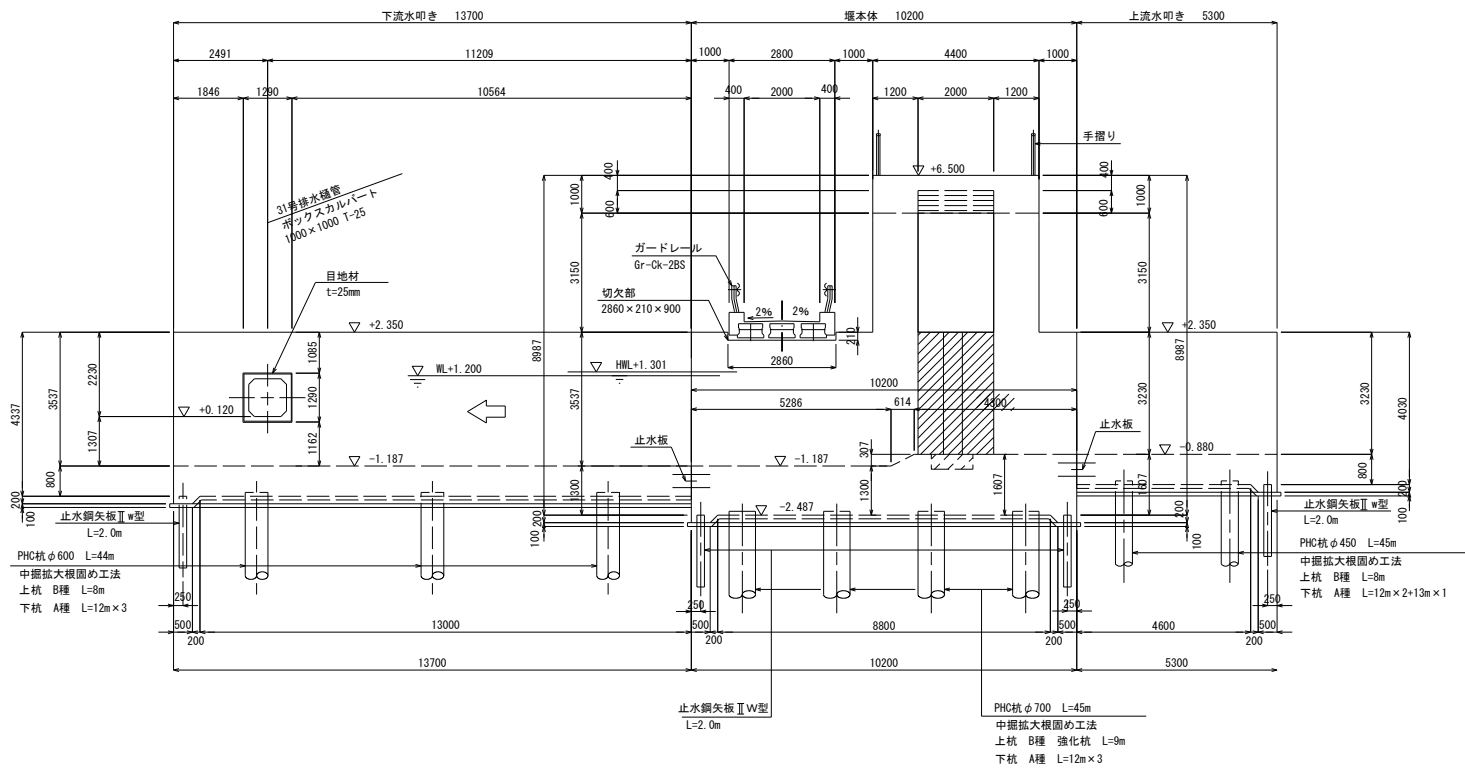
A-A



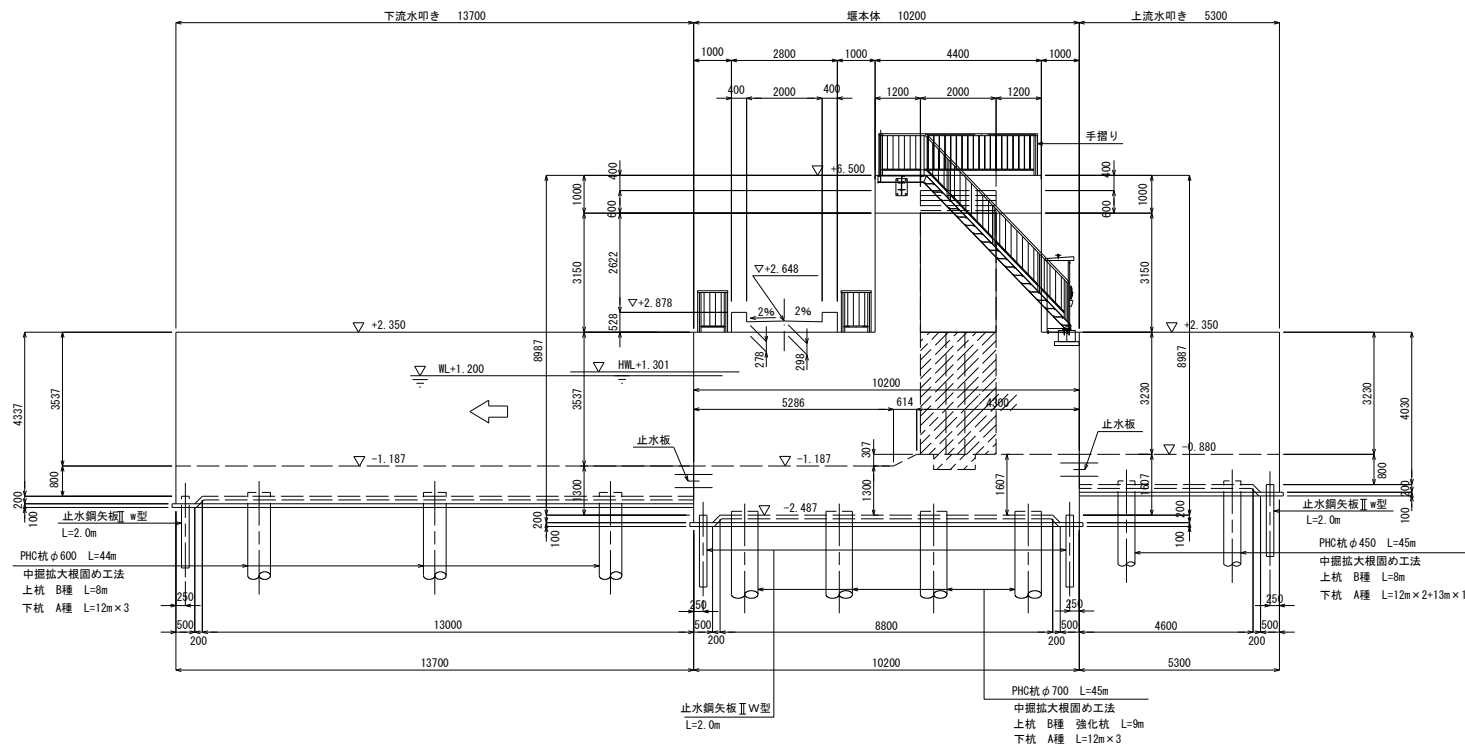
C-C



B-B



D-D



使用材質

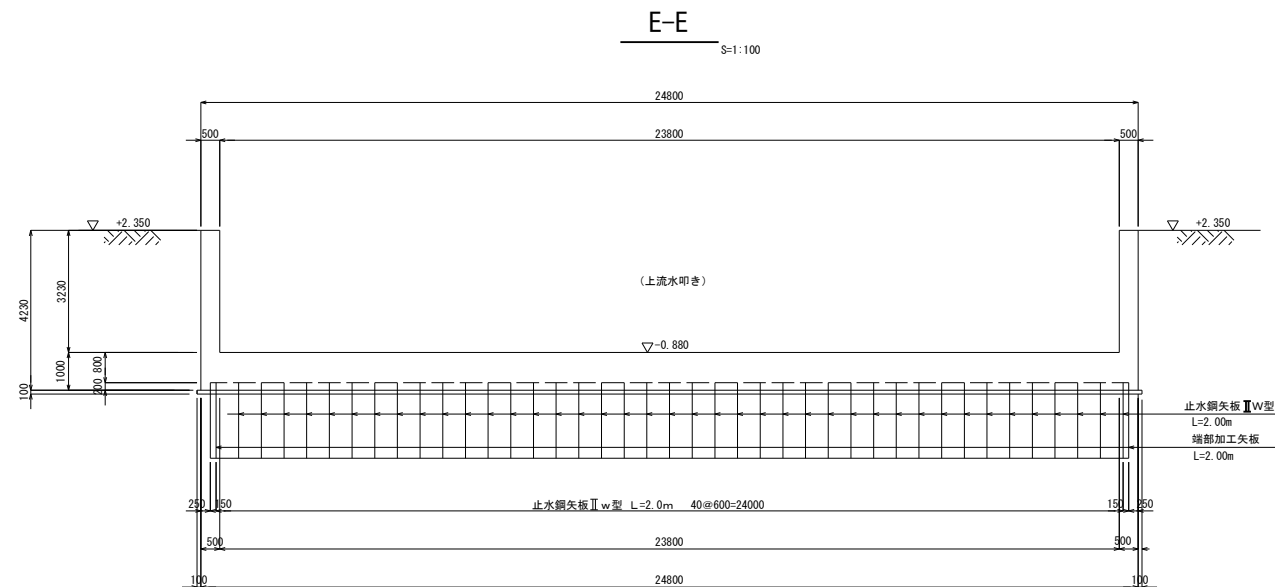
均しコンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
無筋コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
鉄筋コンクリート $\sigma_{ck}=21N/mm^2$
二次コンクリート $\sigma_{ck}=21N/mm^2$
鉄筋 SD295A

注意事項

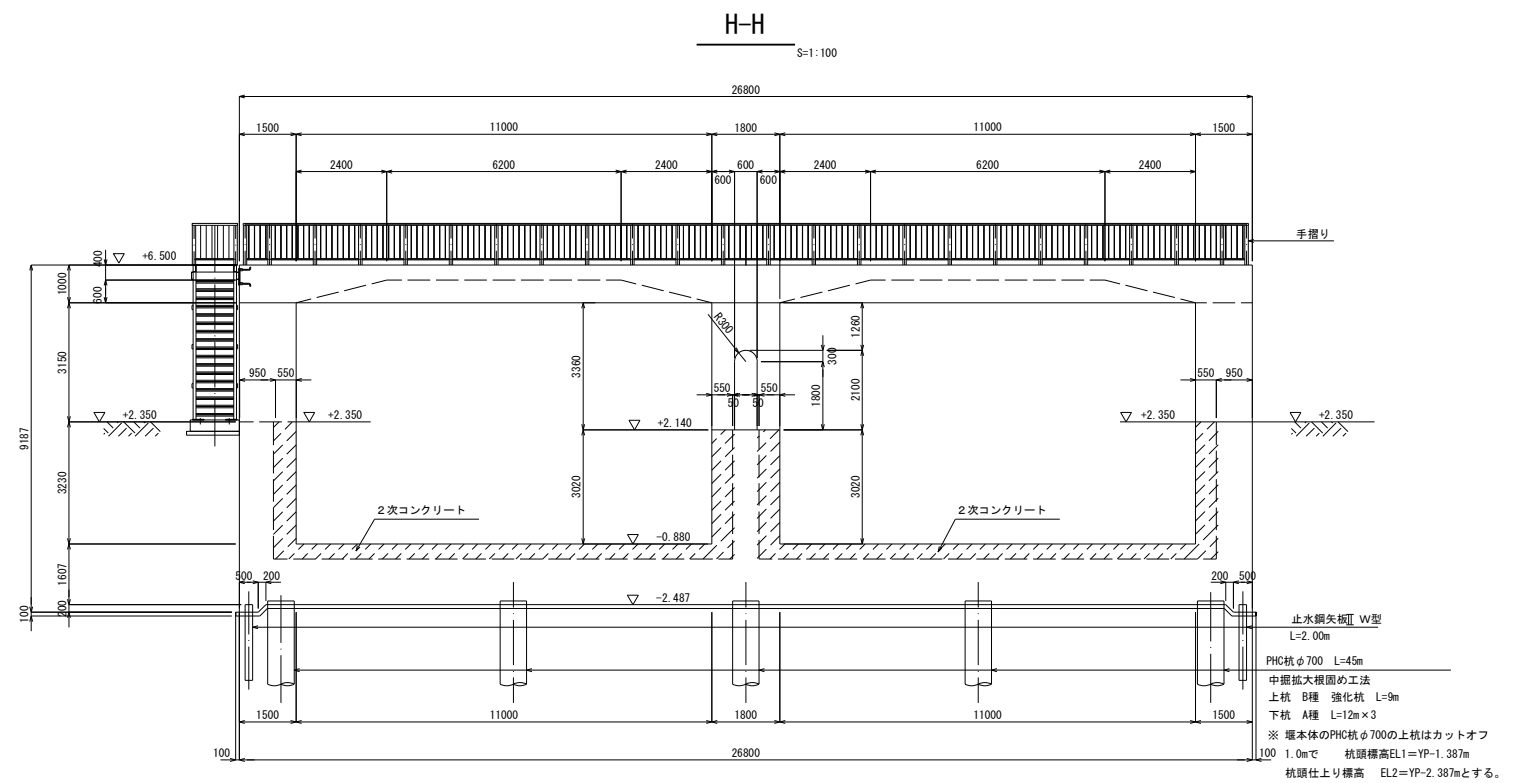
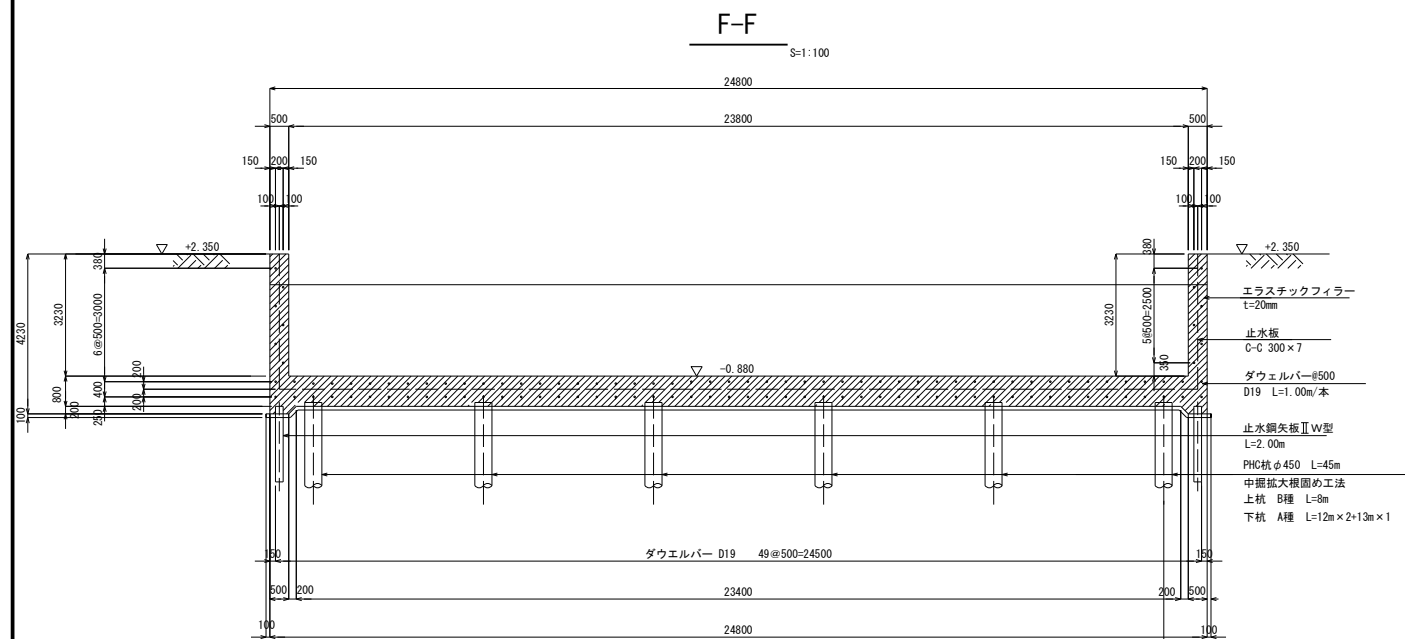
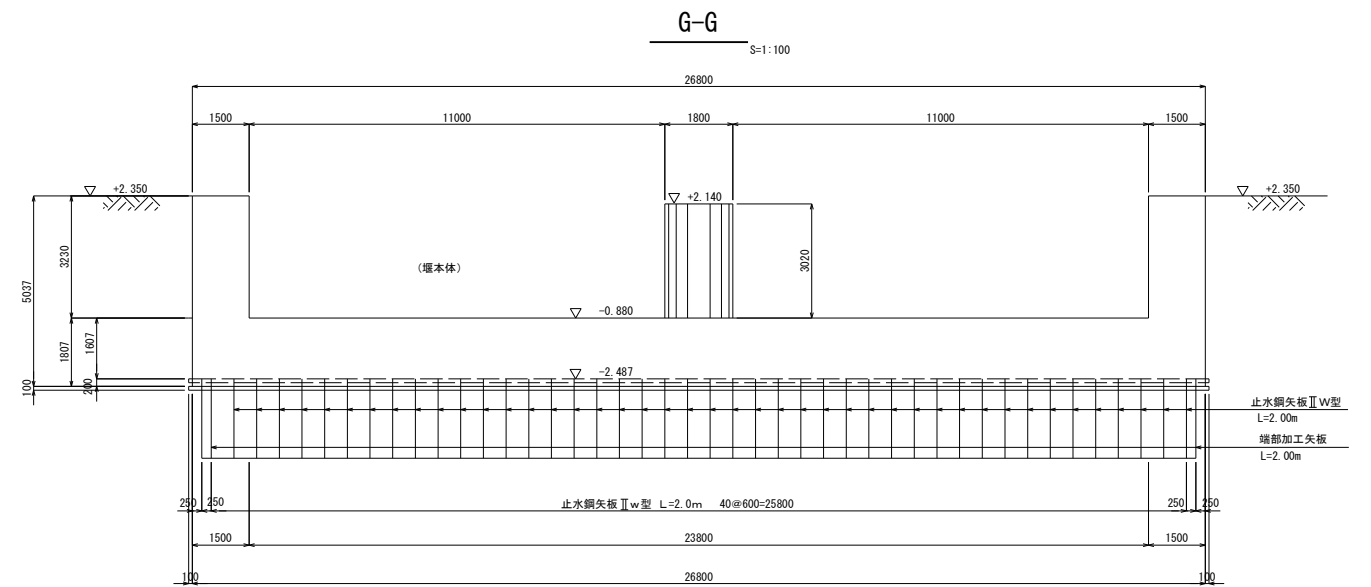
- 止水鋼矢板の平面配置は、別図「下部工構造図 (5/9, 8/9)」参照。
- 止水板、ダウエルバーの配置は、別図「下部工構造図 (3/9, 4/9)」参照。
- 止水板、ダウエルバーの配置は、別図「上流取付護岸工 (2/2)」参照。
- 止水板、ダウエルバーの配置は、別図「下流取付護岸工 (2/2)」参照。
- 管理橋700kg/㎡箱抜き位置及び寸法は、「管理橋詳細図 (1/6) 及び (4/6)」によるものとする。
- ゲートの箱抜き・サシ筋は、「箱抜き・サシ筋図」によるものとする。

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下部工構造図 (2/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:100 A1 1:141	図面番号	5-13/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

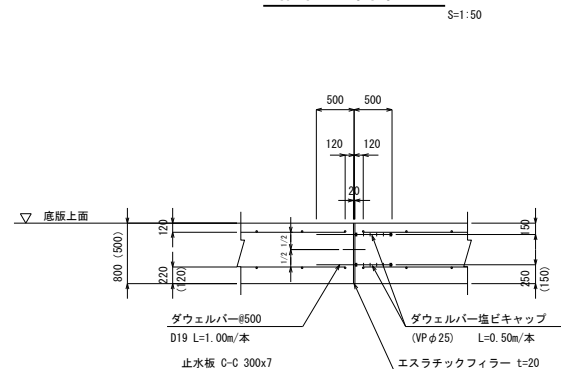
下部工構造図(3/9)



※ E-E断面は上流取付護岸工との接合なので、継目工については「上流取付護岸工（その1）（その2）」参照。



繼目工詳細図



- ※1 底版はφ500で上下に配置。
側壁はφ500で千鳥に配置。
- ※2 止水板は、接合部の薄い方の壁厚の鉄筋間隔の中央に配置する。
- ※3 () 内数値は側壁の寸法を示す。

使用材質

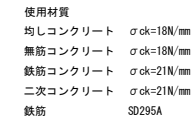
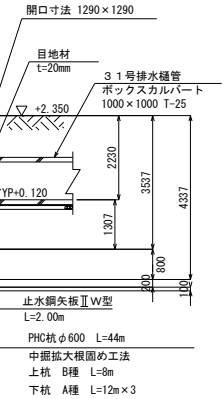
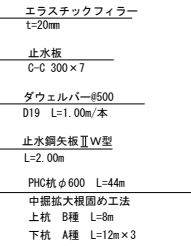
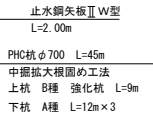
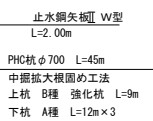
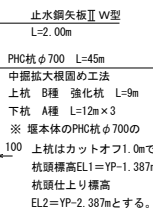
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
無筋コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$
二次コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$
鉄筋	SD295A

注意事項

1. 止水鋼板の平面配置は、別図「下部工構造図 (5/9, 8/9)」参照。
2. 管理橋の「サシ」箱抜き位置及び寸法は、「管理橋詳細図 (1/6) 及び (4/6)」によるものとする。
3. ゲートの箱抜き・サシ筋は、「箱抜き・サシ筋図」によるものとする。

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下部工構造図 (3/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:100 A1 1:141	図面番号	5-14/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

S=1/100



注意事項

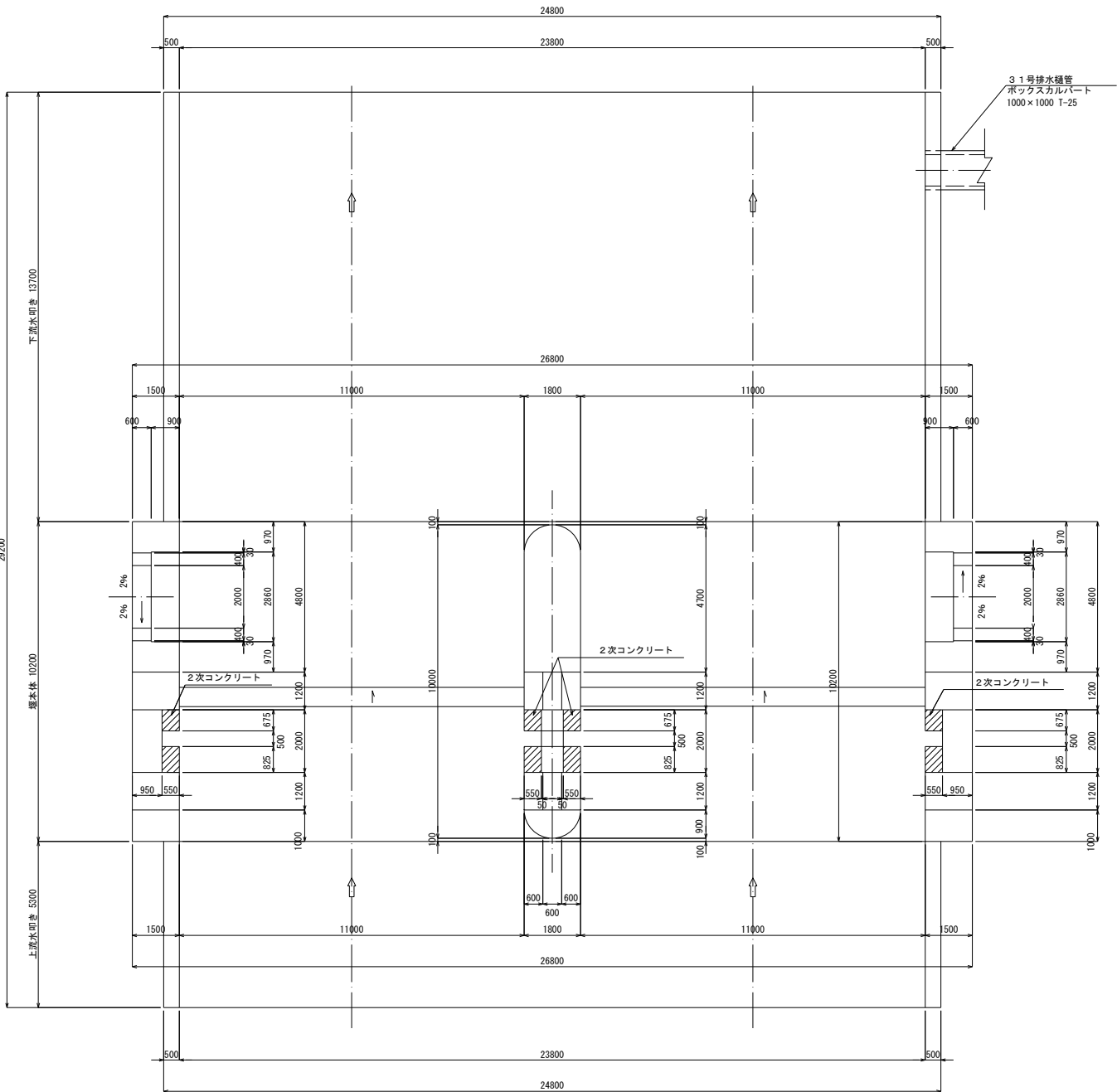
1. 止水鋼矢板の平面配置は、別図「下部工構造図(5/9,8/9)」参照。
2. 継工工の詳細図は、別図「下部工構造図(3/9)」参照。
3. 管理橋アークト吊抜きの位置及び寸法は、「管理橋詳細図(1/6)及び(4/6)」によるものとする。
4. ゲートの箱抜き・サン筋は、「箱抜き・サン筋図」によるものとする。

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下部工構造図 (4/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A1 1 : 141	図面番号	5-15/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

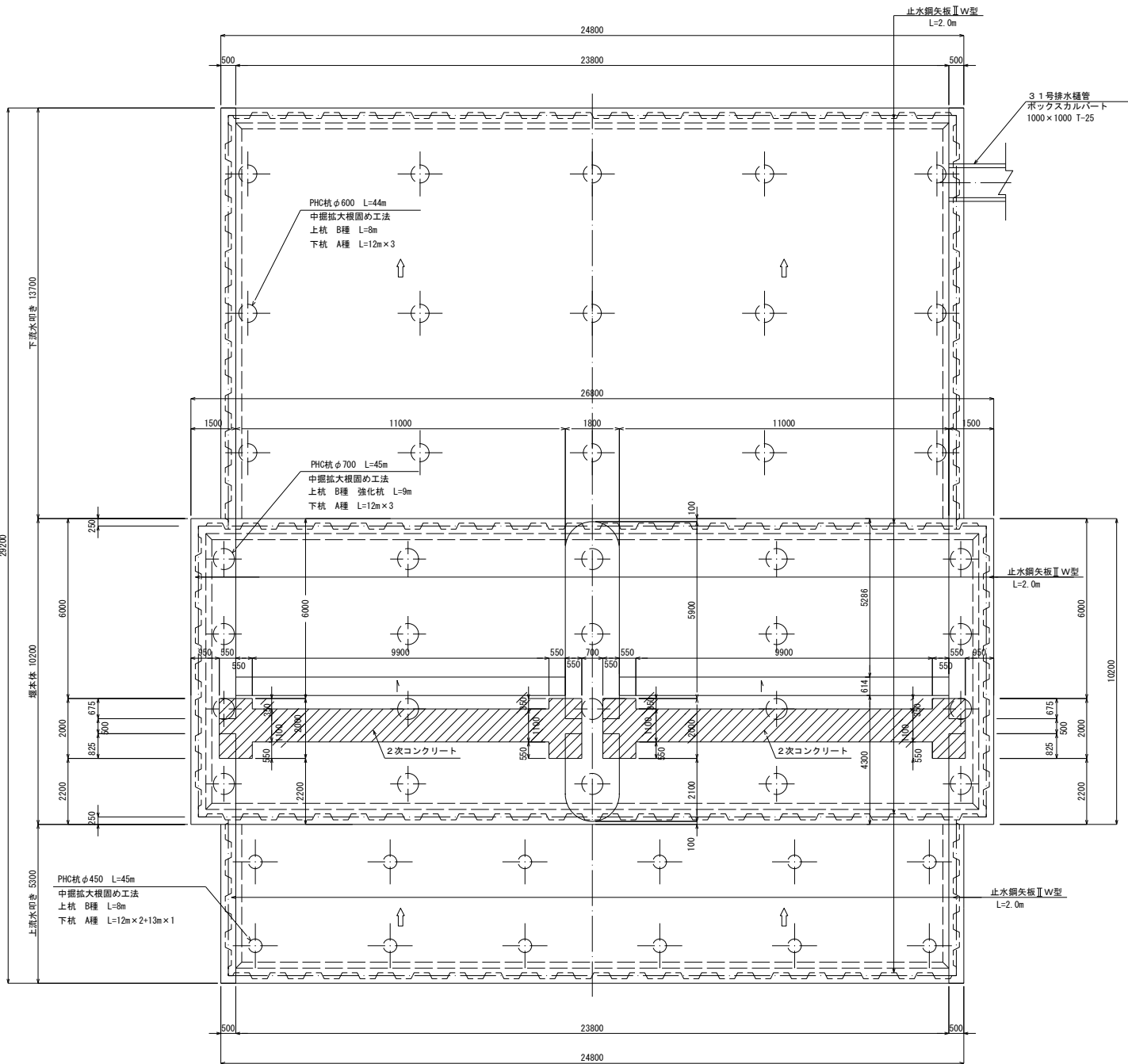
下部工構造図 (5/9)

S=1/100

1 - 1



2 - 2



使用材質

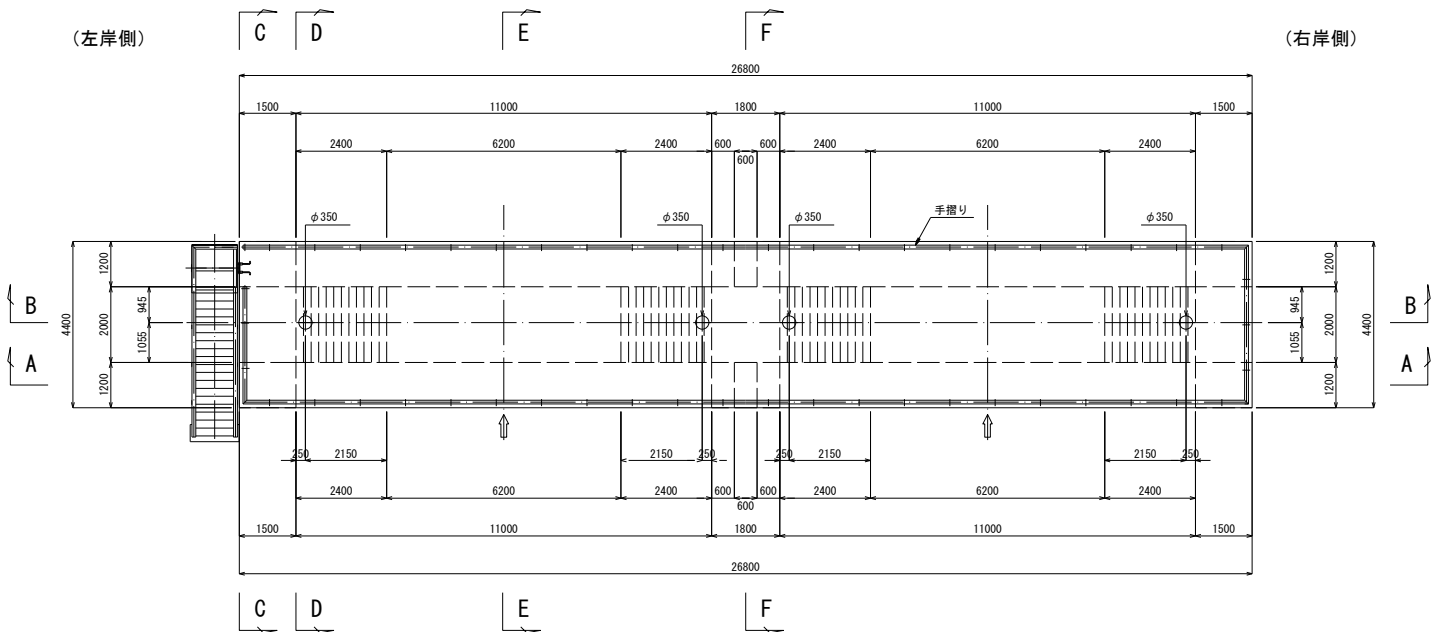
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
無筋コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$
二次コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$
鉄筋	SD295A

注意事項

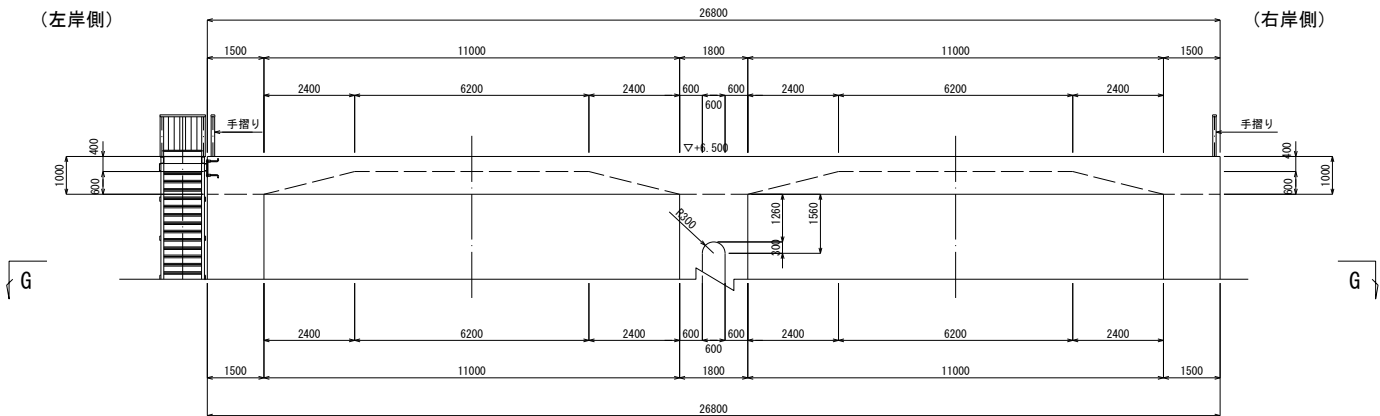
- 止水板、ダウエルバーの配置は、別図「下部工構造図 (3/9、4/9)」参照。
- 止水板、ダウエルバーの配置は、別図「上流取付護岸工 (2/2)」参照。
- 止水板、ダウエルバーの配置は、別図「下流取付護岸工 (2/2)」参照。
- 管理橋アカセト箱抜き位置及び寸法は、「管理橋詳細図 (1/6) 及び (4/6)」によるものとする。
- ゲートの箱抜き・サシ筋は、「箱抜き・サシ筋図」によるものとする。

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下部工構造 (5/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:100 A2 1:141	図面番号	5-16/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

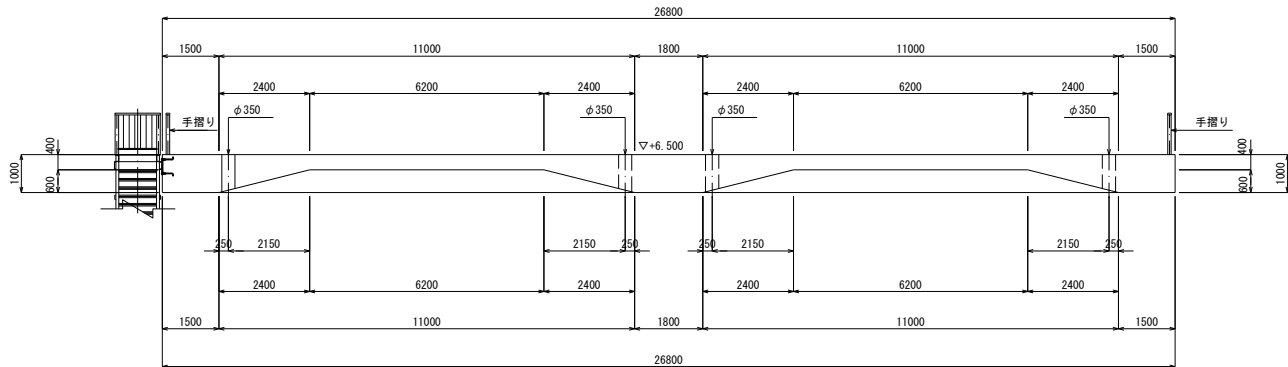
平面図



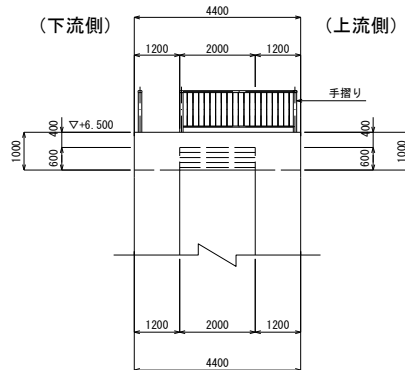
A-A



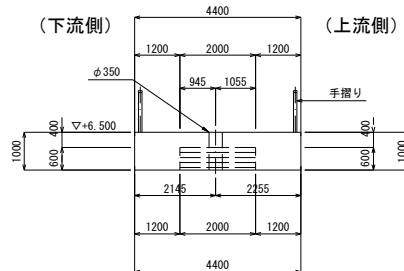
B-B



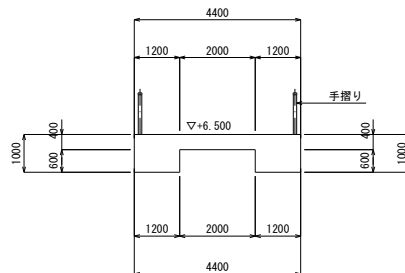
C-C



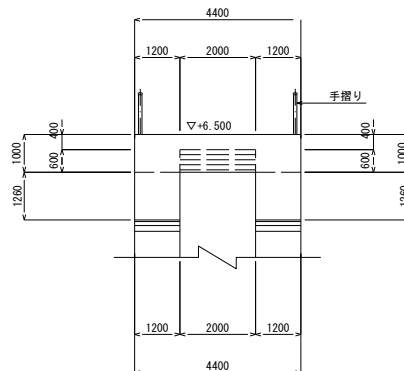
D-D



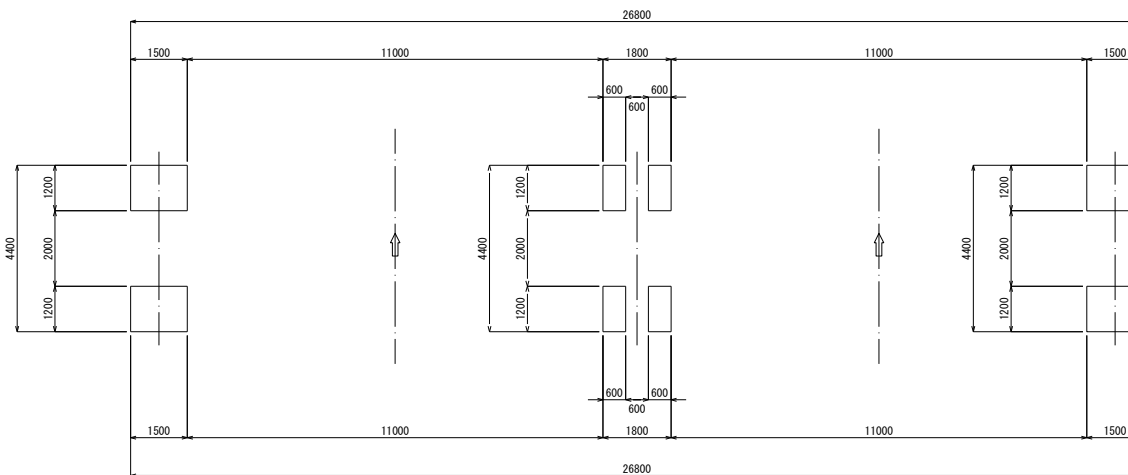
E-E



F-F



G-G



使用材質

均しコンクリート

無筋コンクリート

鉄筋コンクリート

二次コンクリート

鉄筋

$\sigma_{ck}=18N/mm^2$

$\sigma_{ck}=18N/mm^2$

$\sigma_{ck}=21N/mm^2$

$\sigma_{ck}=21N/mm^2$

SD295A

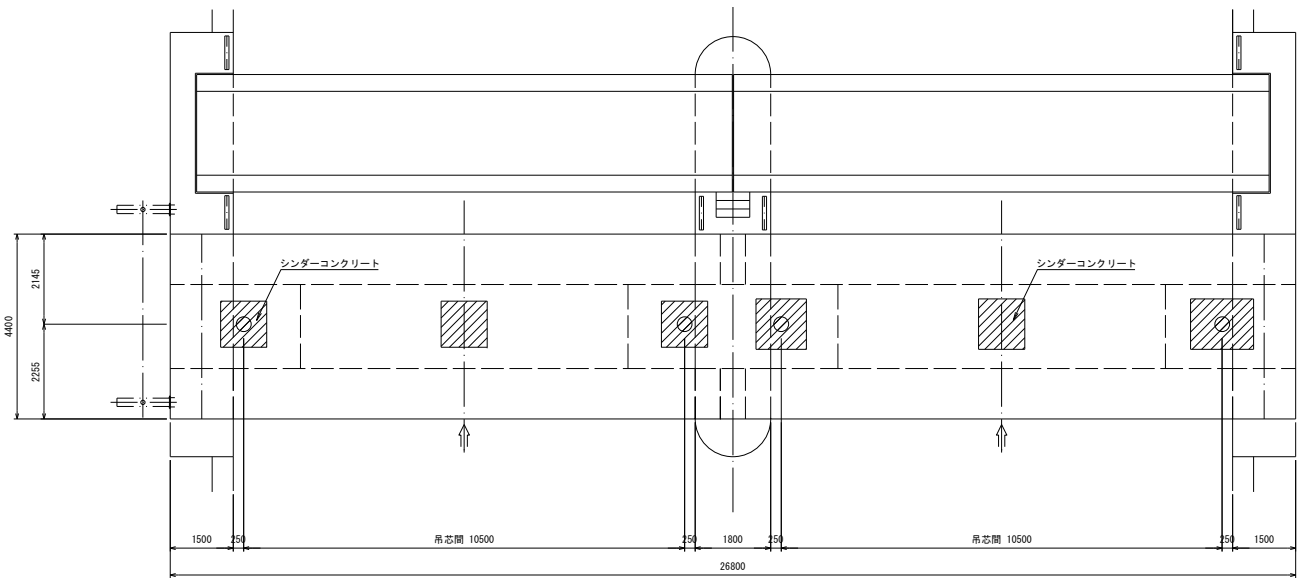
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下部工構造図 (6/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A2 1 : 141	図面番号	5-17/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

平面図

S=1/80

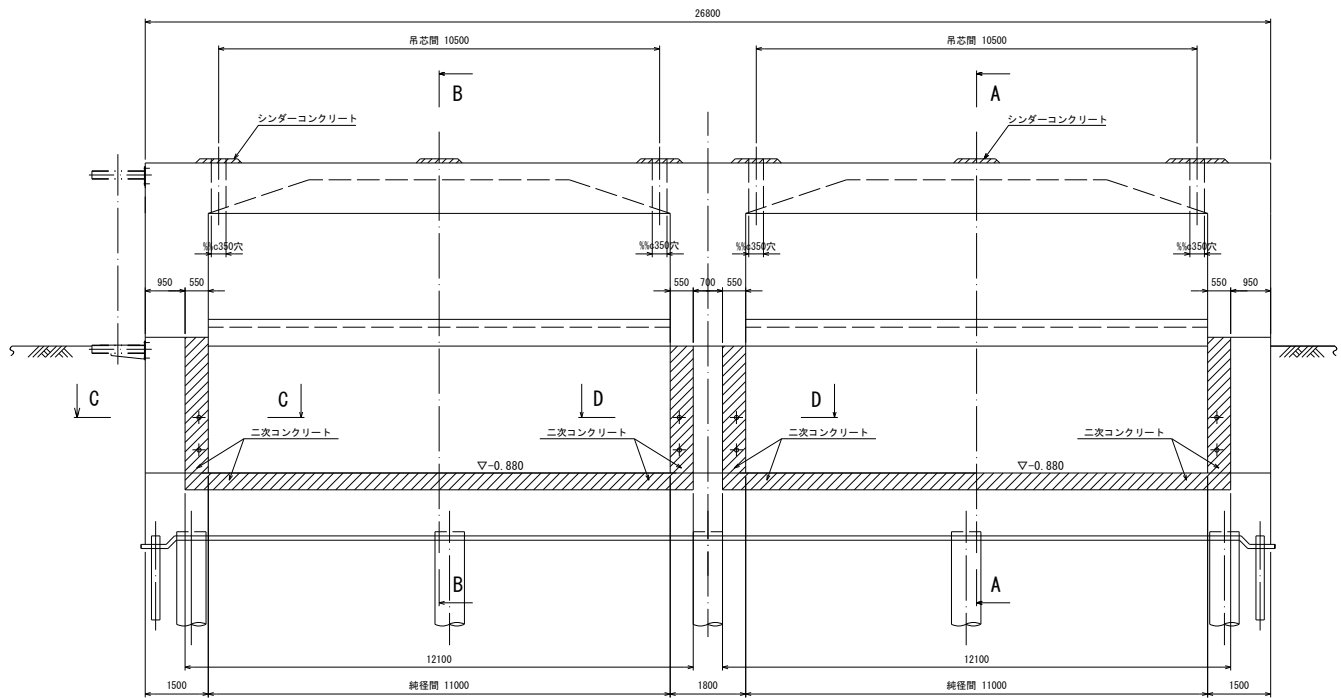
(左岸側)

(右岸側)



正面図

S=1/80

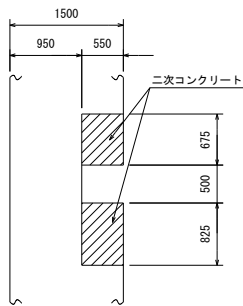


単扉ゲート

2段扉ゲート

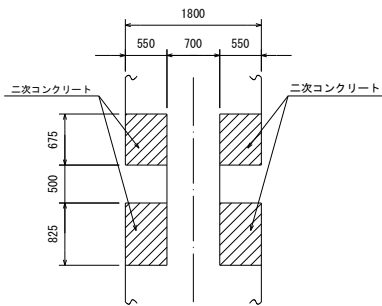
C — C

S=1/50

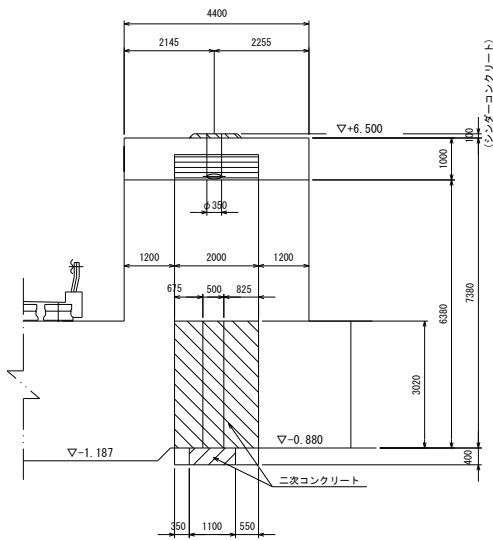


D — D

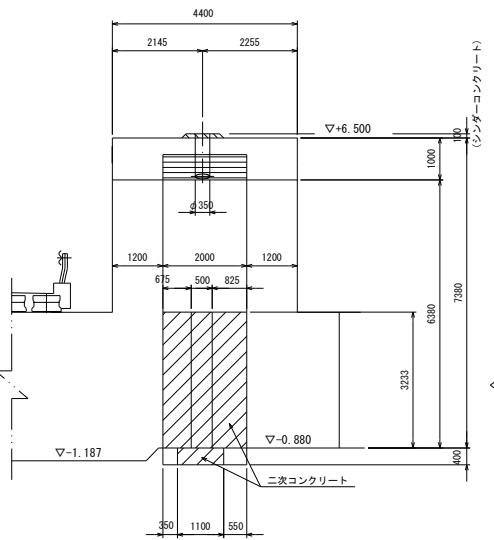
S=1/50



A — A



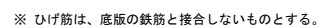
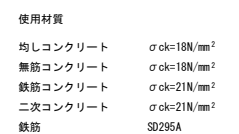
B — B



使用材質

均しコンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
無筋コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
鉄筋コンクリート $\sigma_{ck}=21N/mm^2$
二次コンクリート $\sigma_{ck}=21N/mm^2$
シンダーコンクリート $\sigma_{ck}=21N/mm^2$
鉄筋 S0295A

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下部工構造図 (7/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-18/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

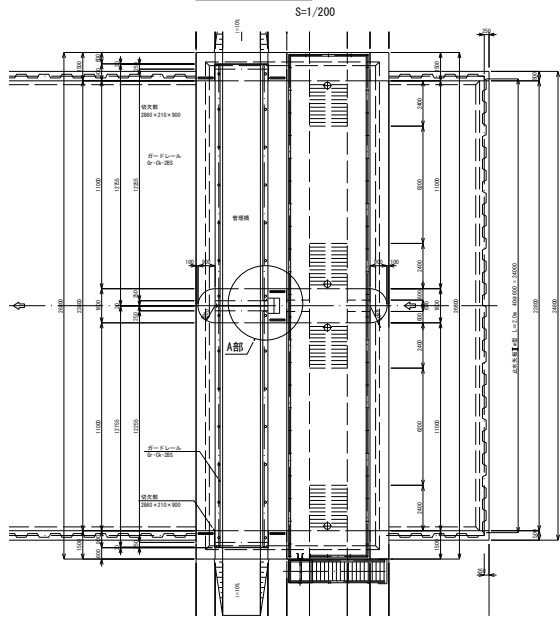
$S=1/100$  $S=1/100$ 

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下部構造図 (8/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A2 1 : 141	図面番号	5-19/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

下部工構造図 (9/9)

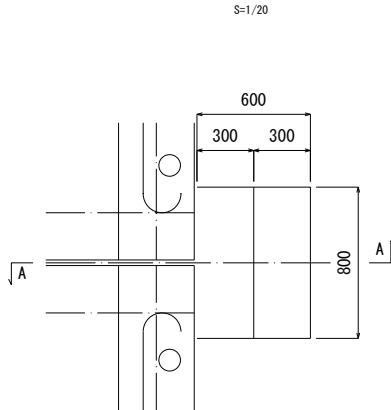
堰体中央部昇降階段工詳細図

位置図

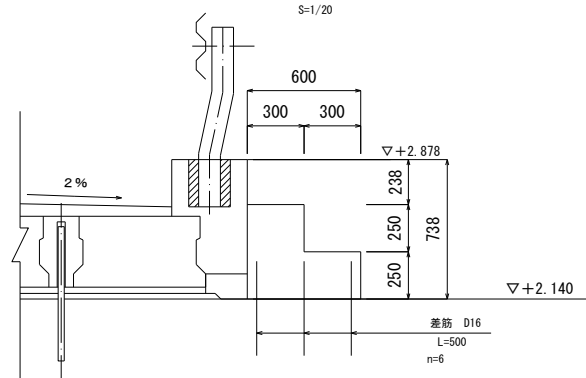


A部詳細図

平面図

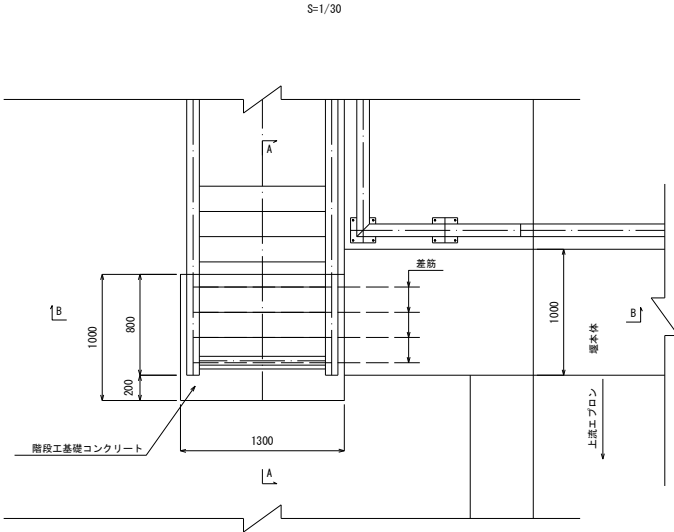


A-A

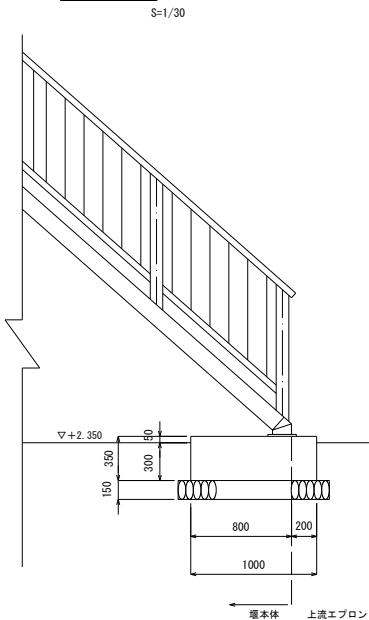


階段基礎コンクリート詳細図

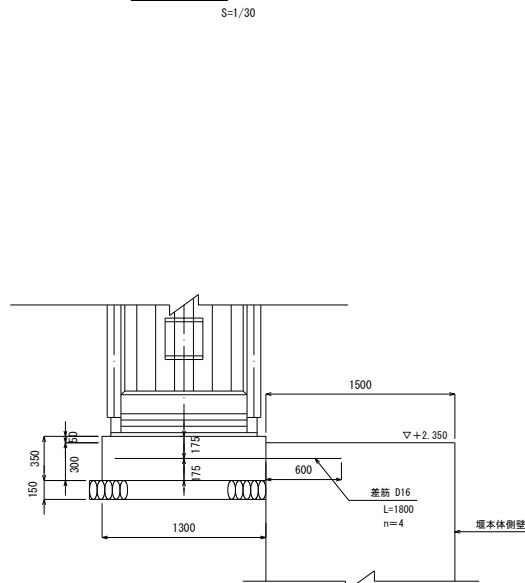
平面図



A-A



B-B



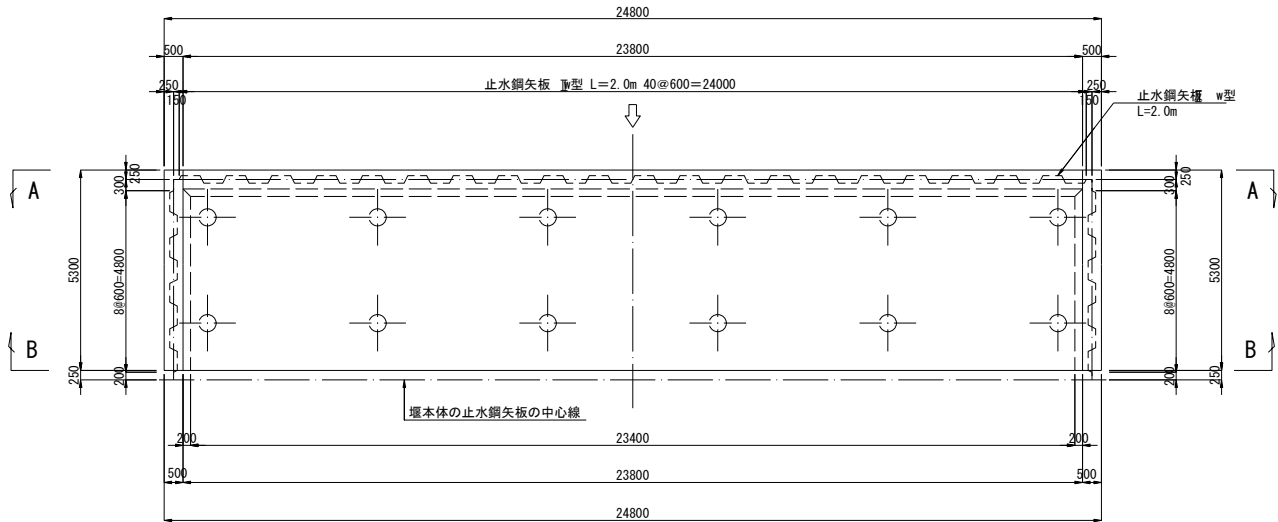
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下部工構造図 (9/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-20/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

上流側エプロン工構造図

S=1/100

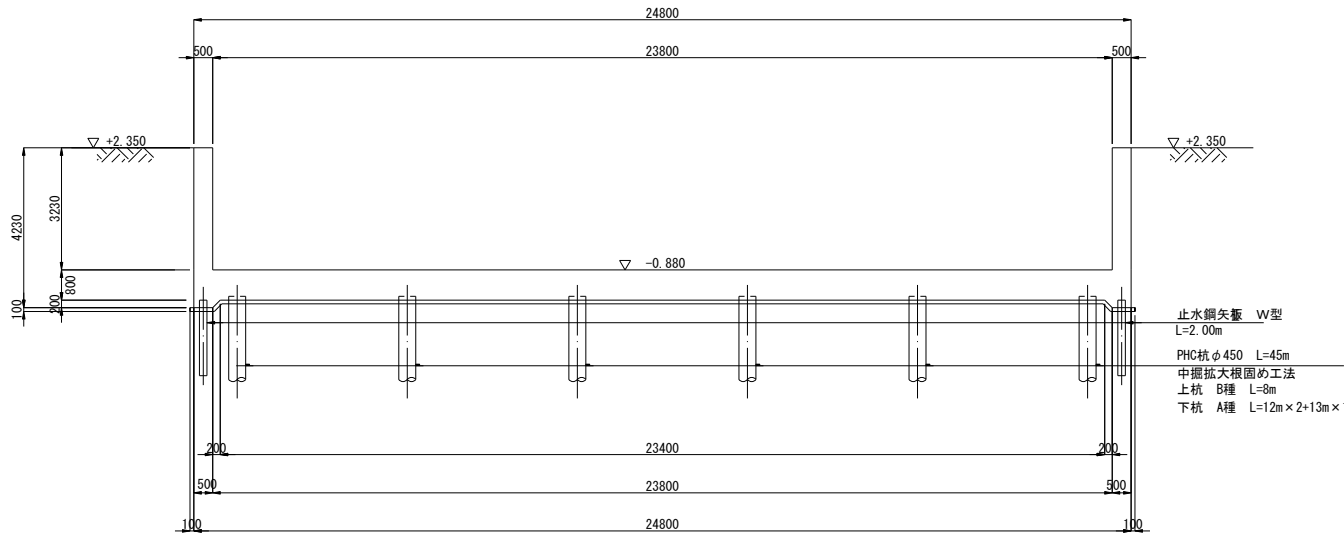
平面図

S=1/100



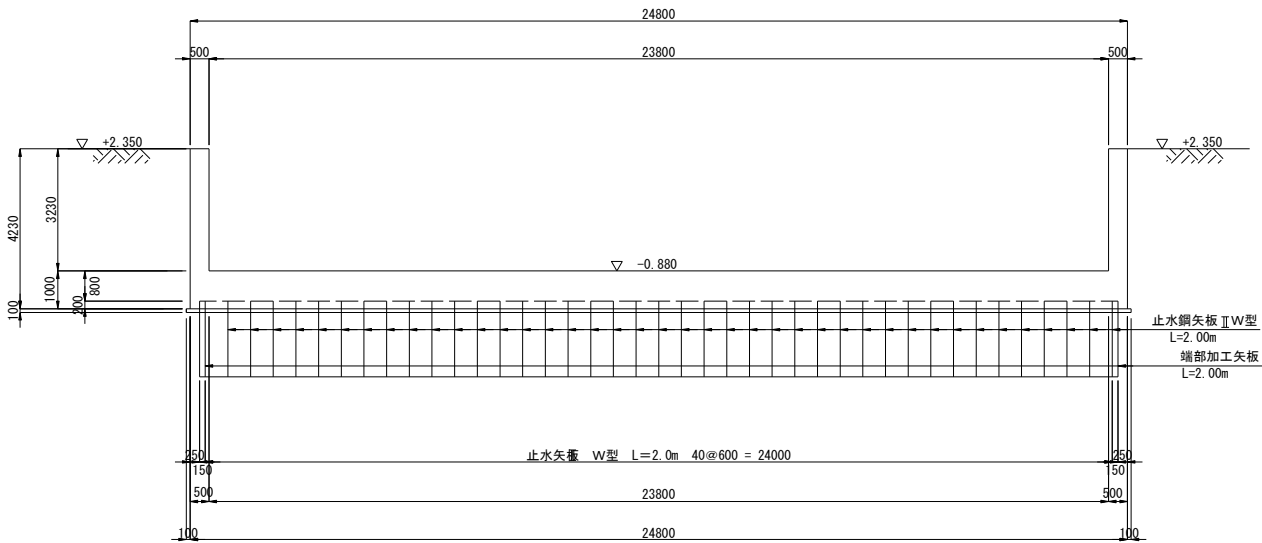
B-B

S=1/100



A-A

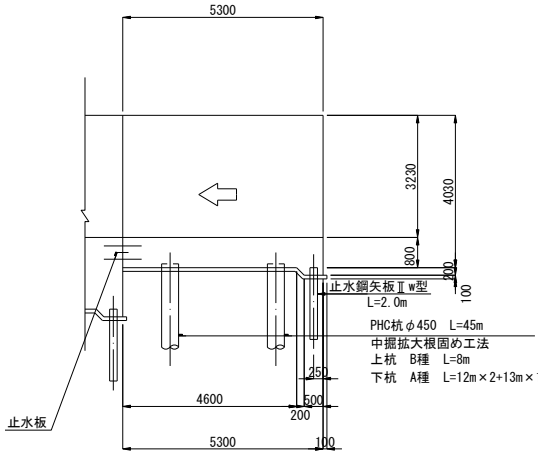
S=1/100



※ A-A断面は上流取付護岸工との接合なので、継目工については「上流取付護岸工（その1）（その2）」参照。

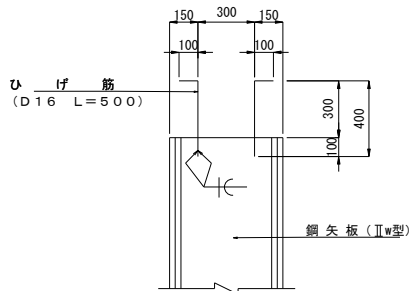
縦断面図

S=1/100



止水矢板頭部鉄筋詳細図

S=1/20



※ ひげ筋は、底板の鉄筋と接合しないものとする。

注意事項

- 止水鋼矢板の平面配置は、別図「下部工構造図（5/9、8/9）」参照。
- 止水板、ダウエルバーの配置は、別図「下部工構造図（3/9、4/9）」参照。
- 止水鋼矢板のひげ筋（D16mm L=500mm）は、底板鉄筋と接合しないものとする。
- 加工矢板（コーナー部、T字部）と標準矢板の配置は監督員との協議により調整する事。

使用材質

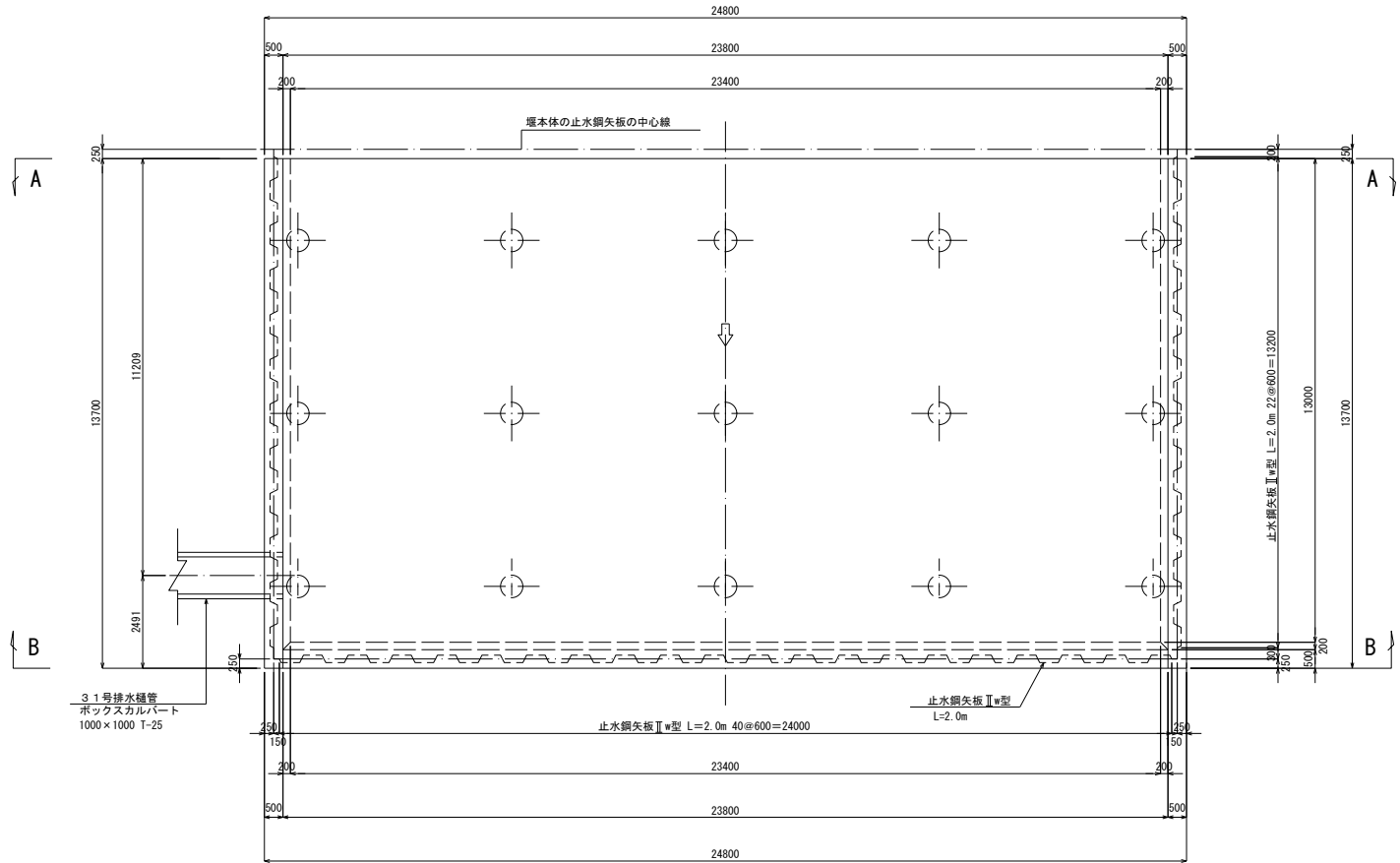
均しコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
無筋コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋コンクリート $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$
鉄筋 SD295A

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	上流側エプロン工構造図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A1 1 : 141	図面番号	5-21/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

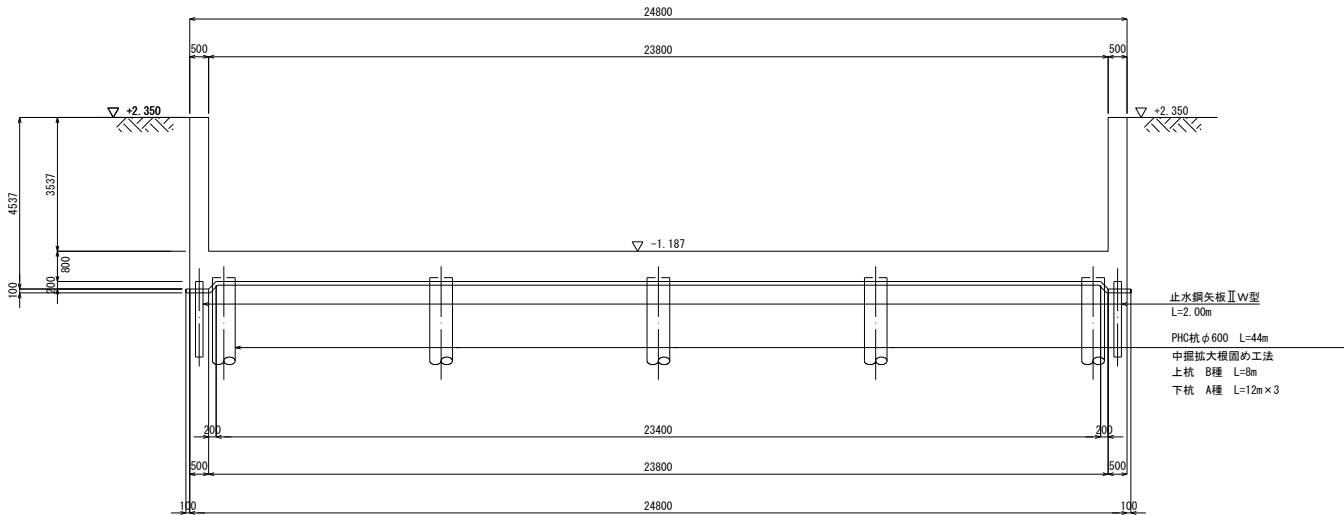
下流側エプロン工構造図

S=1/100

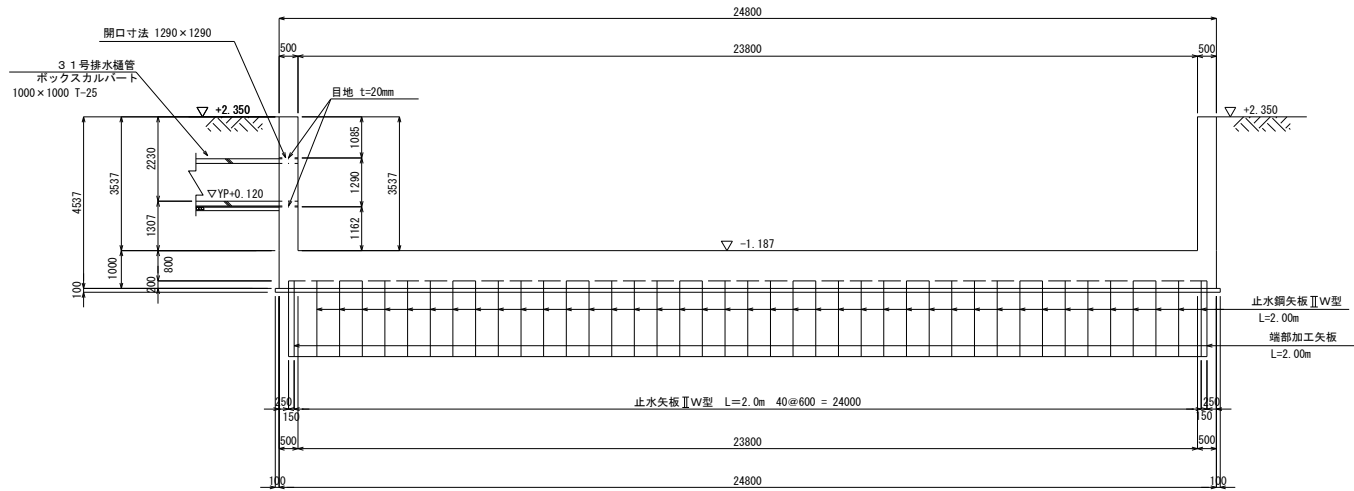
平面図



A-A

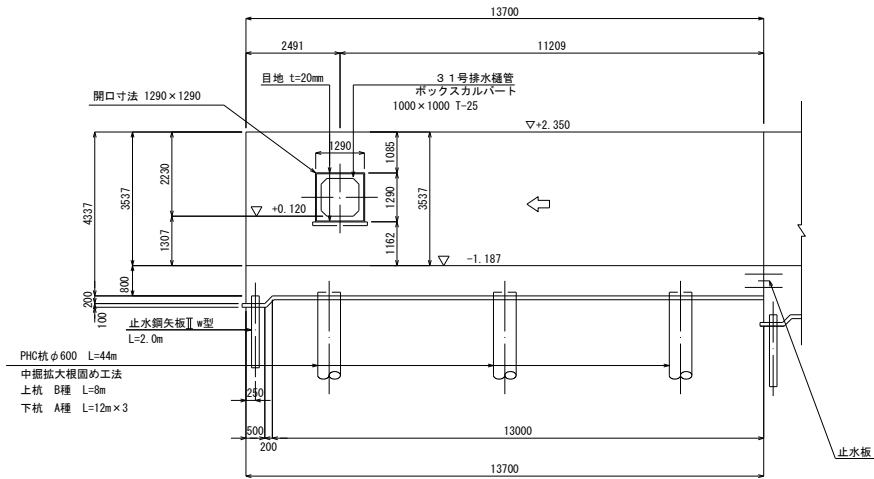


B-B



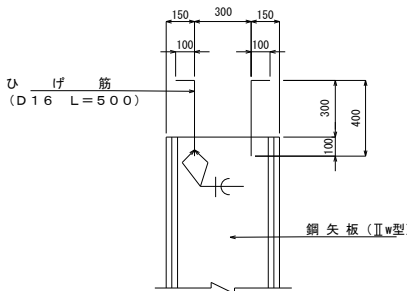
※ B-B断面は下流取付護岸工との接合なので、継目工については「下流取付護岸工（その1）（その2）」参照。

縦断面図



止水矢板頭鉄筋詳細図

S=1/20



※ ひげ筋は、底版の鉄筋と接合しないものとする。

注意事項

- 止水鋼矢板の平面配置は、別図「下部工構造図（5/9、8/9）」参照。
- 止水板、ダウエルバーの配置は、別図「下部工構造図（3/9、4/9）」参照。
- 止水鋼矢板のひげ筋（D16mm L=500mm）は、底版鉄筋と接合しないものとする。
- 加工矢板（コーナー部、T字部）と標準矢板の配置は監督員との協議により調整する事。

使用材質

均しコンクリート
無筋コンクリート
鉄筋コンクリート
鉄筋
SD295A

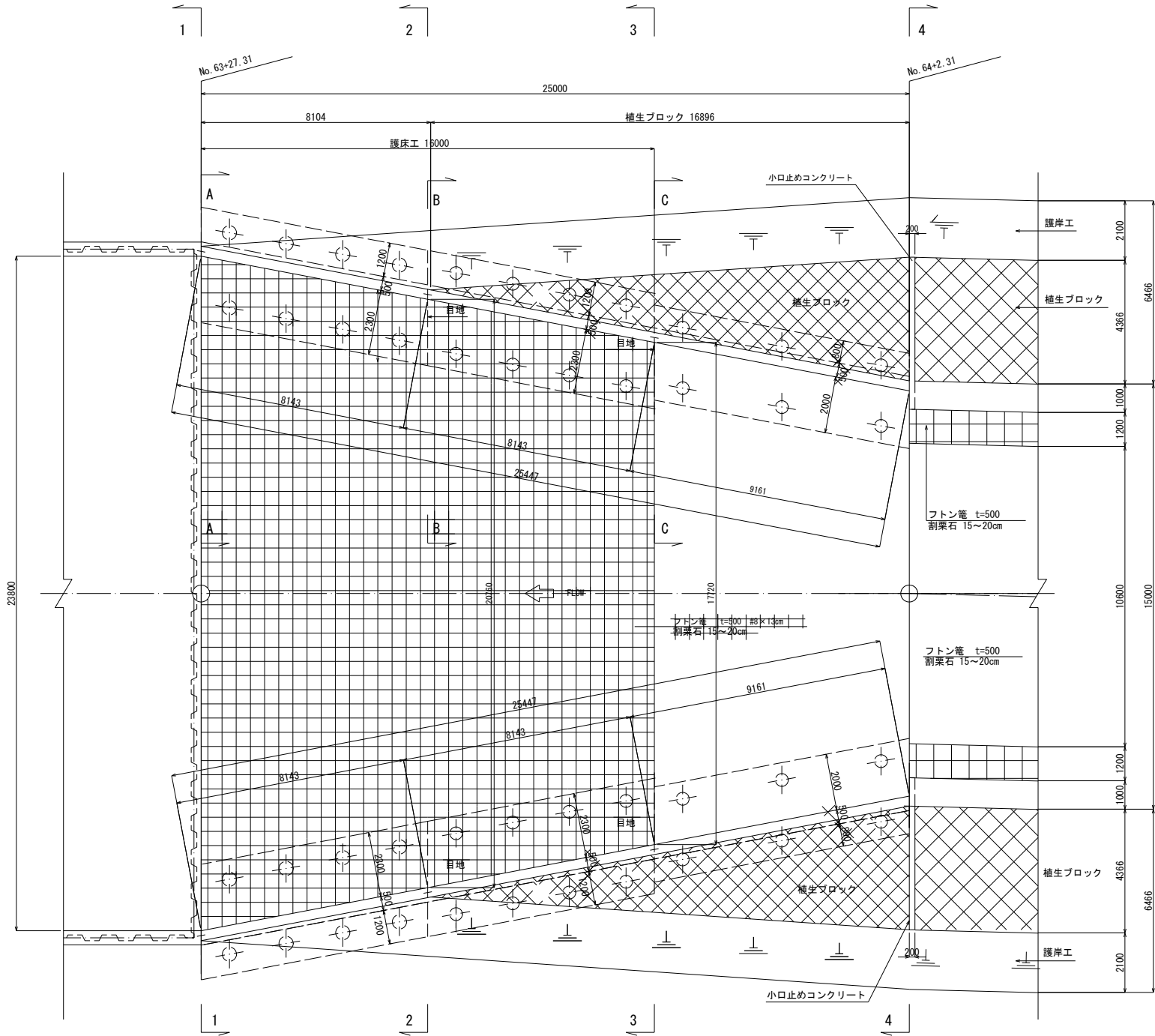
$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
 $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下流側エプロン工構造図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:100 A2 1:141	図面番号	5-22/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

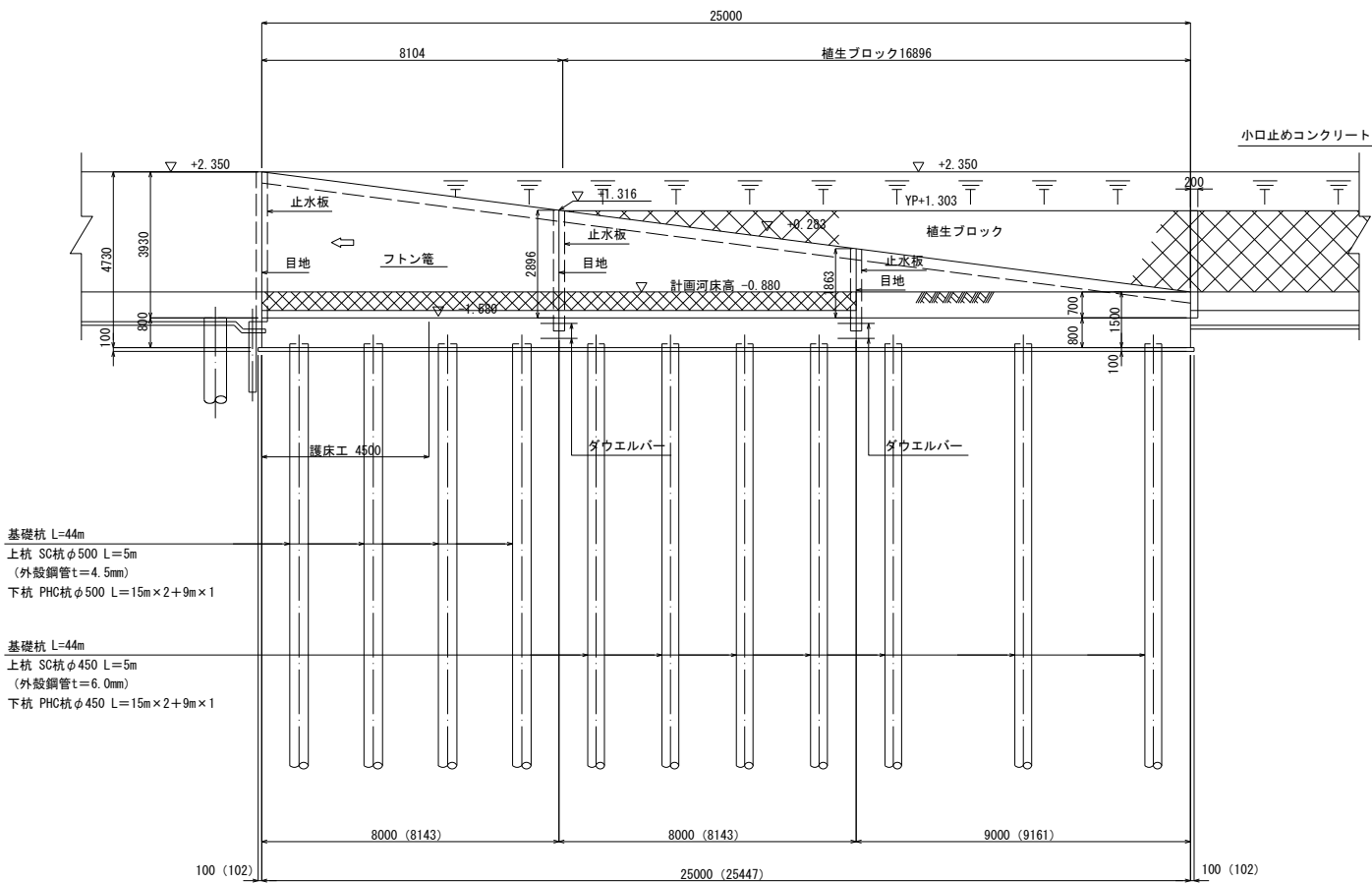
上流側取付擁壁工構造図(1/2)

S=1/100

平面図



縦断面図

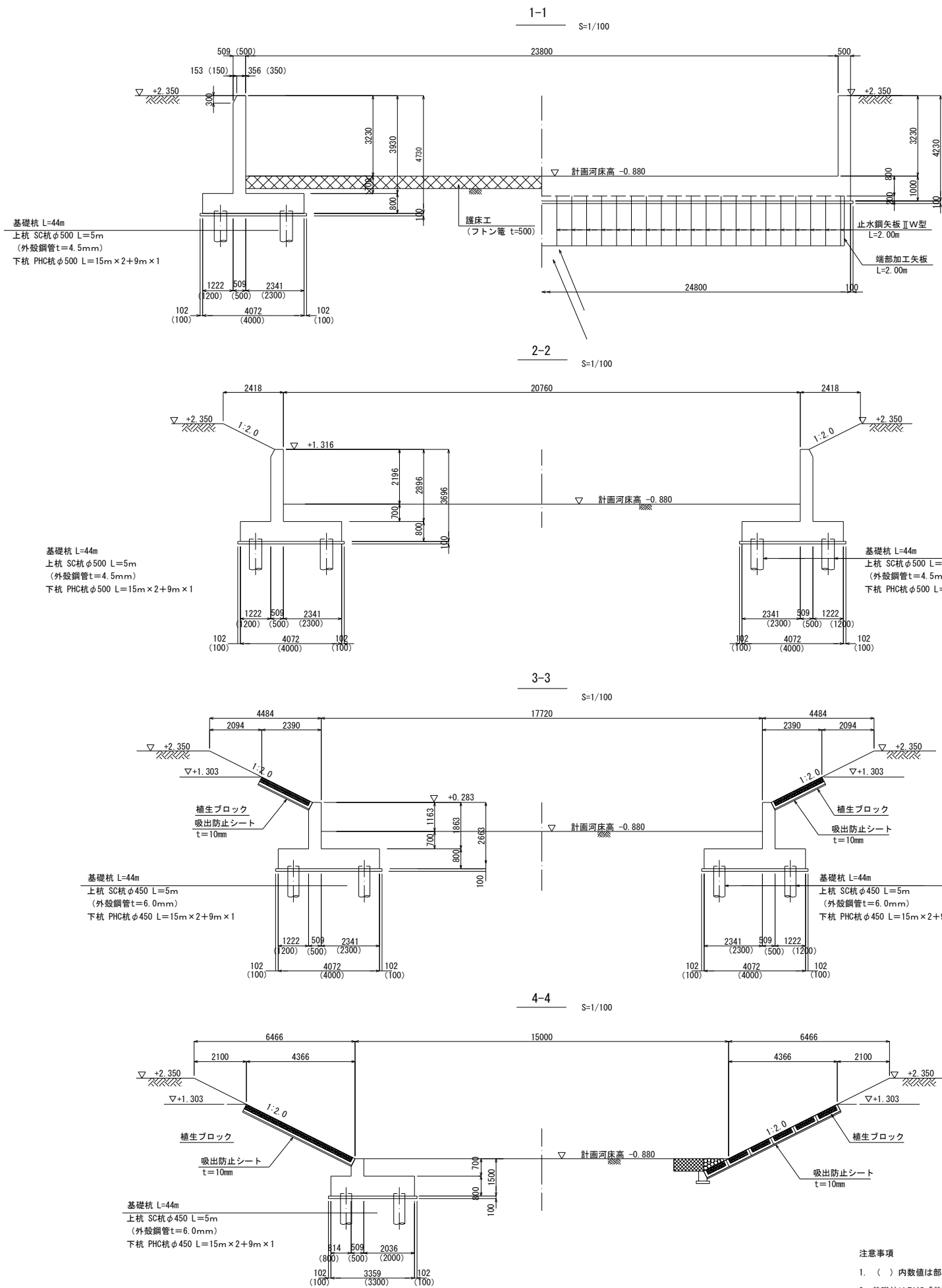


※ () 内数値は、逆T式擁壁の側壁面延長を示す。

使用材質
均しコンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
無筋コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
鉄筋コンクリート $\sigma_{ck}=21N/mm^2$
鉄筋 SD295A

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	上流側取付擁壁工構造図 (1/2)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A1 1 : 141	図面番号	5-23/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

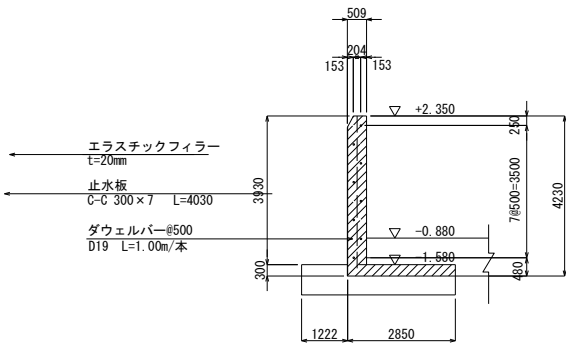
上流側取付擁壁工構造図 (2/2)



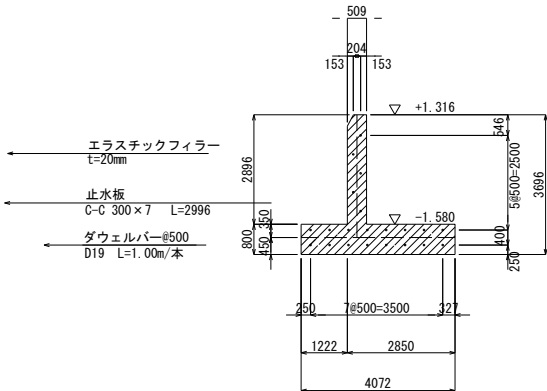
注意事項

- () 内数値は部材直角方向寸法を表す。
- 基礎杭は別紙「基礎杭詳細図 (5/9, 6/9, 7/9)」参照。

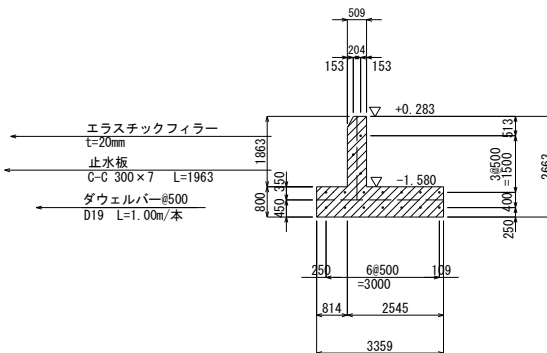
A-A 目地工 S=1/100



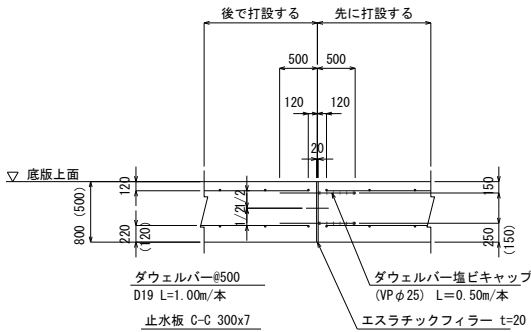
B-B 目地工 S=1/100



C-C 目地工 S=1/100

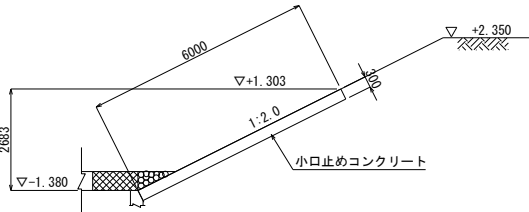


継目工詳細図 S=1/50

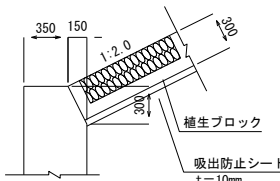


- ※ 底板は#500で上下に配置。
- ※ 側壁は#500で千鳥に配置。
- ※ 止水板は側壁のみとする。(エプロンと擁壁の接合部のみ)
- ※ 止水板は鉄筋間隔の中央に設置する。
- ※ () 内数値は側壁寸法を示す。

小口止めコンクリート詳細図 (護岸工詳細図参照) S=1/100



擁壁頭部詳細図 S=1/30



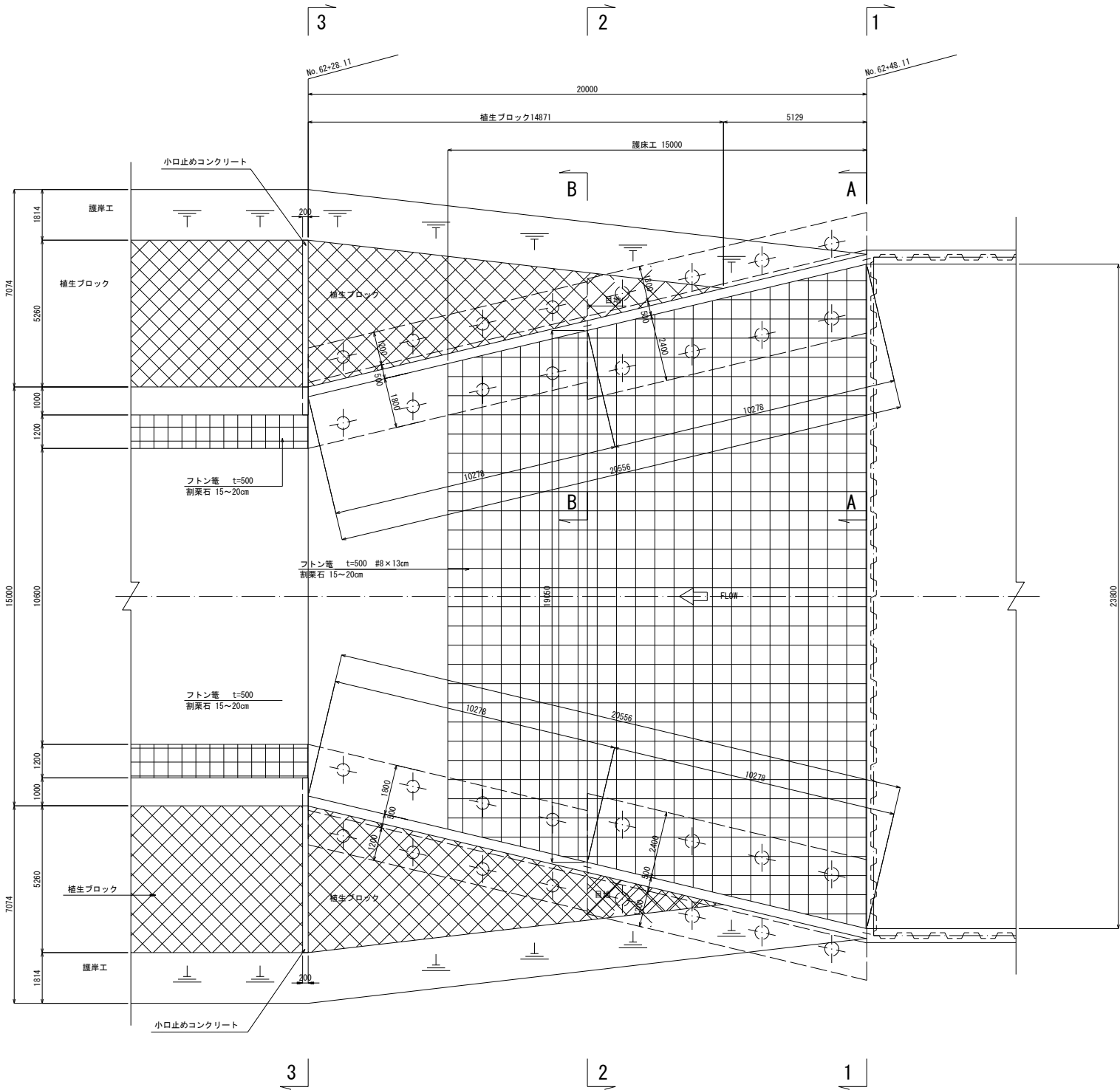
使用材質

- 均しコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
無筋コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋コンクリート $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$
鉄筋 SD295A

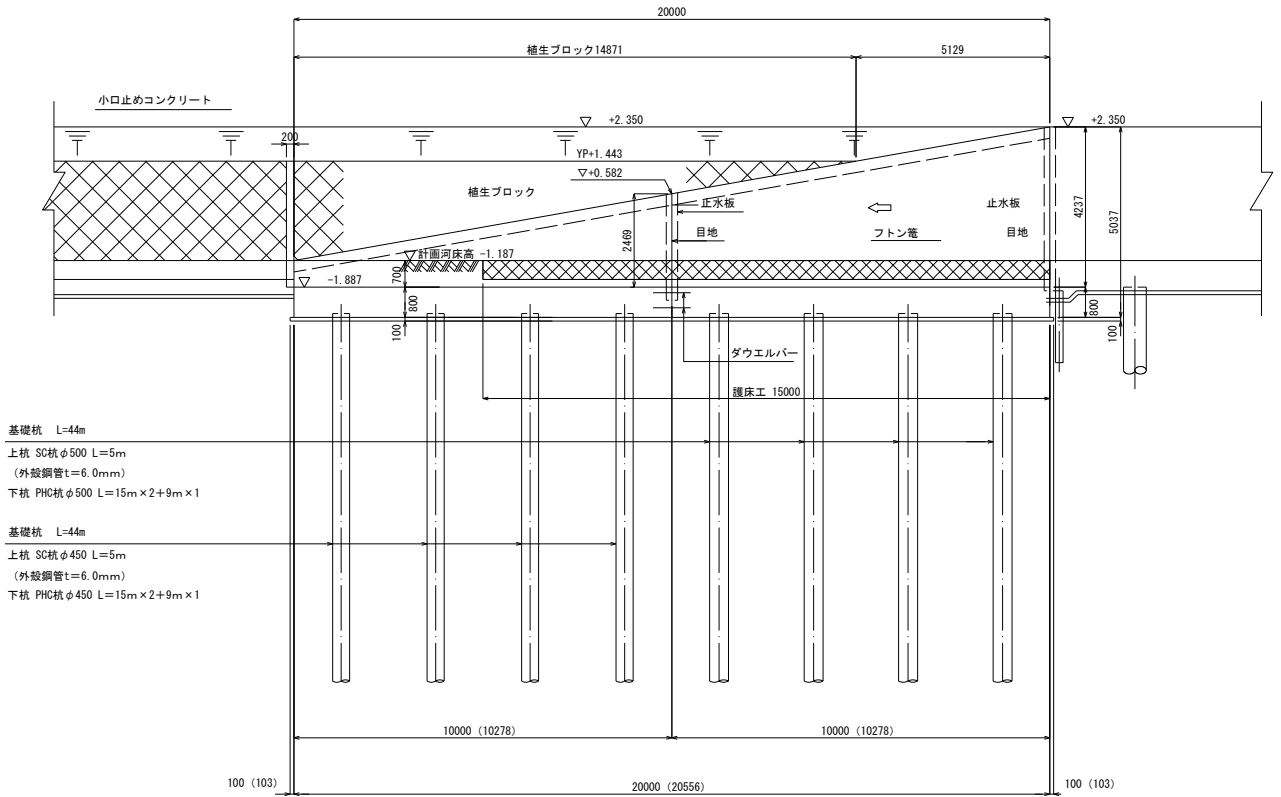
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	上流側取付擁壁工構造図 (2/2)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:100	図面番号	5-24/59
	A1 1:141		
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

下流側取付擁壁工構造図(1/2)
S=1/100

平面図



縦断面図

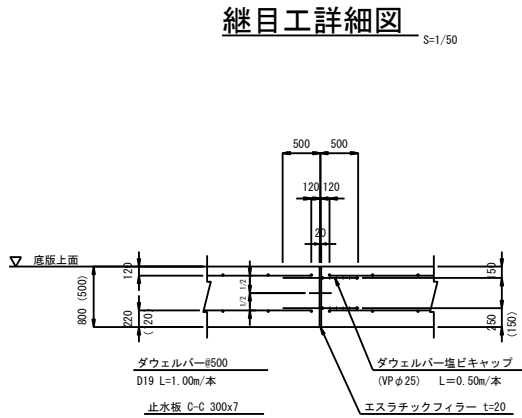
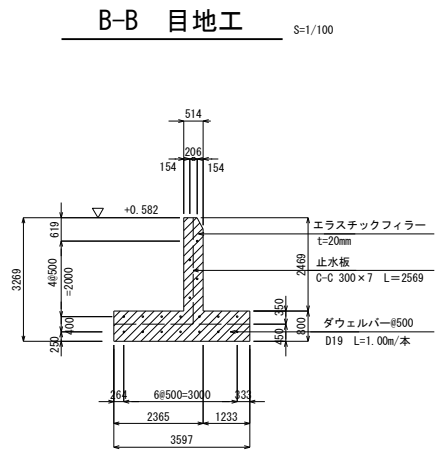
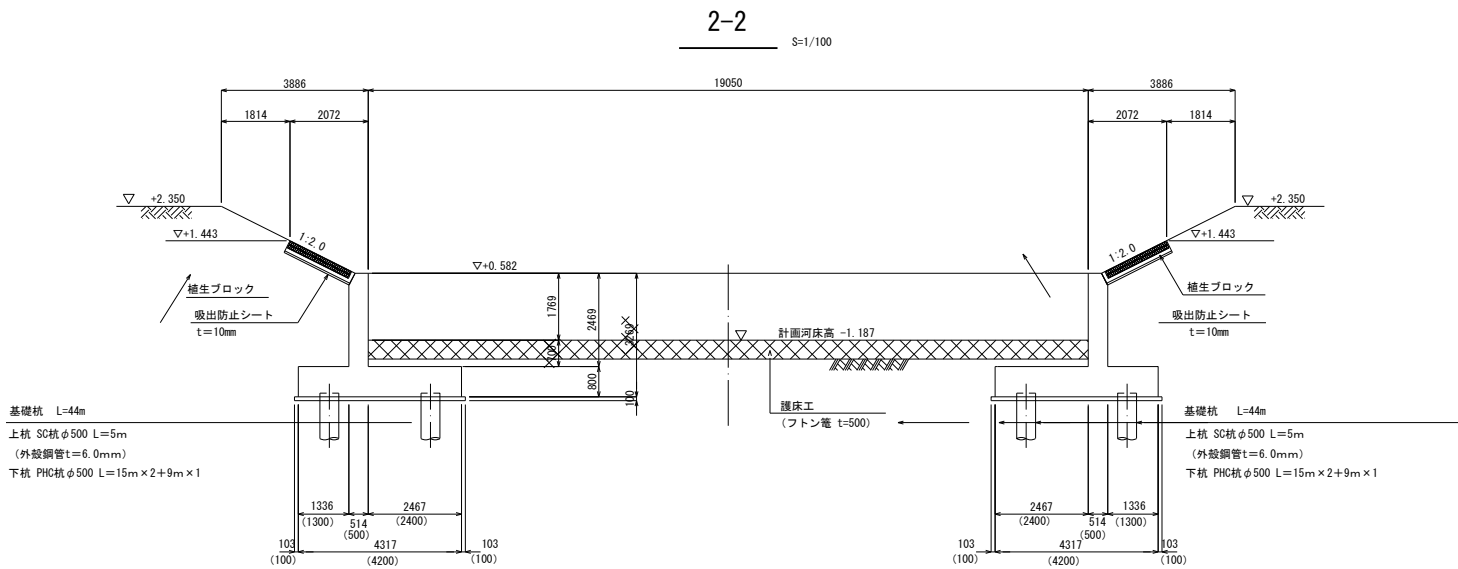
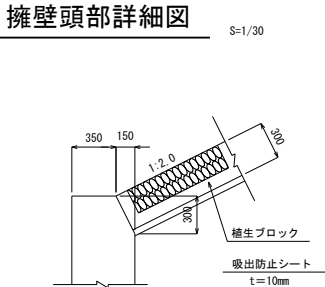
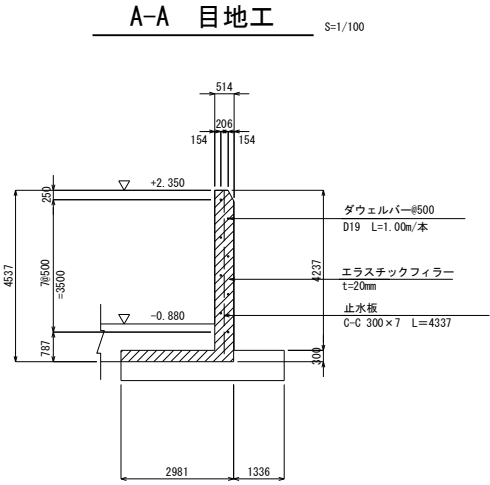
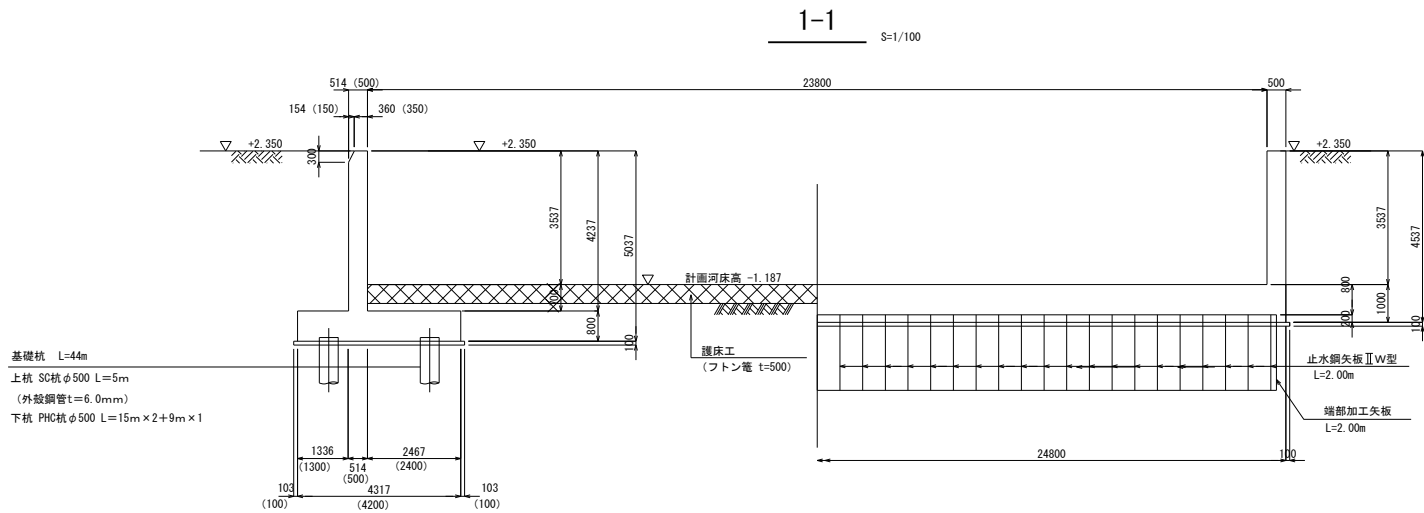


※ () 内数値は、逆T擁壁の側壁面延長を示す。

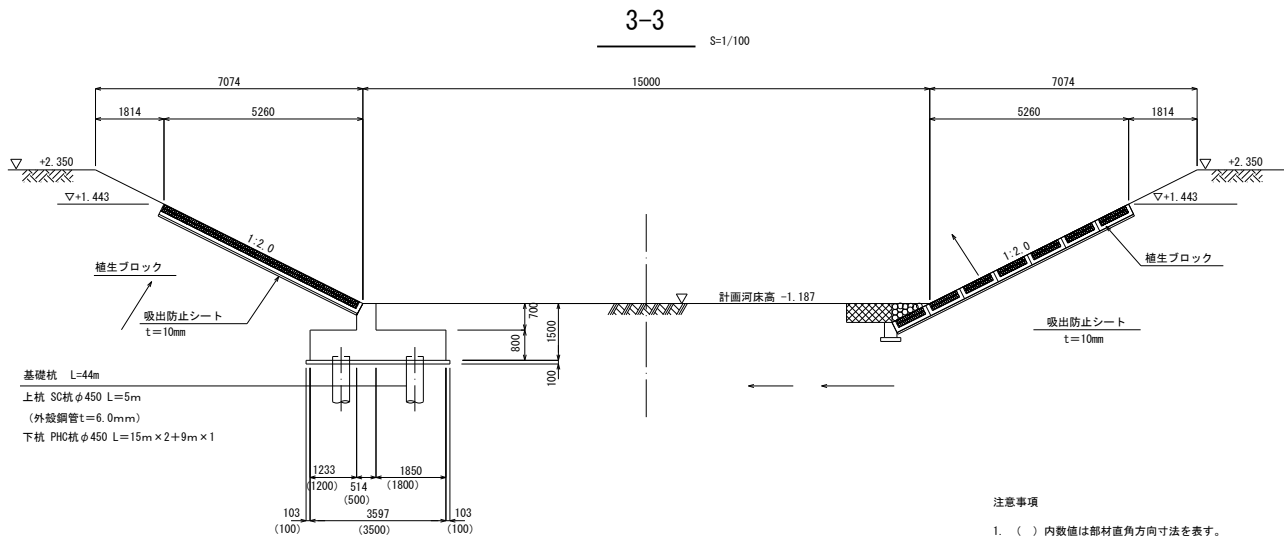
使用材質
均しコンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
無筋コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
鉄筋コンクリート $\sigma_{ck}=21N/mm^2$
鉄筋 SD295A

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下流側取付擁壁工構造図 (1/2)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A1 1 : 141	図面番号	5-25/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

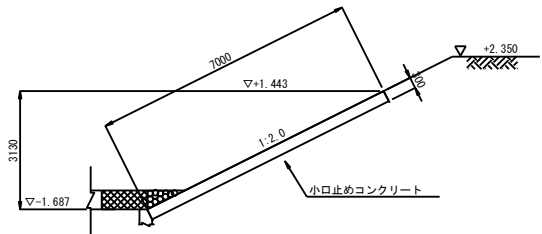
下流側取付擁壁工構造図(2/2)



- ※ 底版は#500で上下に配置。
側壁は#500で千鳥に配置。
※ 止水板は側壁のみとする。(エブロンと擁壁の接合部のみ)
※ 止水板は鉄筋間隔の中央に設置する。
※ () 内数値は側壁寸法を示す。



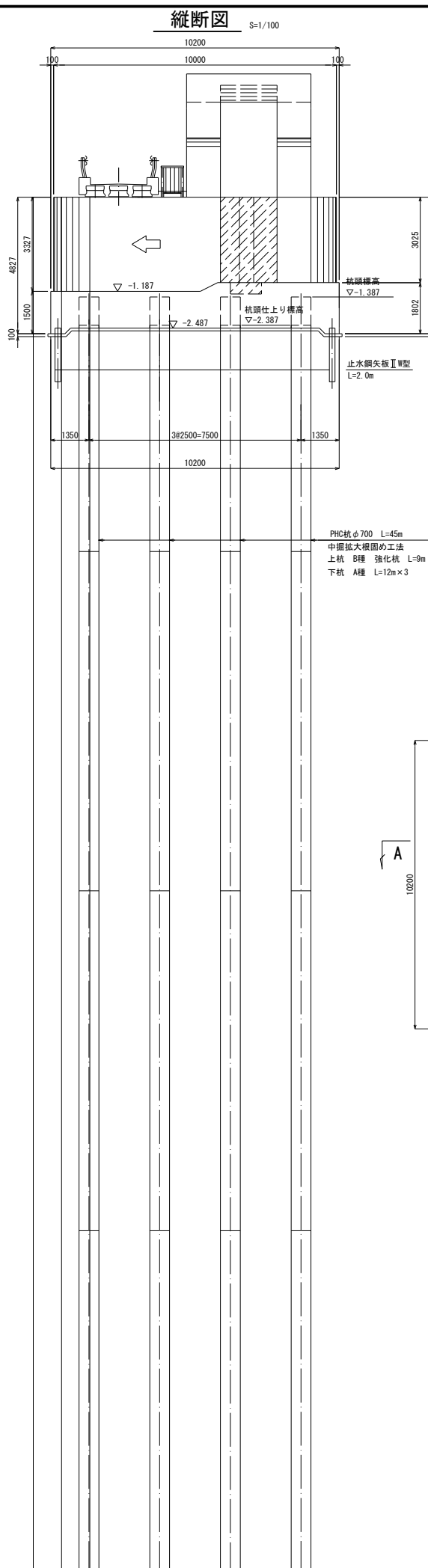
小口止めコンクリート詳細図 (護岸工詳細図参照) S=1/100



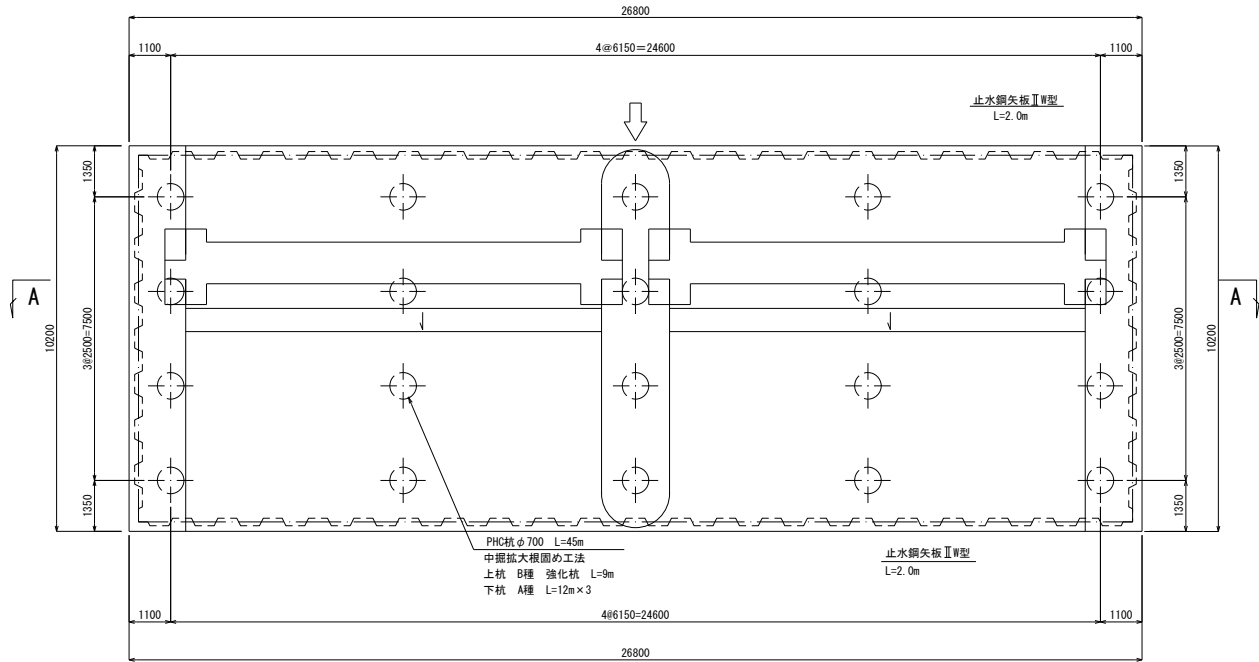
使用材質
均しコンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
無筋コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
鉄筋コンクリート $\sigma_{ck}=21N/mm^2$
鉄筋 SD295A

- 注意事項
1. () 内数値は部材直角方向寸法を表す。
2. 基礎杭は別紙「基礎杭詳細図 (8/9, 9/9)」参照。

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下流側取付擁壁工構造図 (2/2)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-26/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



平面图



注意事項

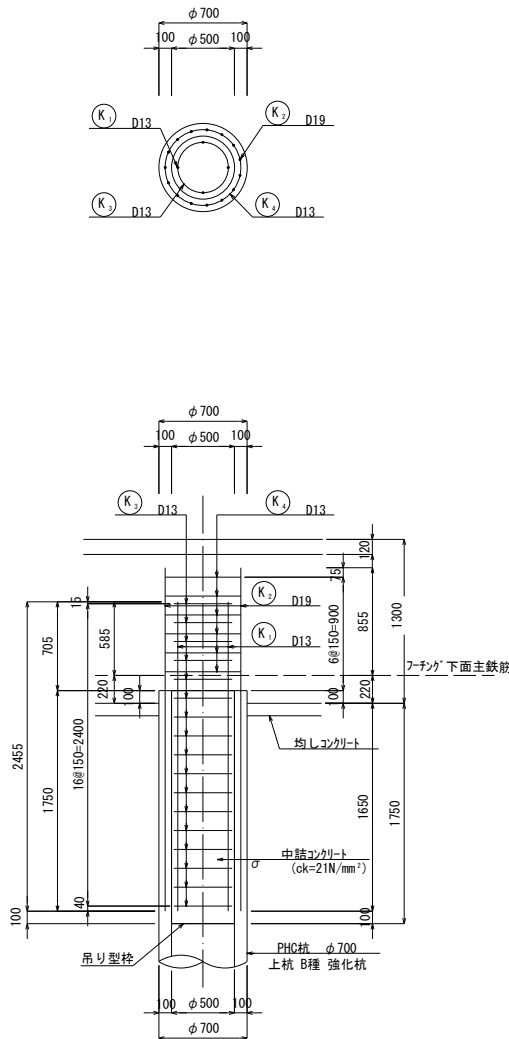
1. 上杭は、PHCφ700B種（強化杭）L=9mで、杭体内補強鉄筋D19 L=2.725m/本 N=15本を工場製作で配置し現場搬入すること。
2. 上杭は、カットオフ1.0mで杭頭標高はEL1=YP-1.387m 杭頭仕上り標高はEL2=YP-2.387mとする。
3. 杭の継手はアーク溶接とし、所定の溶接技能者が行なうこと。（JIS A 7201 による）

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	基礎杭詳細図 (1/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-27/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

基礎杭詳細図 (2/9)
(本体部)

杭頭補強図

S=1/30

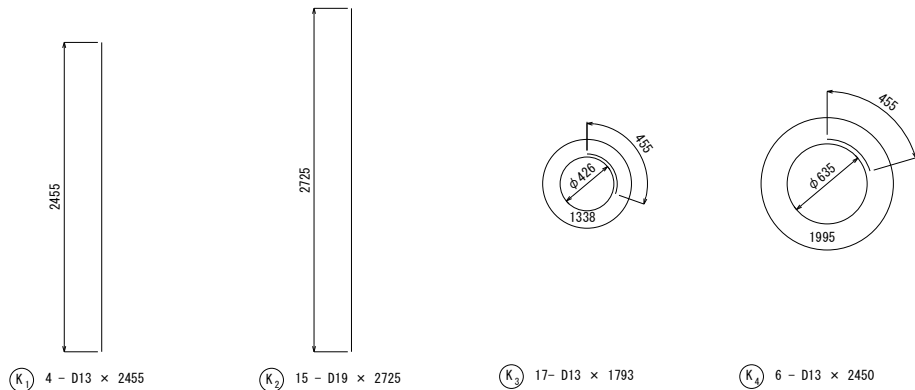


注意事項

- 上杭は、PHCφ700B種（強化杭）L=9mで、杭体内補強鉄筋D19 L=2.725m/本 N=15本を工場製作で配置し現場搬入すること。
- 上杭は、カットオフ1.0mで杭頭標高はEL1=YP-1.387m 杭頭仕上り標高はEL2=YP-2.387mとする。
- 杭の継手はアーク溶接とし、所定の溶接技能者が行なうこと。（JIS A 7201 による）

鉄筋加工図

S=1/30



杭頭補強鉄筋表

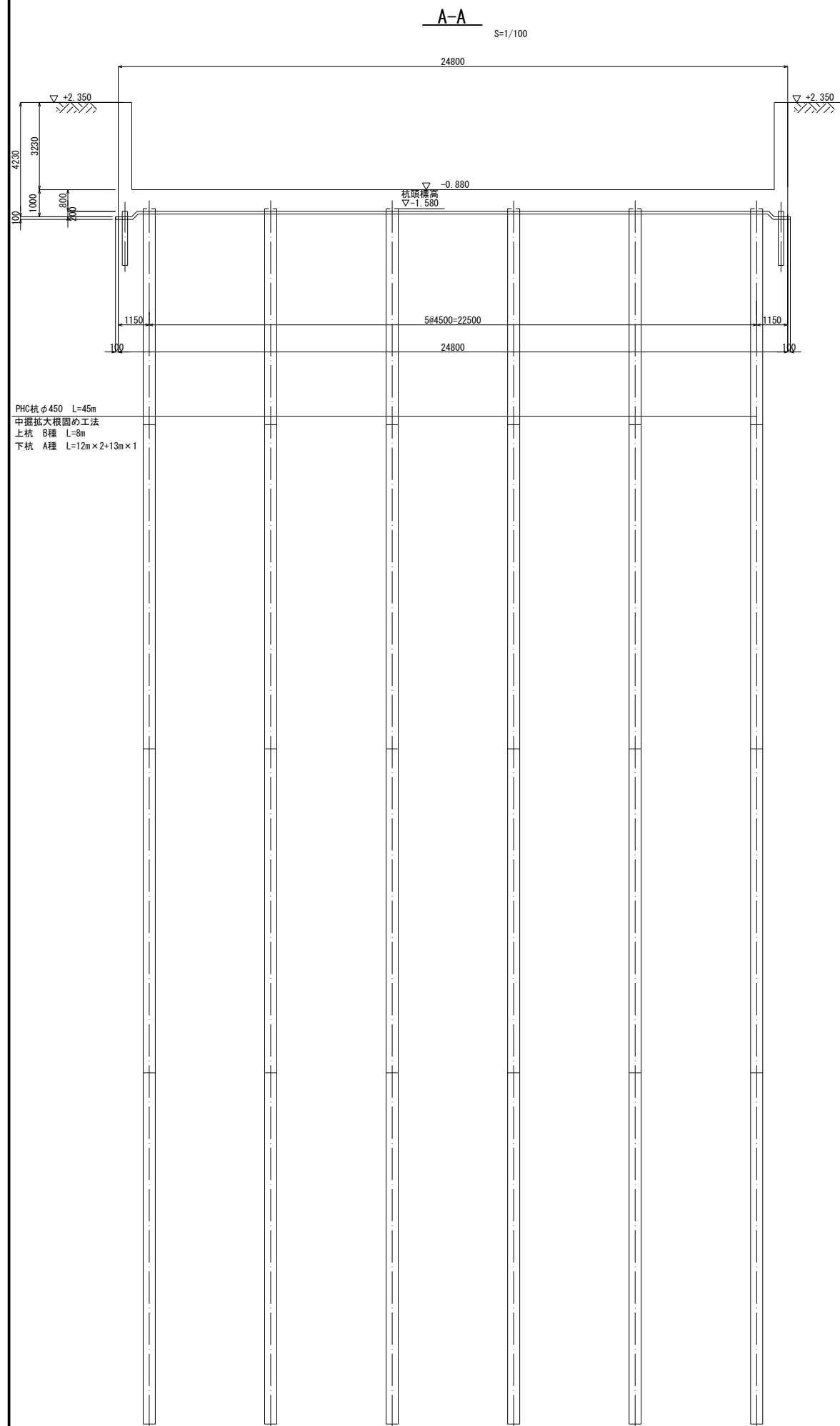
(杭1本当たり)

記号	(mm) 径	(mm) 長さ	本数	(kg/m) 単位質量	(kg) 1本当たり質量	(kg) 質量	備 考
K 1	D13	2455	4	0.995	2.443	9.8	
K 2	D19	2725	15	2.25	6.131	92.0	
K 3	D13	1793	17	0.995	1.784	30.3	○
K 4	D13	2450	6	0.995	2.438	14.6	○
				D19	92.0	(kg)	
				D13	54.7	(kg)	
				合計	146.7	(kg)	

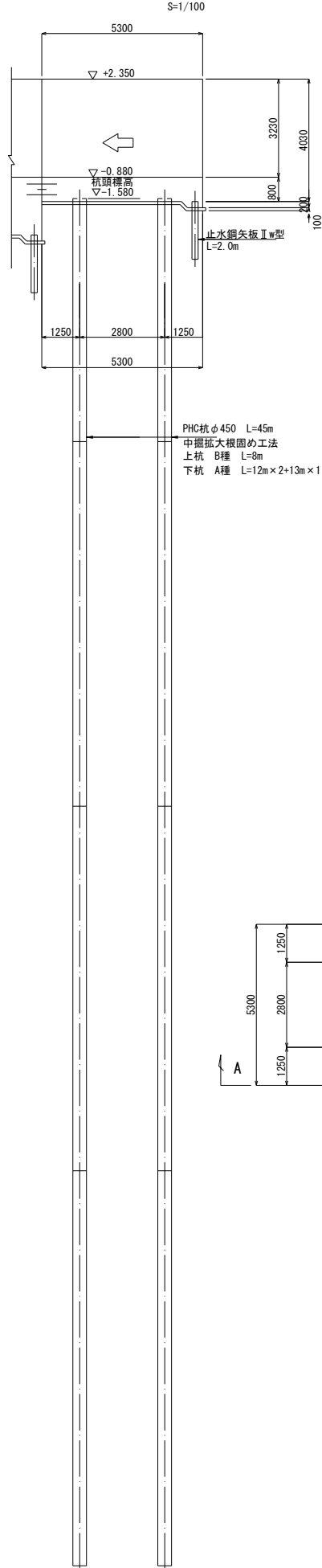
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	基礎杭詳細図 (2/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 30 A2 1 : 42	図面番号	5-28/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

基礎杭詳細図 (3/9)

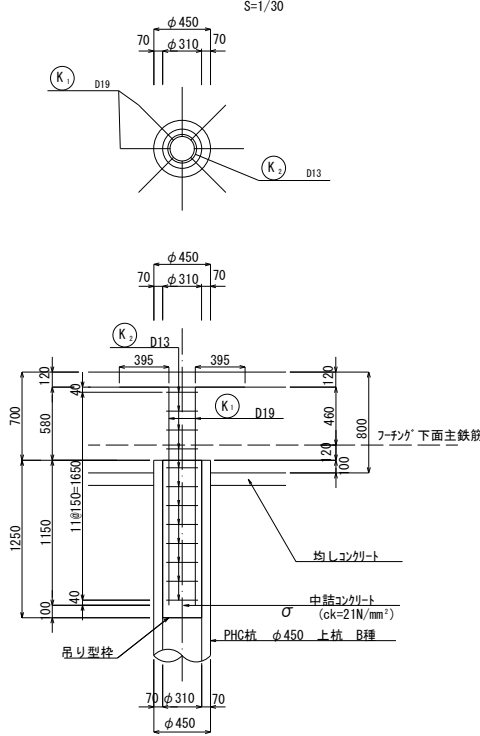
(上流側エプロン部)



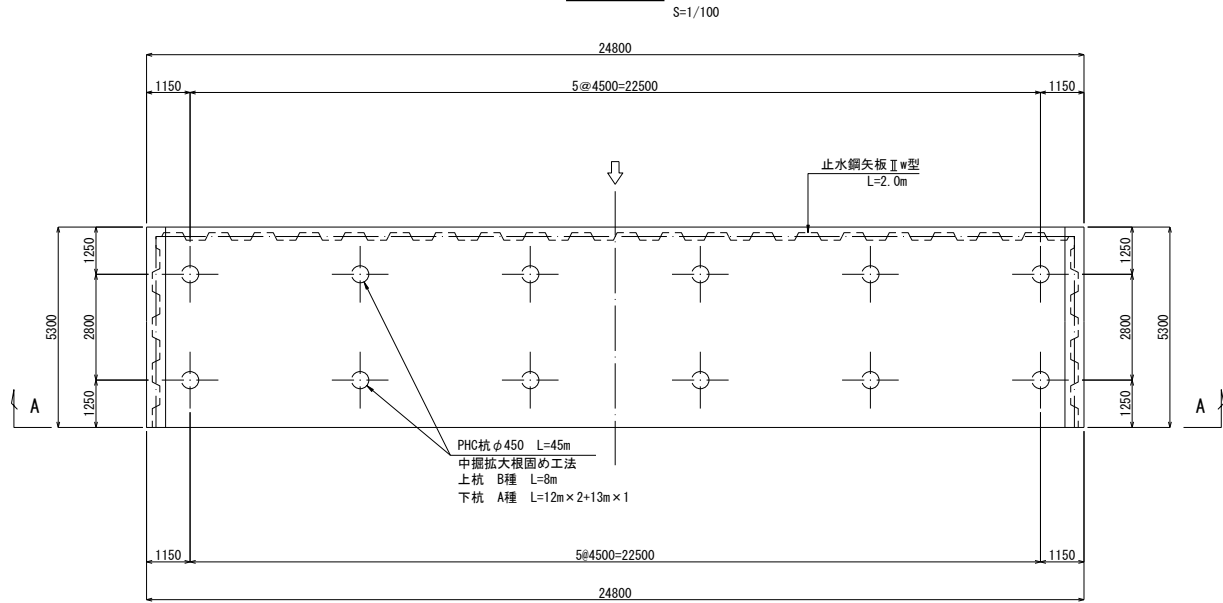
縦断面



杭頭補強図



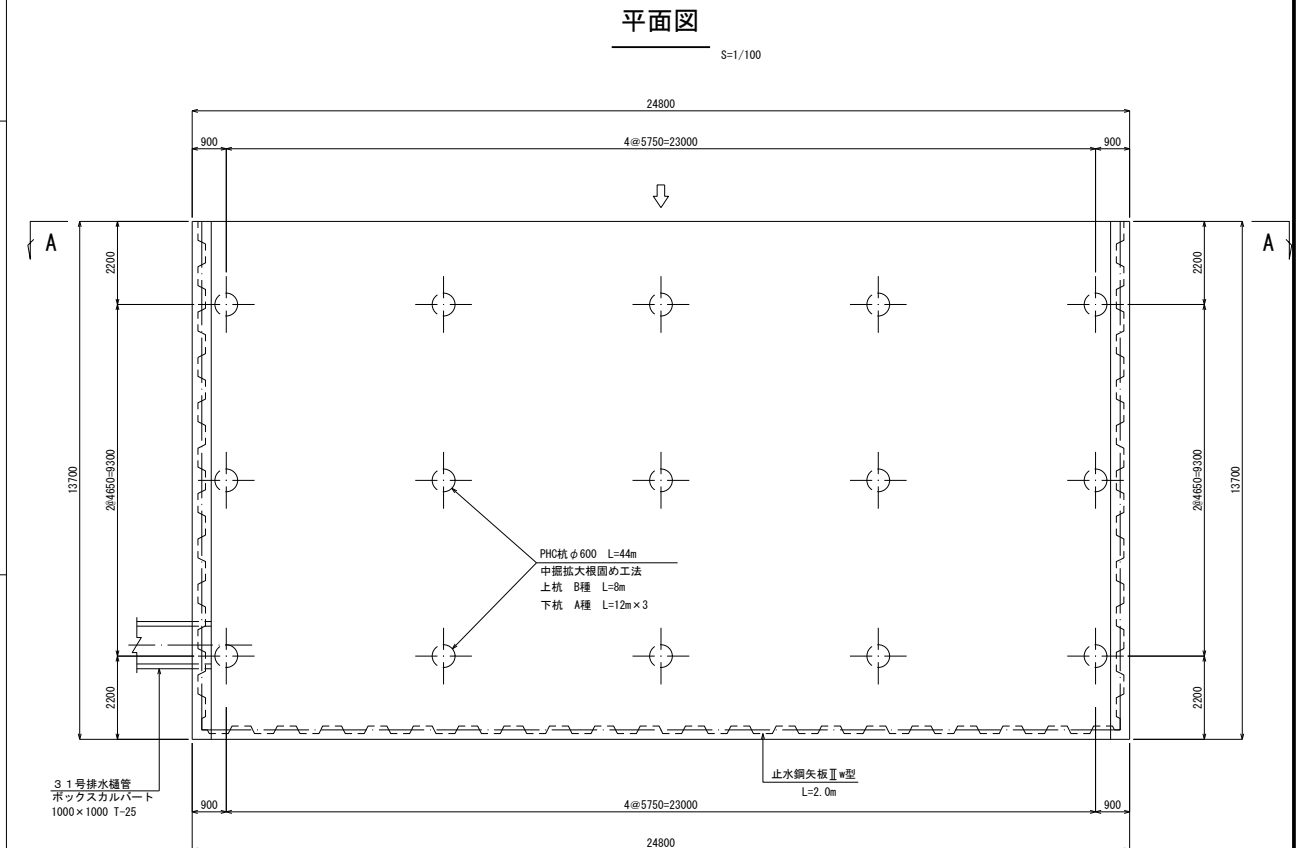
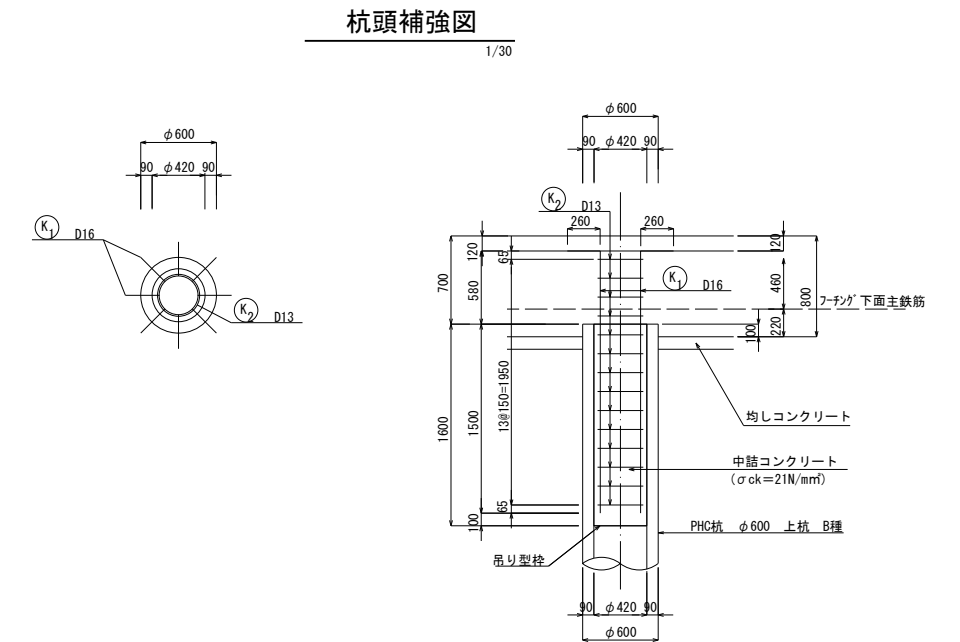
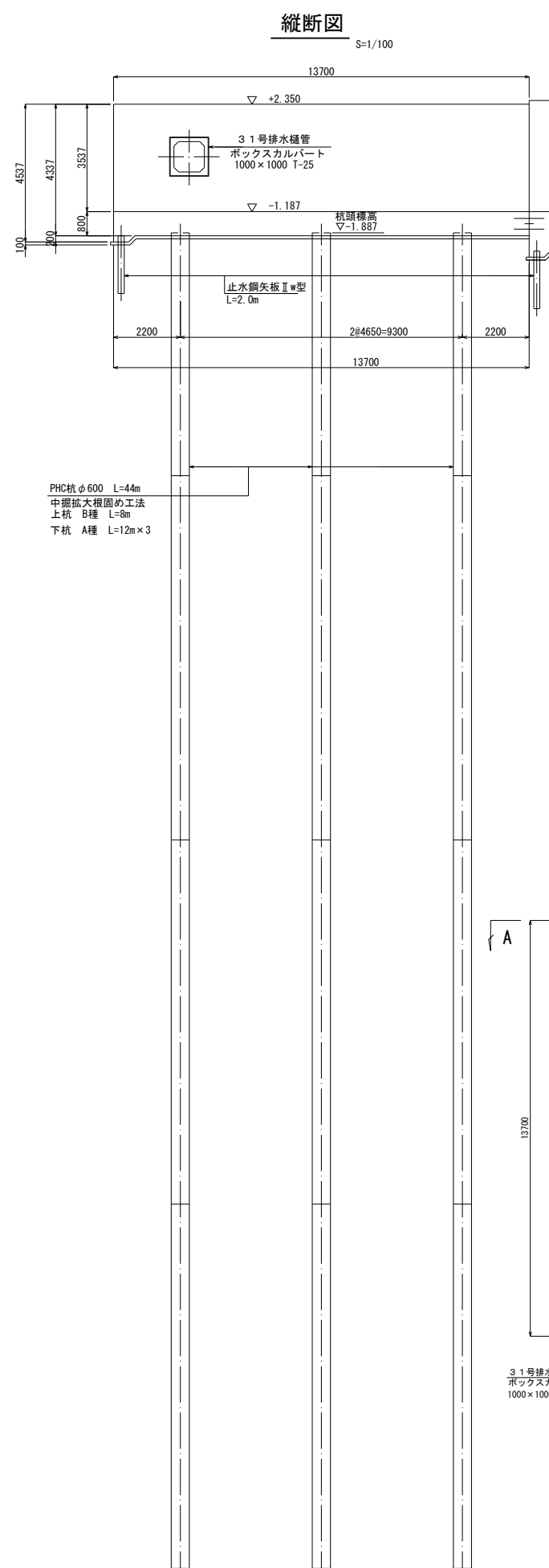
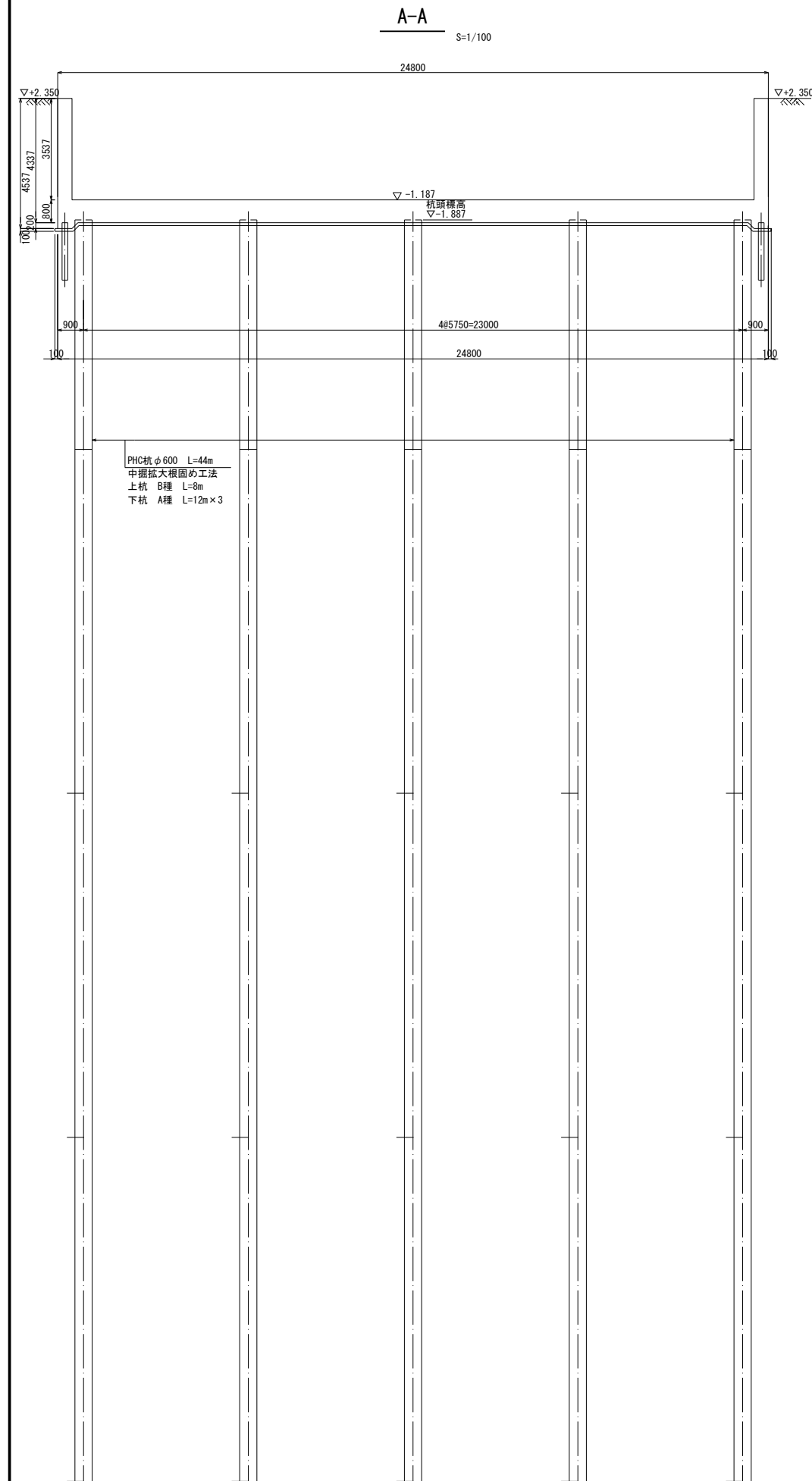
平面図



※ 杭の継手はアーク溶接とし、所定の溶接技能者が行なうこと。(JIS A 7201 による)

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	基礎杭詳細図 (3/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-29/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

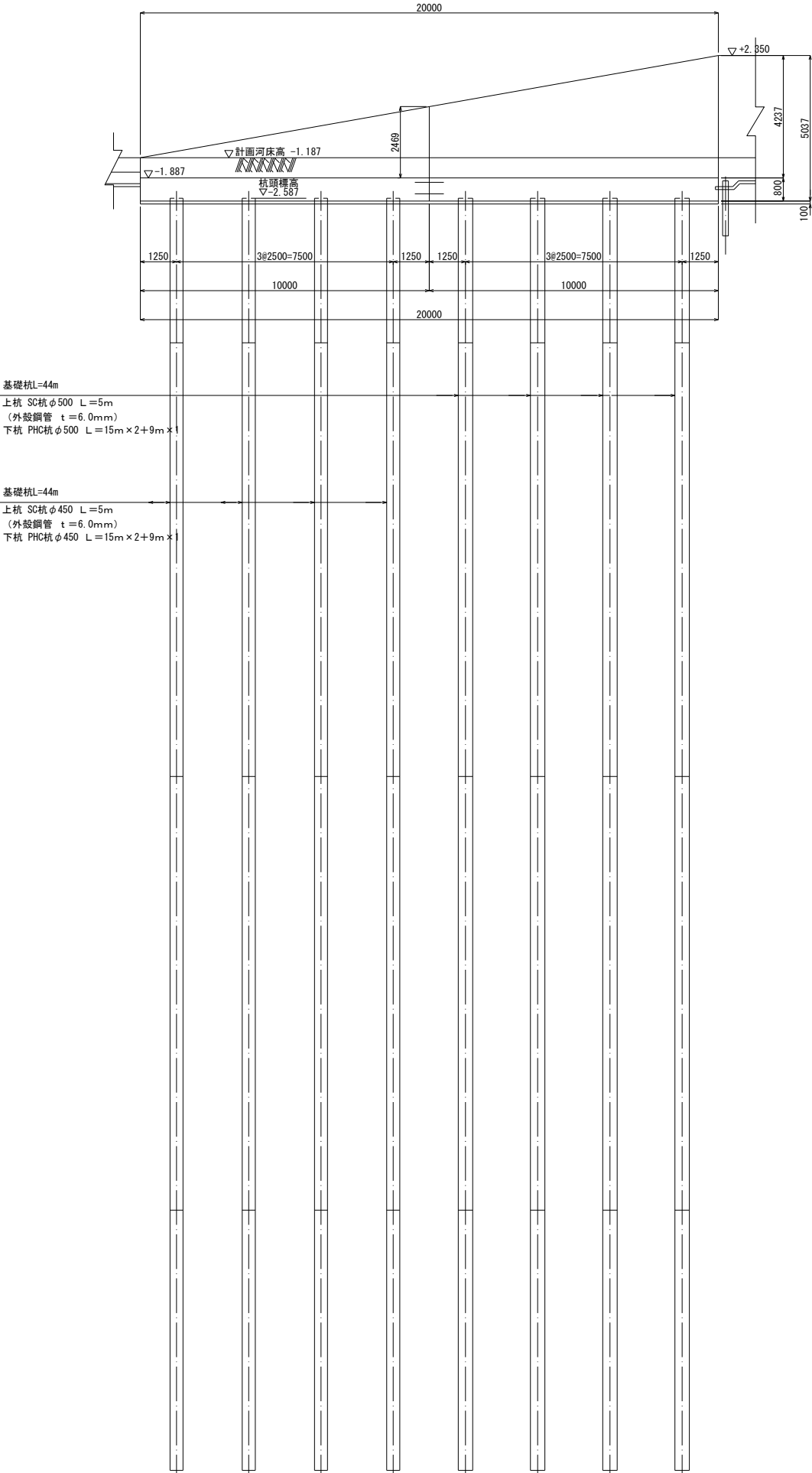
基礎杭詳細図 (4/9)
(下流側エプロン部)



施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	基礎杭詳細図 (4/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-30/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

※ 杭の継手はアーク溶接とし、所定の溶接技能者が行なうこと。(JIS A 7201 による)

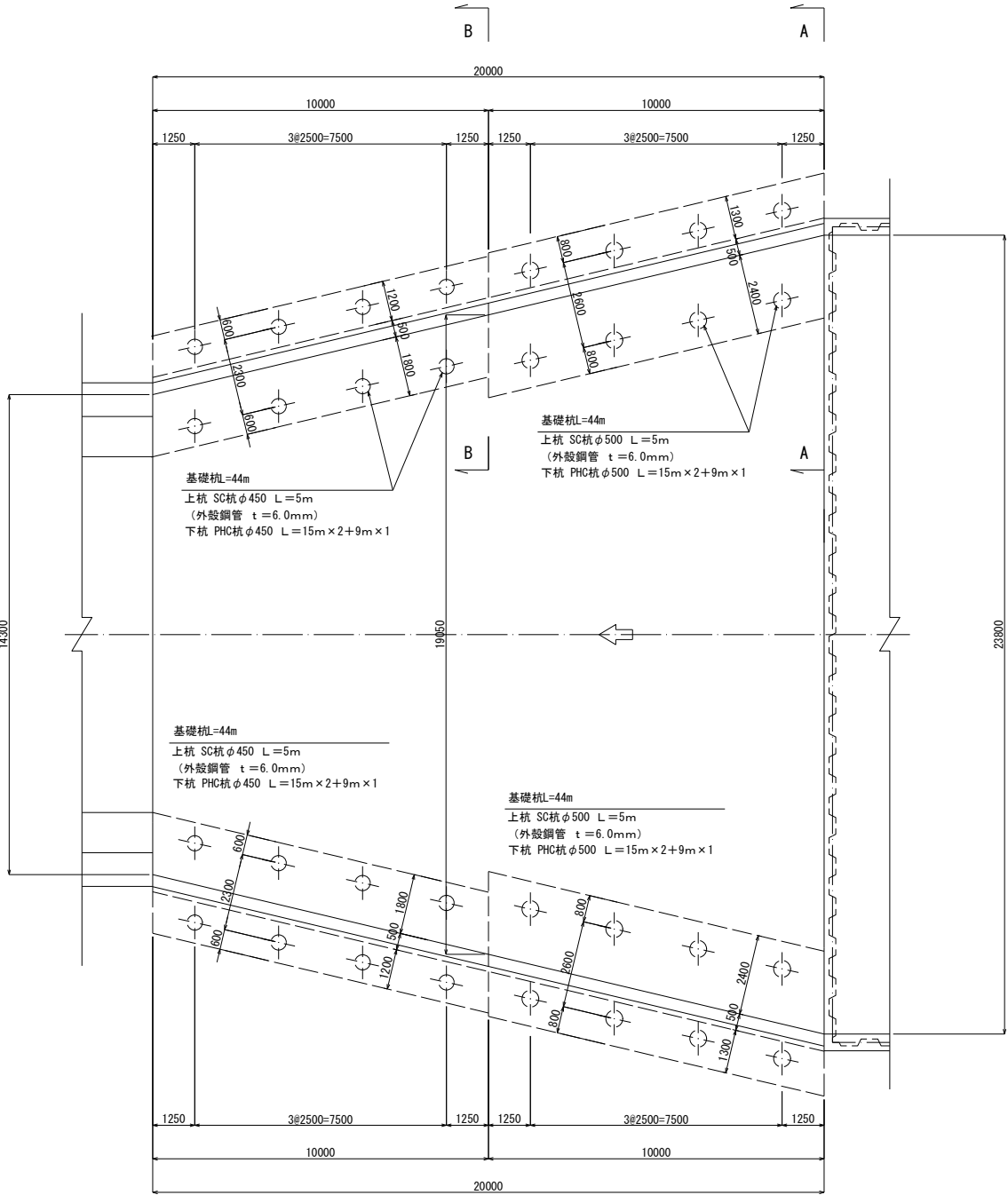
縦断面図



基礎杭詳細図 (5/9)

(下流側取付部) S=1/100

平面図



施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	基礎杭詳細図 (5/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 100 A2 1 : 141	図面番号	5-31/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

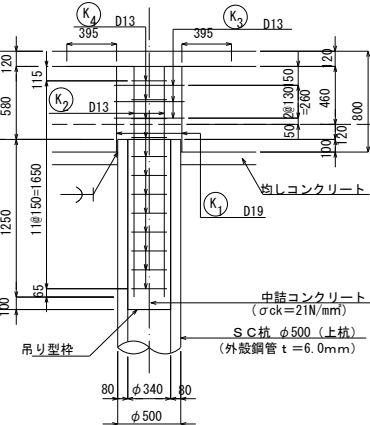
※ 杭の継手はアーク溶接とし、所定の溶接技能者が行なうこと。(JIS A 7201 による)

S=1/100



杭頭補強図

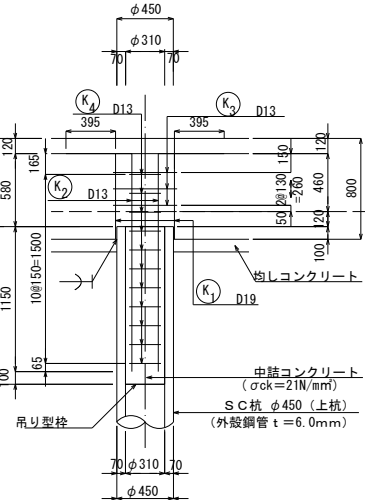
1/30



※ SC杭の外側の杭頭補強鉄筋(K1)は、フレア溶接L=100mm(両側)とする。

杭頭補強図

1/30



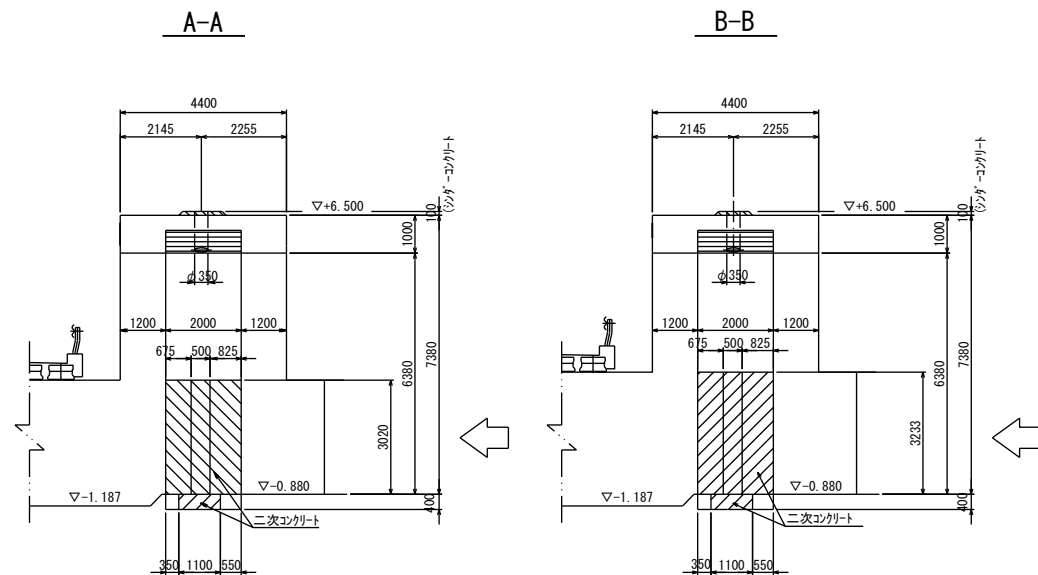
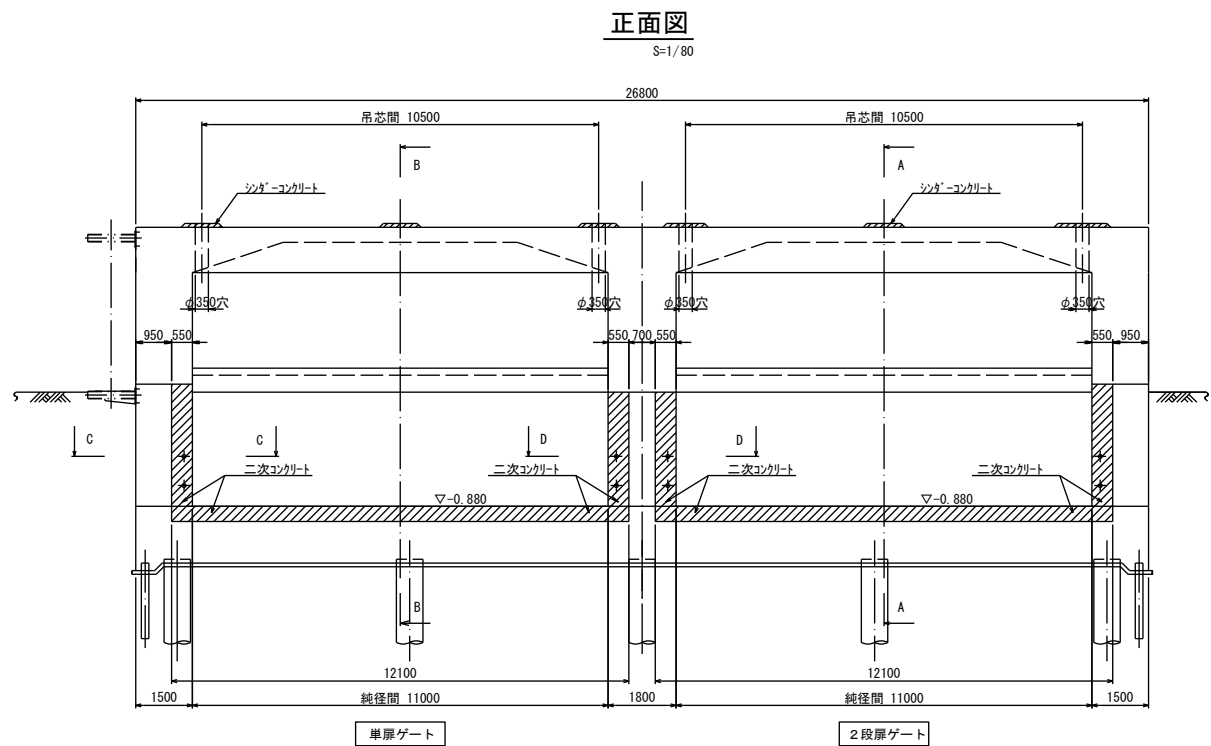
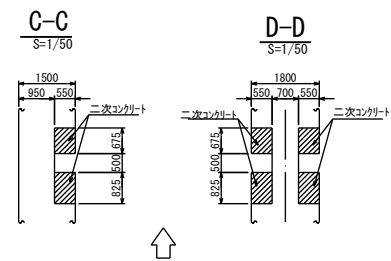
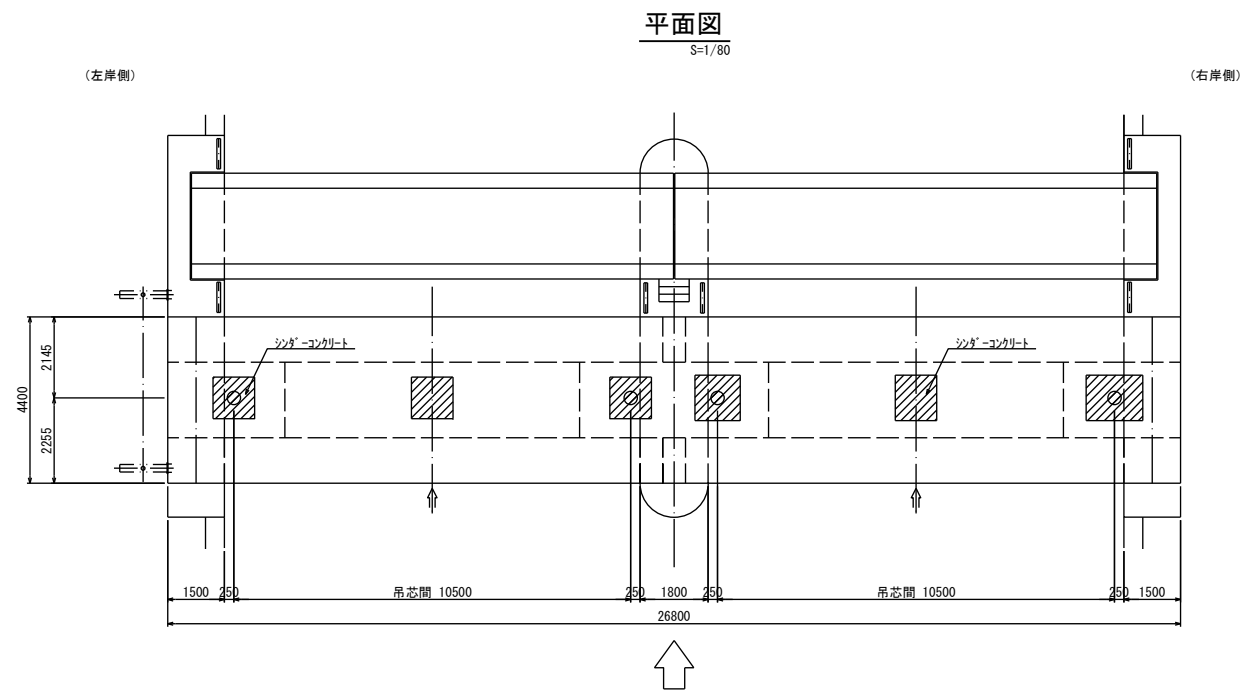
※ K1鉄筋端部で、被りが不足する場合は、被りに合わせて下方向へ曲げる。

※ SC杭の外側の杭頭補強鉄筋(K1)は、フレア溶接L=100mm(両側)とする。

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	基礎杭詳細図 (6/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-32/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

※ 杭の継手はアーク溶接とし、所定の溶接技能者が行なうこと。(JIS A 7201 による)

下部工構造図(7/9)
(箱抜き詳細図)



使用材質
均しコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
無筋コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋コンクリート $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$
二次コンクリート $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$
シンダーコンクリート $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$
鉄筋 SD295A

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	基礎杭詳細図 (7/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-33/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

$S=1/100$



A-A部

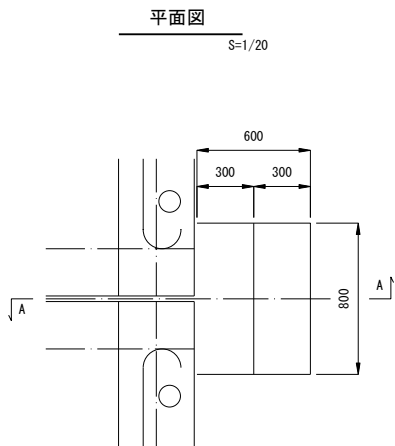
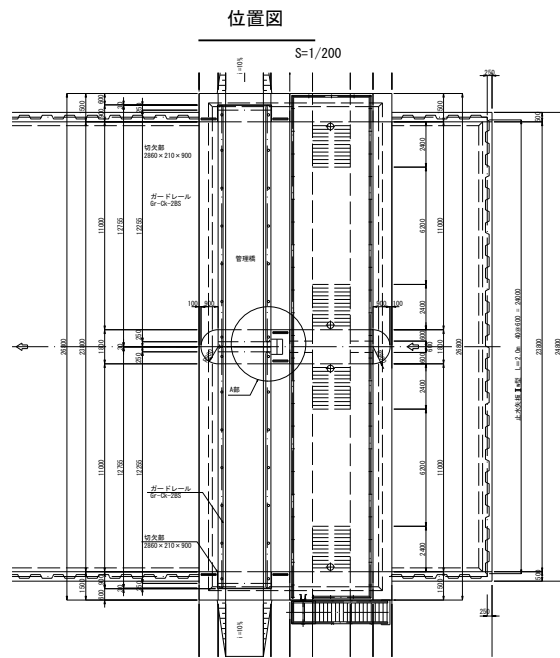


A-A部

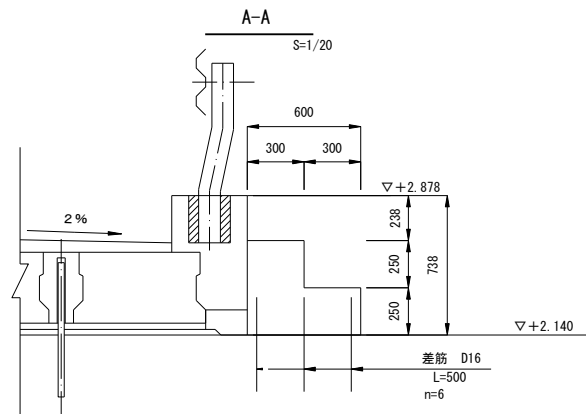
※ 杭の継手はアーク溶接とし、所定の溶接技能者が行なうこと。(JIS A 7201 による)

下部工構造図 (9/9)

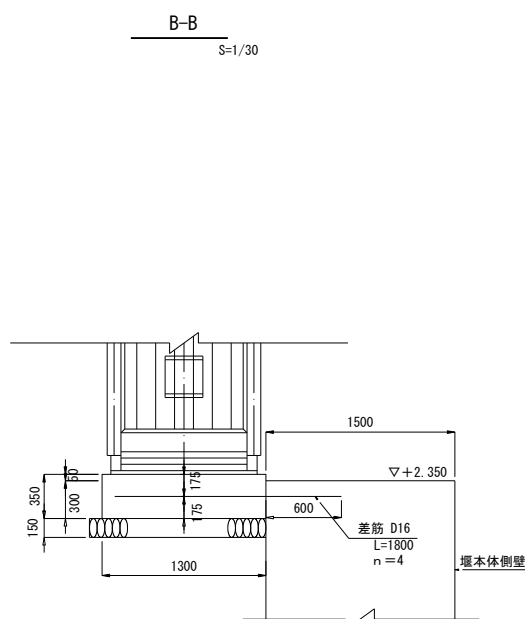
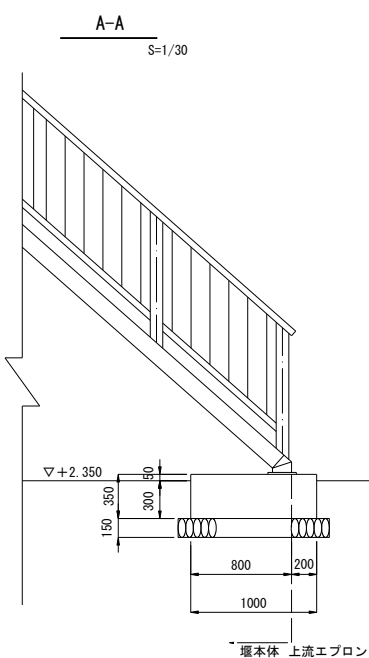
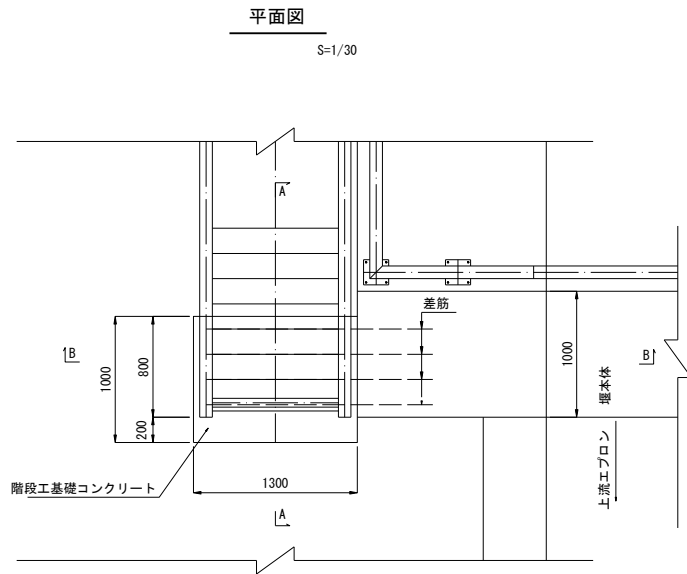
堰体中央部昇降階段工詳細図



A部詳細図



階段基礎コンクリート詳細図



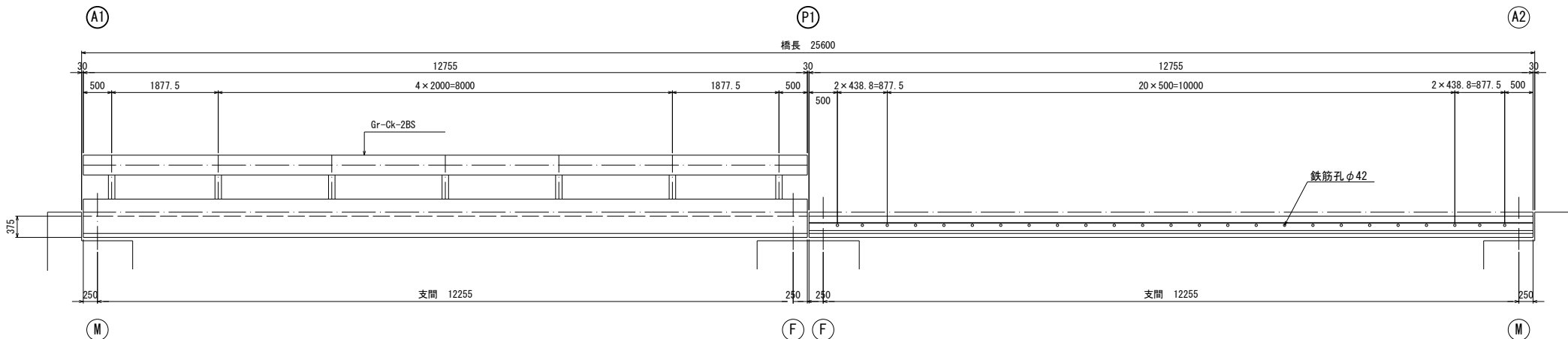
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	下部工構造図 (9/9)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-35/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

管理橋詳細図(1/6)

(上部工構造一般図)

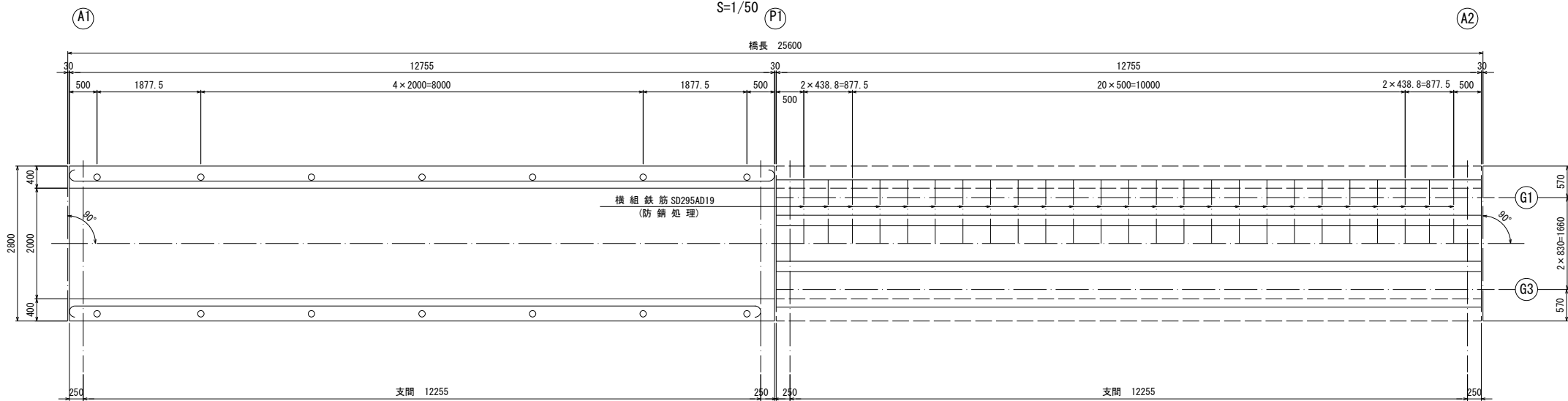
側面図

(LS桁)



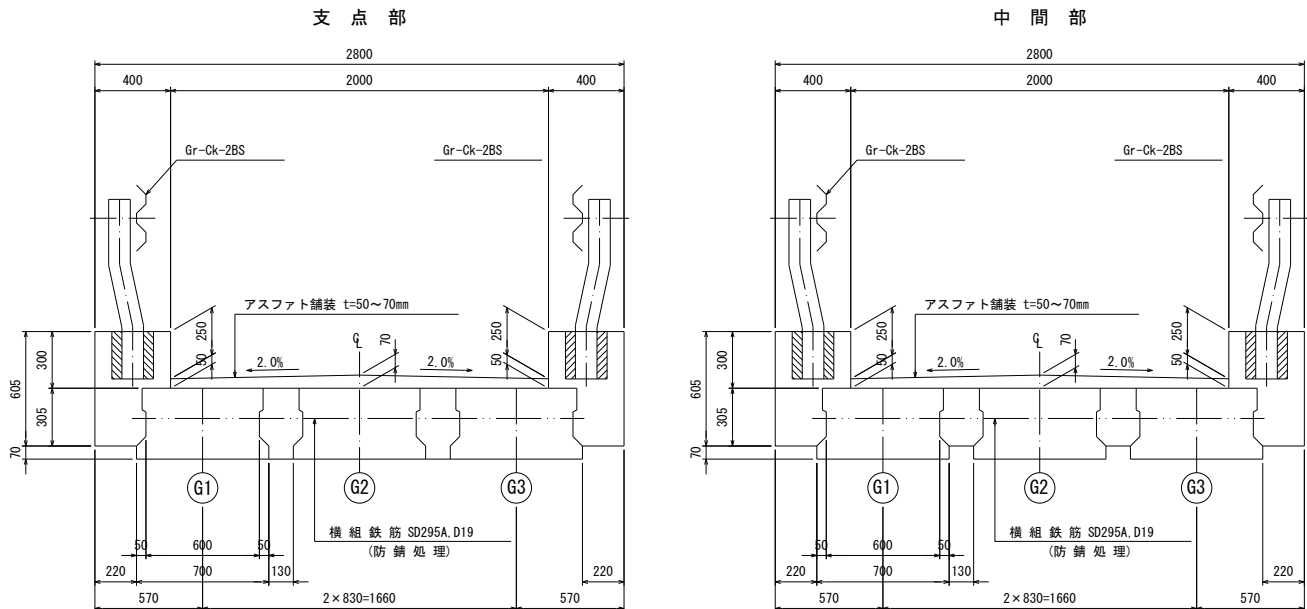
平面図

S=1/50



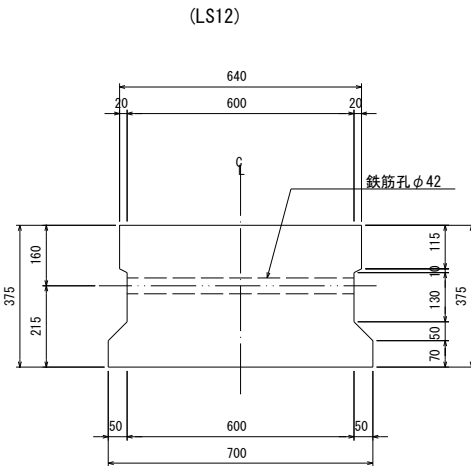
断面図

S=1/20



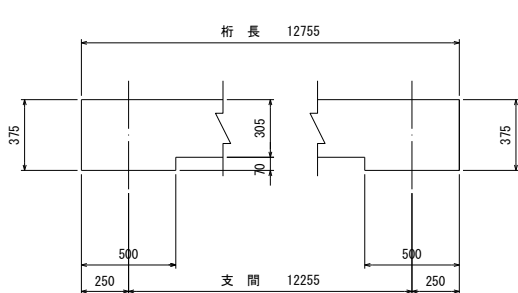
主桁断面図

S=1/10



間詰め部詳細図

S=1/20



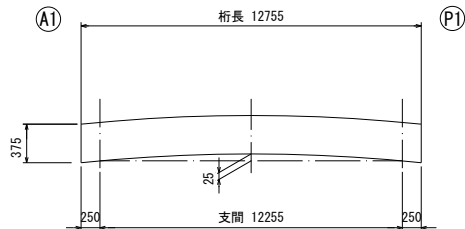
設計条件

種別	プレストレストコンクリート歩道橋
形式	プレテンション方式軽重スラブ橋
荷重	5kN/m ²
橋長	25.600 m
桁長	12.755 m
支間	12.255 m
全幅員	2.800 m
有効幅員	2.000 m
斜角	90° 00' 00"
縦断勾配	LEVEL
横断勾配	2.0 % 2.0 %

材料強度及び許容応力度

コンクリート	設計基準強度		主桁	場所打
	プレストレス導入時圧縮強度		70	24
許容曲げ圧縮応力度	プレストレス導入時設計荷重時		26.5	8.0
	プレストレス導入時設計荷重時		-2.0	-2.0
許容曲げ引張応力度	プレストレス導入時設計荷重時		-2.0	-2.0
	プレストレス導入時設計荷重時		180	140
P.C.鋼材	呼称径		SWPR7BL 1S 15.2	SD295A D19
	引張強度		1850	440
鉄筋	降伏点応力度		1600	295
	初期導入直後設計荷重時		1110	140
SD295	許容引張長さ		180	140
	降伏点応力度		295	140

キャンバー図



※ キャンバーは排水勾配として残す。

注意事項

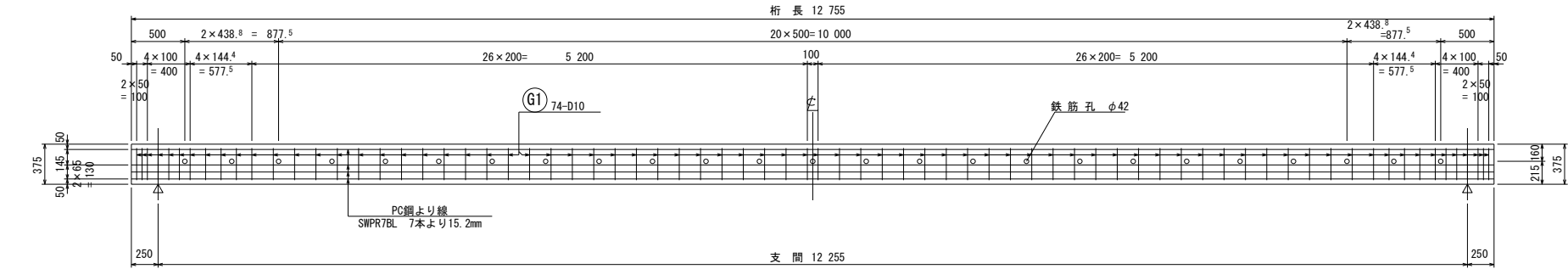
1. ガードレール部補強鉄筋詳細図は別図「管理橋詳細図(3/6)」参照。

施設名	川尻水門(0312100-1100-25)		
図面名	管理橋詳細図(1/6)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-36/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

管理橋詳細図 (2/6)
(主桁配筋図)

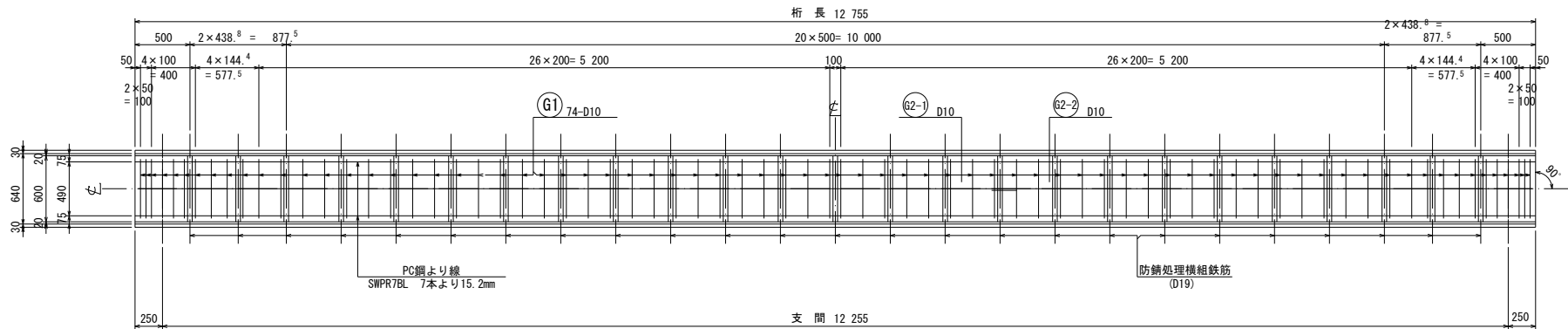
側面図

S=1/30



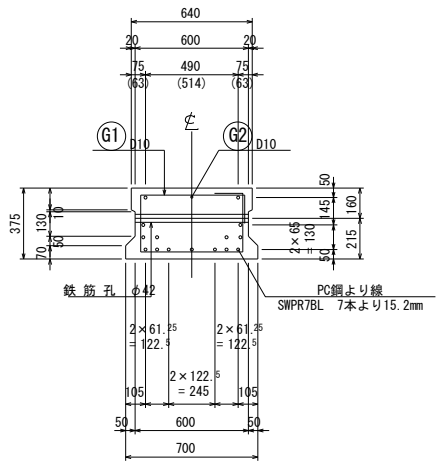
平面図

S=1/30



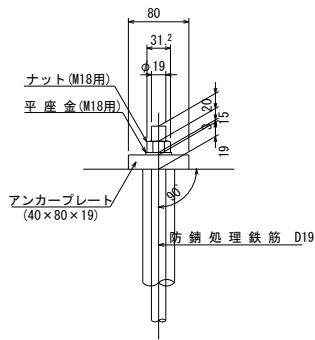
断面図

S=1/20



横締め定着具詳細図

S=1/5

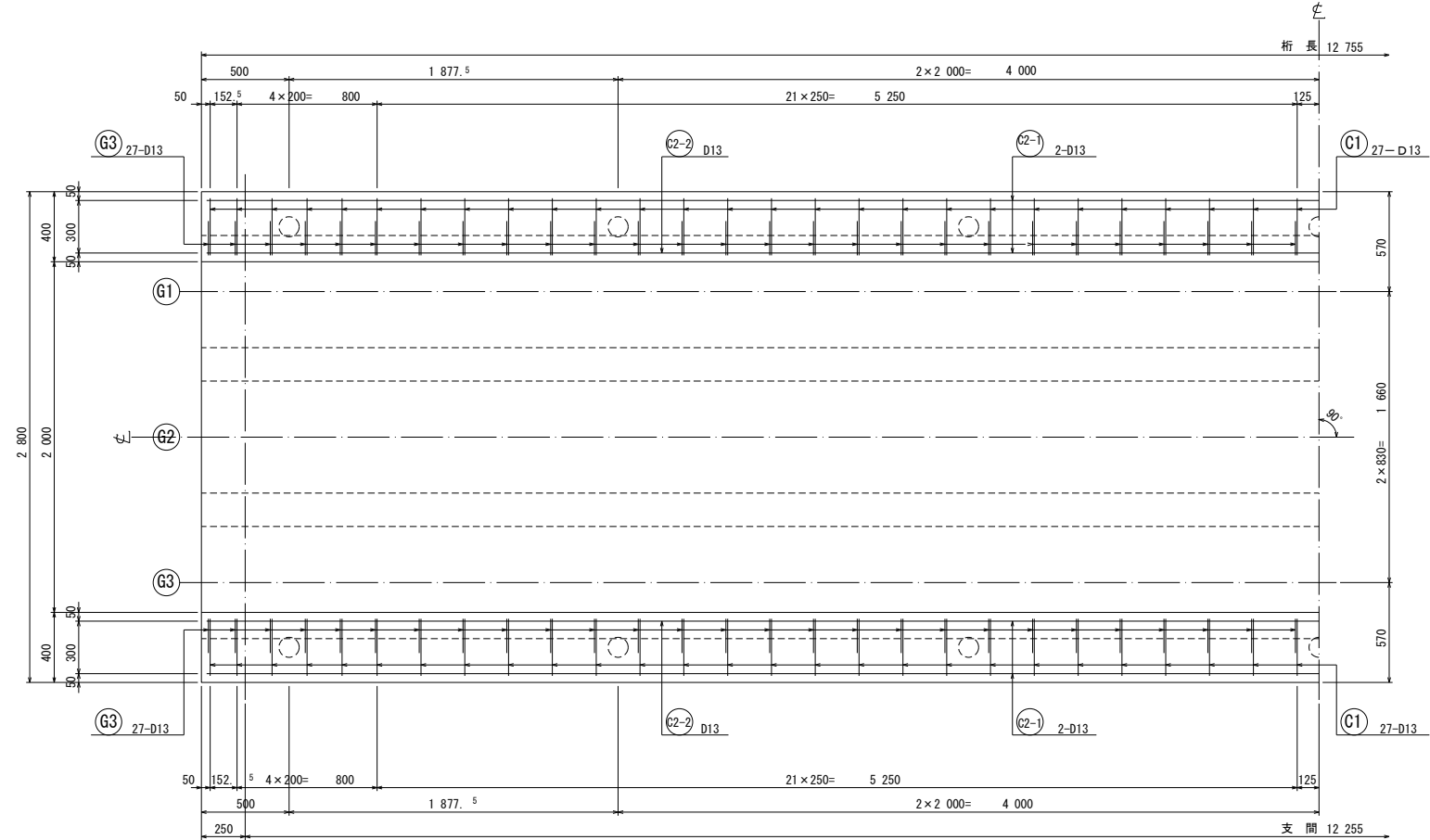


注) () 内の寸法は、最下段 及び 最上段以外のPC鋼より線の水平距離とする。

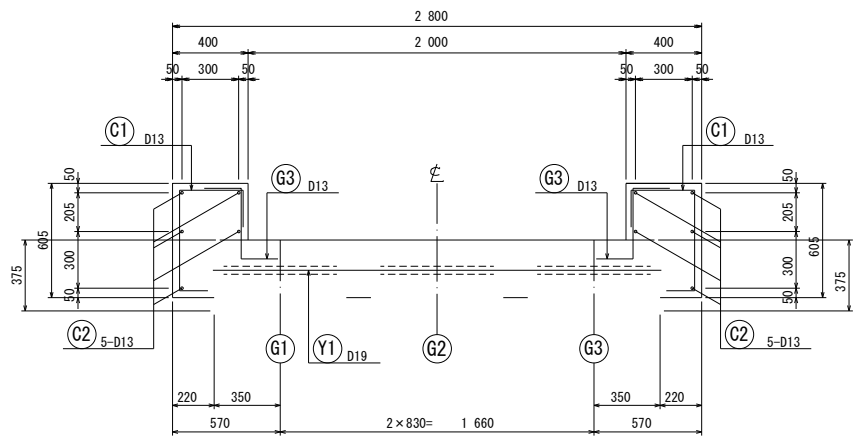
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	管理橋詳細図 (2/6)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-37/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

管理橋詳細図(3/6)
(地覆配筋図)

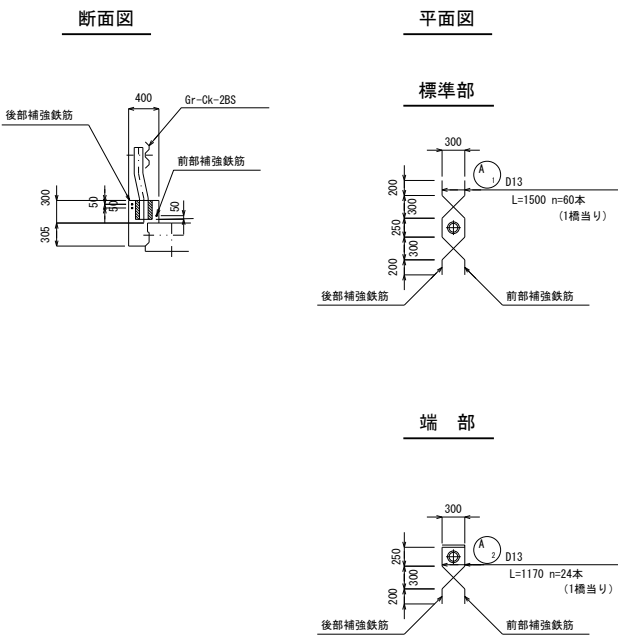
平面図
S=1/20



断面図
S=1/20

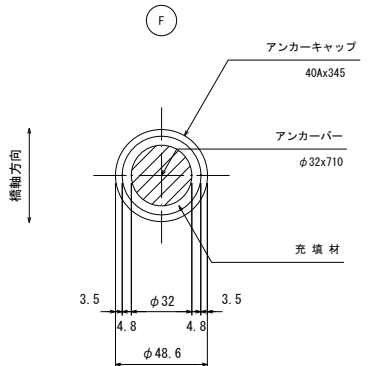
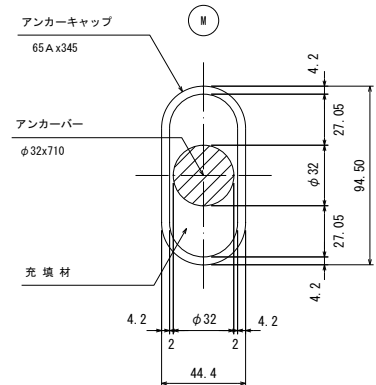
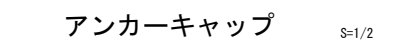
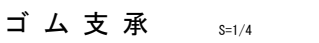
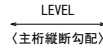
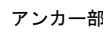
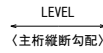
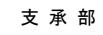
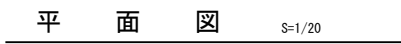


ガードレール部補強鉄筋詳細図
S=1/50



施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	管理橋詳細図 (3/6)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-38/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

管理橋詳細図(4/6)



材 料 表

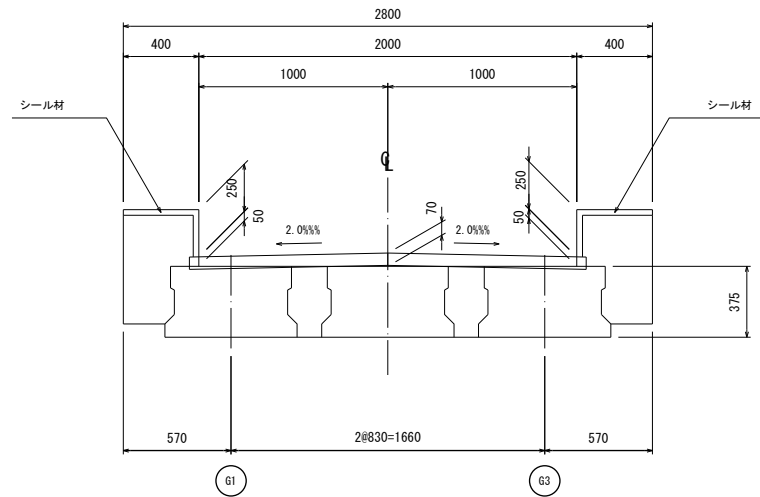
名 称	寸 法	材 質	単位	数 量					質 量 (k g)	備 考
				A1 (M)	P1L (F)	P1R (M)	A2(F)	合 計		
簡易ゴム支承	2360x150x33	図 示	枚	1		1		2		
〃	2360x150x33	〃	〃		1		1	2		
アンカーバー	φ32x710	S35CN	本	2		2		4	17.92	
〃	φ32x710	〃	〃		2		2	4	17.92	
アンカーキャップ	65 A x345	S G P	〃	2		2		4	10.30	
〃	40 A x345		〃		2		2	4	5.36	
充 填 材		アイガスE	リッター	1.43	0.42	1.43	0.42	3.70	5.56	r=1500kg/m3
音座モルタル		無収縮モルタル	m3	0.021	0.021	0.021	0.021	0.084		
アンカー孔モルタル	φ150x420	無収縮モルタル	m3	0.014	0.014	0.014	0.014	0.056		

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	管理橋詳細図 (4/6)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-39/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

管理橋詳細図 (5/6)
(伸縮継手詳細図)

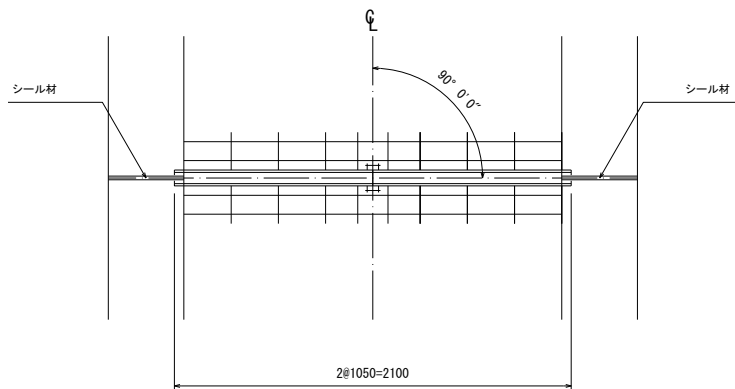
断面図

S=1/20



平面図

S=1/20

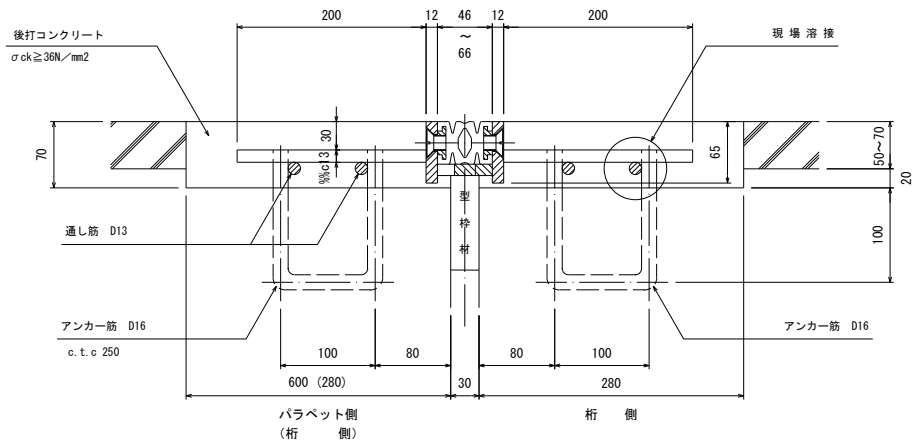


伸縮継手断面図

S=1/4

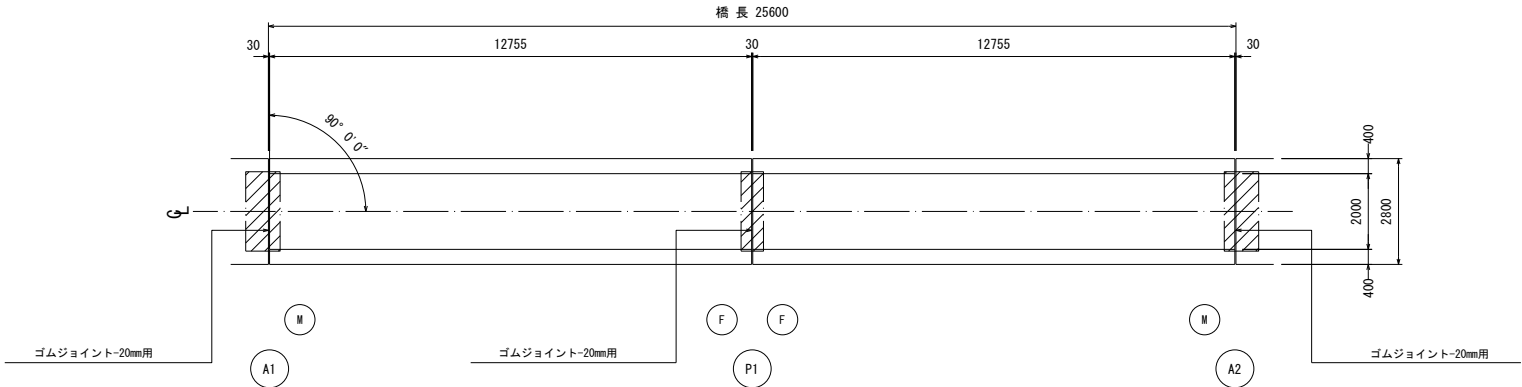
ゴムジョイント-20mm用

歩道用



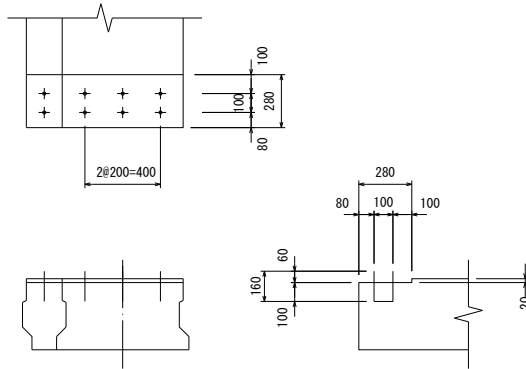
配置図

S=1/100



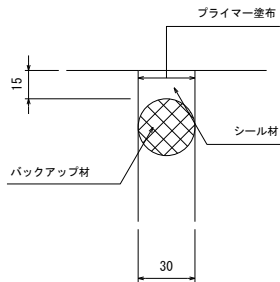
アンカー筋埋設図

S=1/20



シール材充填図

S=1/2



伸縮継手材料表

名 称	材 質	A1数量	P1数量	A2数量	合計数量	備 考
ゴムジョイント-20mm用	S400 合成ゴム	2.10 m	2.10 m	2.10 m	6.30 m	歩道用
シール材	シリコン系	0.59 リッター	0.59 リッター	0.59 リッター	1.77 リッター	
後打コンクリート		0.135 m3	0.094 m3	0.135 m3	0.364 m3	

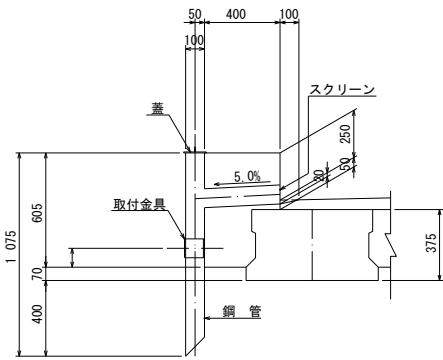
アンカー筋表

寸 法	A1数量	P1数量	A2数量	合計数量	1本当り質量	合計質量	備 考
D16x420	11 本	22 本	11 本	44 本	0.655 kg	28.8 kg	上部工
D16x380	8 本	—	8 本	16 本	0.593 kg	9.4 kg	下部工

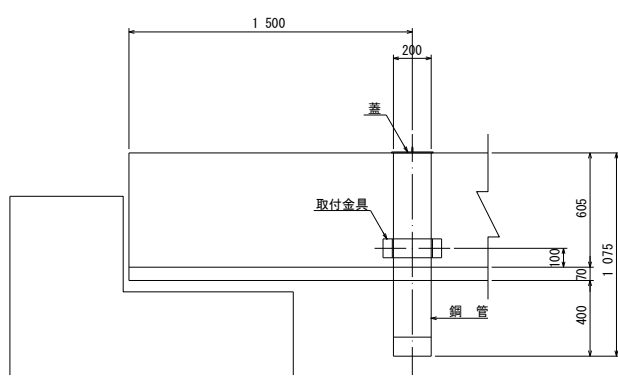
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	管理橋詳細図 (5/6)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-40/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

管理橋詳細図(6/6)
(排水・防水工詳細図)

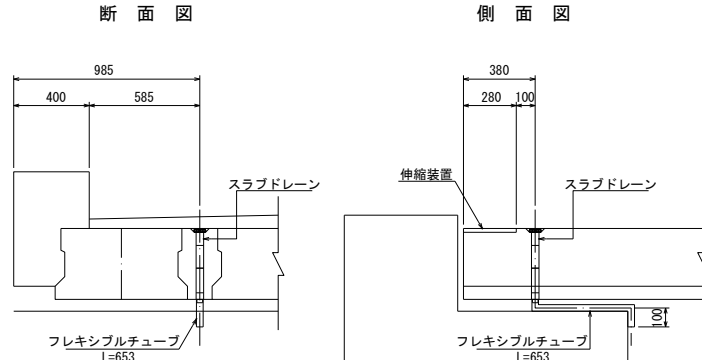
断面図 S=1:20



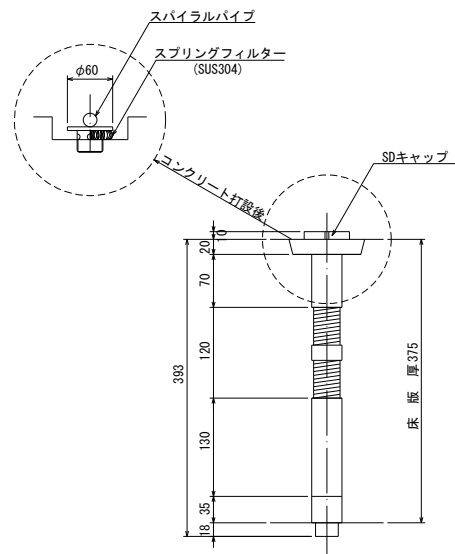
側面図 S=1:20



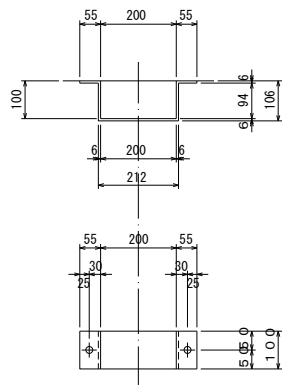
スラブドレーン配置図 S=1:20



スラブドレーン詳細図 S=1:5

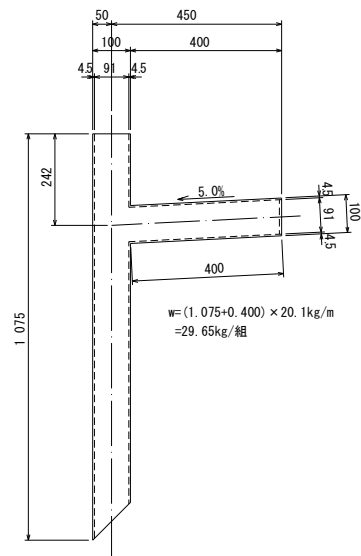


取付金具詳細図 S=1:10



1-PL-100×6×510
2-ホールインアンカー M16

排水管詳細図 S=1:10

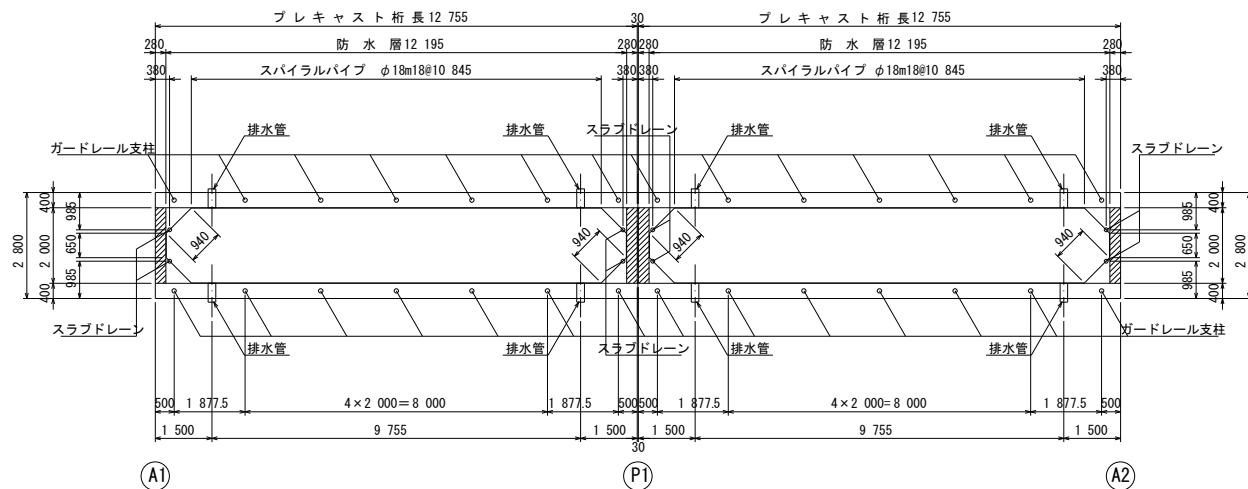


$w = (1.075 + 0.400) \times 20.1 \text{ kg/m}$
 $= 29.65 \text{ kg/組}$

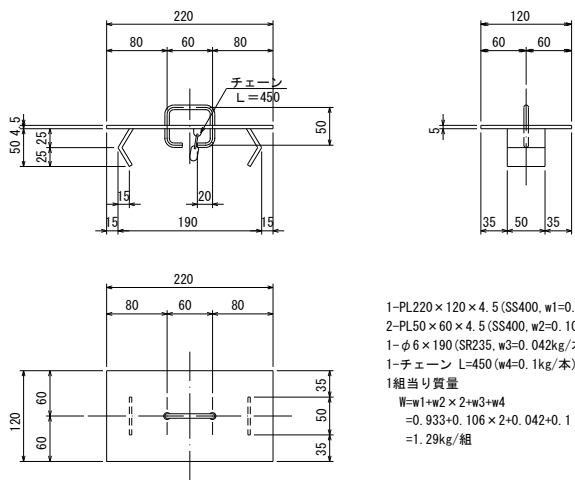
排水材料表

名 称	仕 様	単 位	数 量	単位質量	質 量 (kg)	摘 要
排 水 管	□200×100×4.5×1 525	kg	8	29.65 kg/組	237.2	STKR400
蓋	200×100用	〃	8	1.29 kg/組	10.3	SS400
ス ク リ ー ン	7-φ6×91	〃	8	0.14 kg/組	1.1	SR235
取 付 金 具	PL-100×6×510	〃	8	4.71kg/m	19.2	
ホールインアンカー	M16	個	16			
※上記材質は溶融亜鉛メッキを施す。						
スラブドレーン		個	8			
スパイラルパイプ	φ18	m	53.5			
防 水 層	シート系	m ²	48.8			

位 置 図

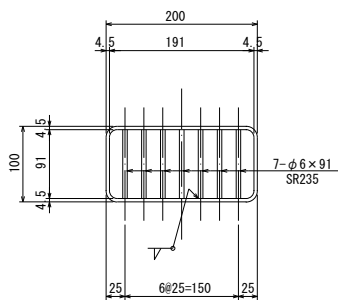


蓋 詳 細 図 S=1:5



1-PL220×120×4.5 (SS400, w1=0.933kg/枚)
2-PL50×60×4.5 (SS400, w2=0.106kg/枚)
1-φ6×190 (SR235, w3=0.042kg/本)
1-チェーン L=450 (w4=0.1kg/本)
1組当り質量
 $W = w1 + w2 \times 2 + w3 + w4$
 $= 0.933 + 0.106 \times 2 + 0.042 + 0.1$
 $= 1.29 \text{ kg/組}$

スクリーン詳細図 S=1:5

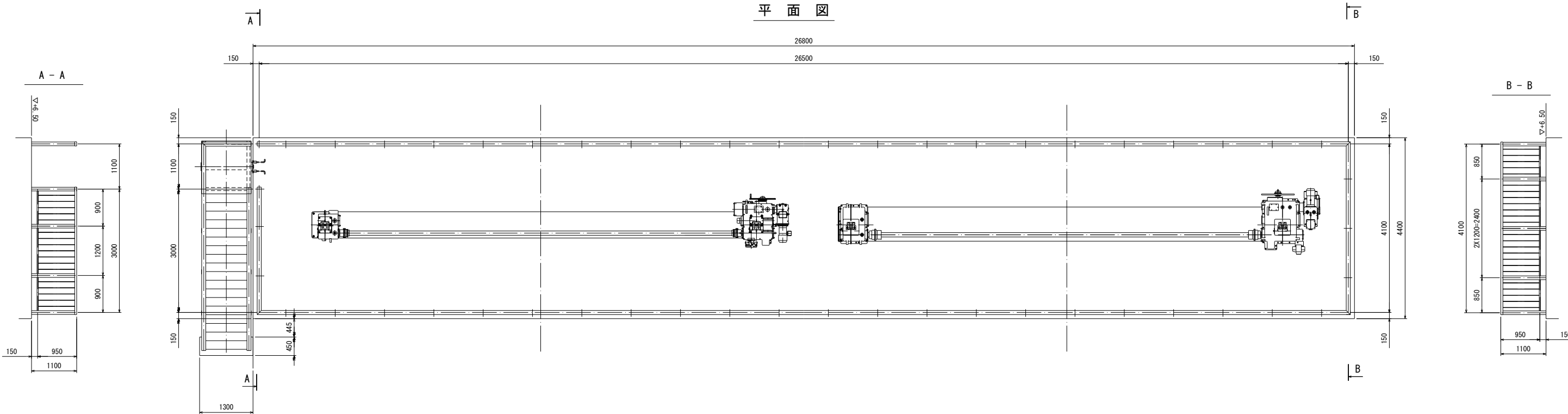


1組当り質量
 $w = 0.091 \times 0.222 \text{ kg/m} \times 7$
 $= 0.14 \text{ kg/組}$

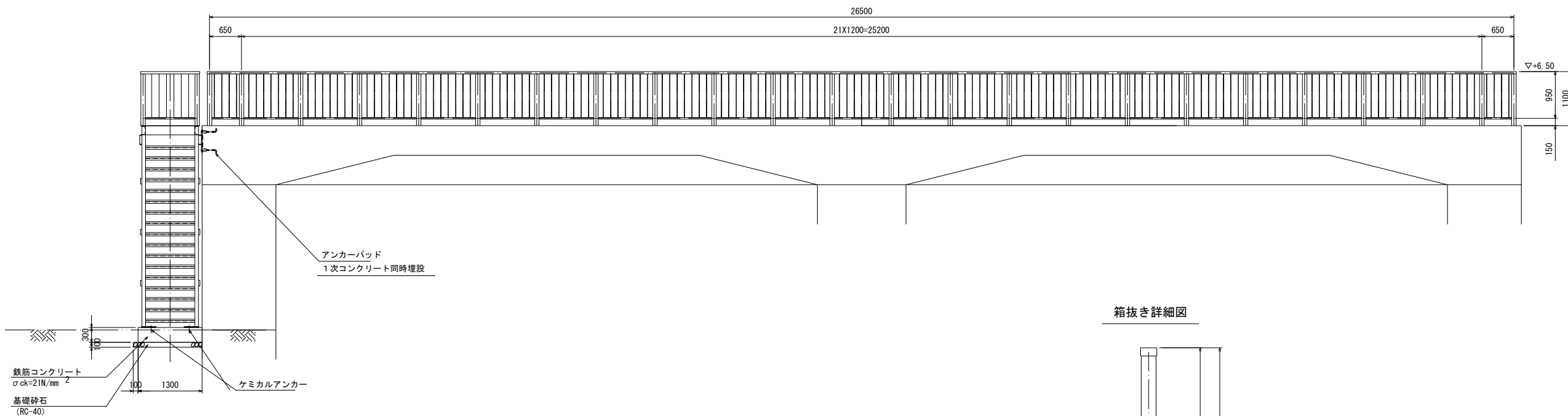
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	管理橋詳細図 (6/6)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-41/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

操作台防護柵詳細図

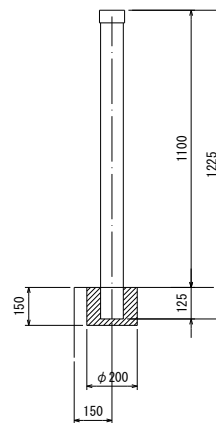
平面図



正面図

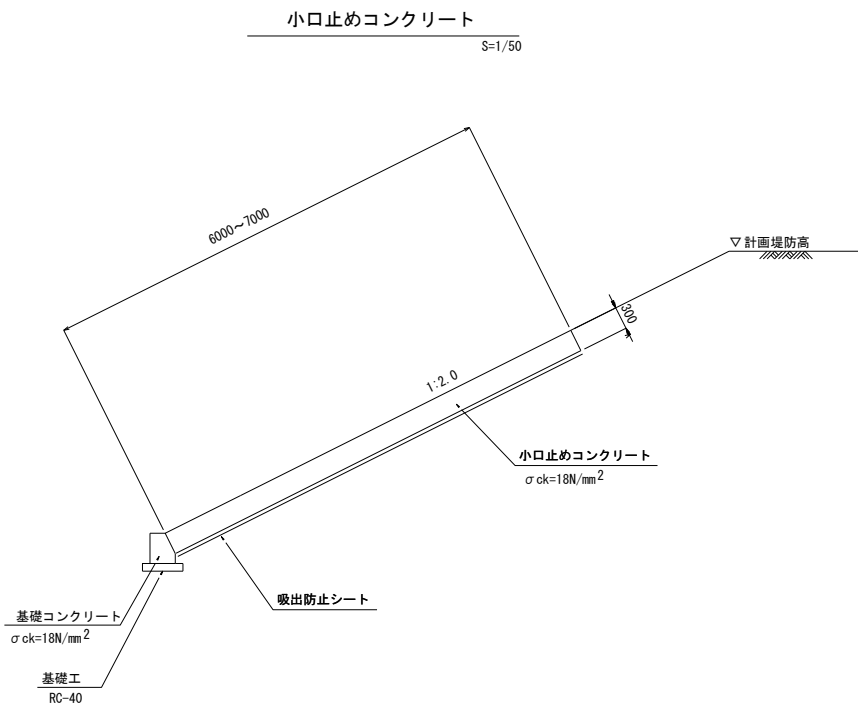


箱抜き詳細図

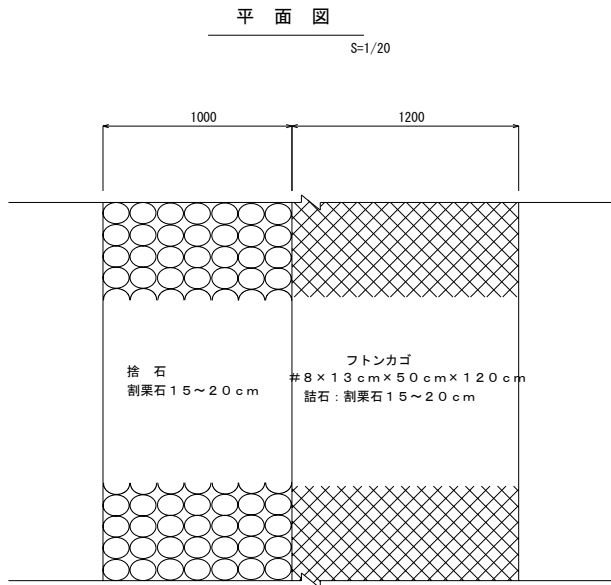


施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	操作台防護柵詳細図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1 : 50 A2 1 : 70	図面番号	5-42/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

法覆護岸工詳細図

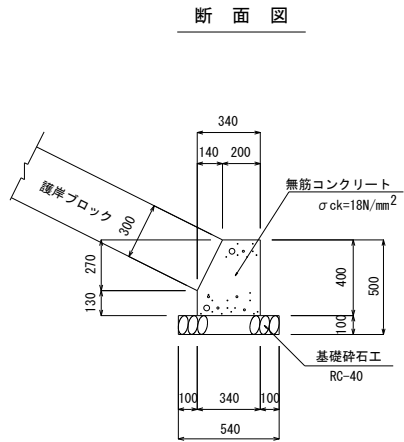


根固工詳細図

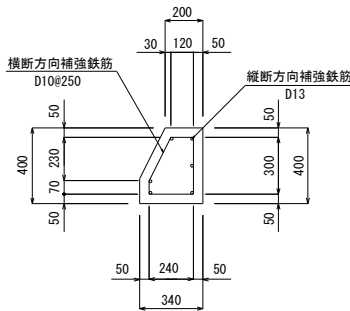


基礎コンクリート

S=1/20



配筋図

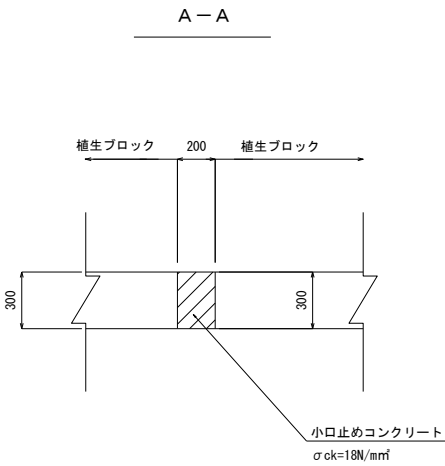


※注1. 標準長は10mとする。
2. 伸縮目地は10m間隔に設置し、t=10mmとする。

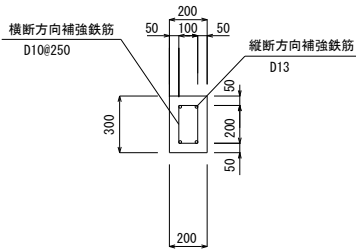
※注. 縦断方向は重ね継手とし、その場合の継手長は30Dとする。

小口止め工

S=1/20

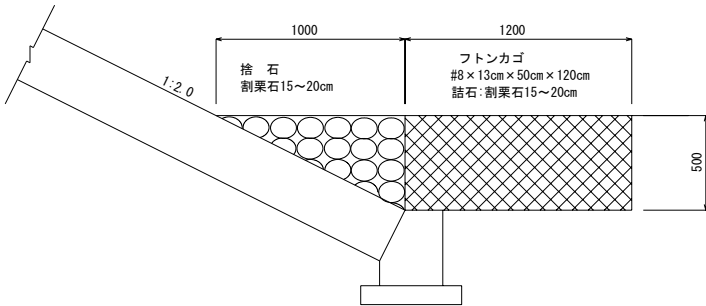


配筋図



断面図

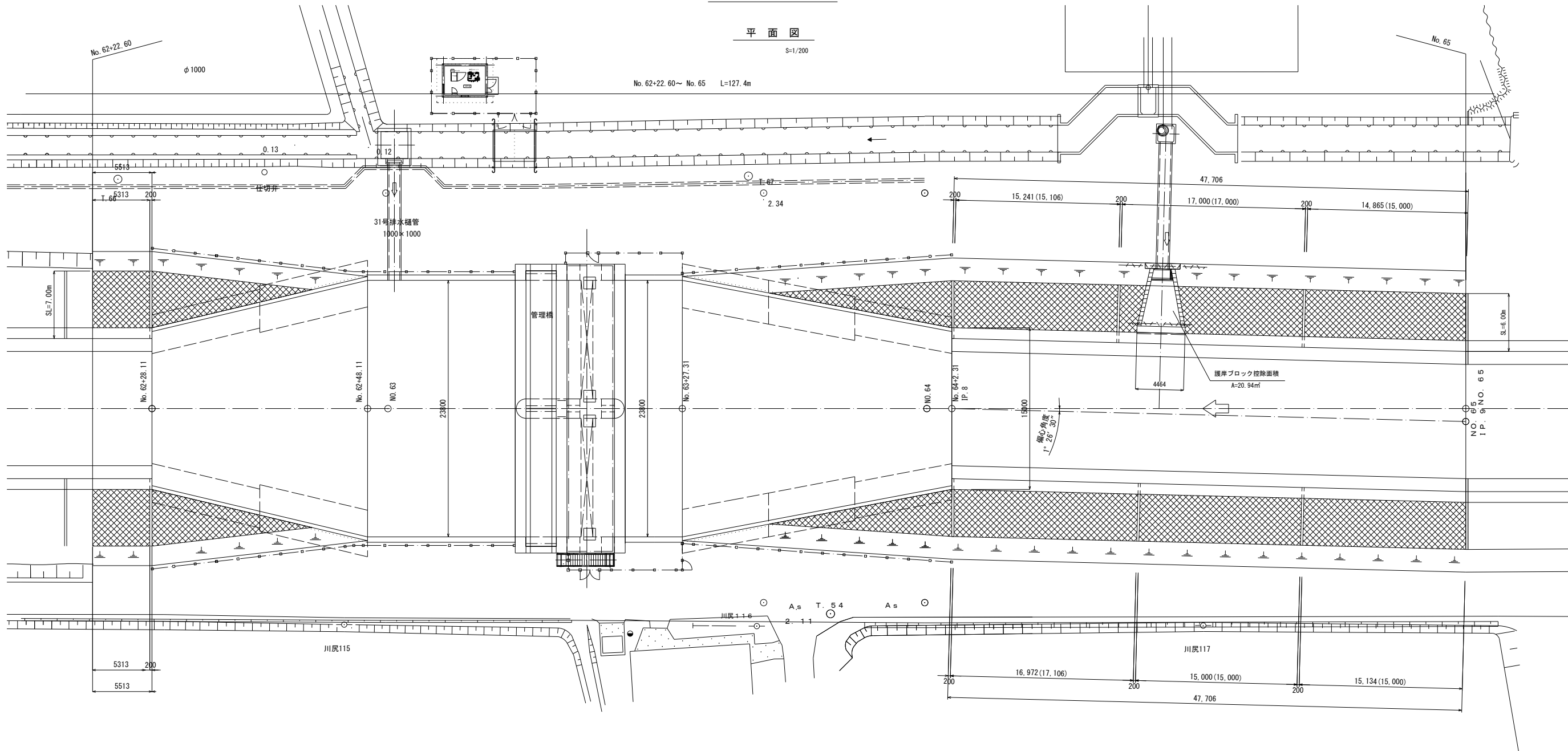
S=1/20



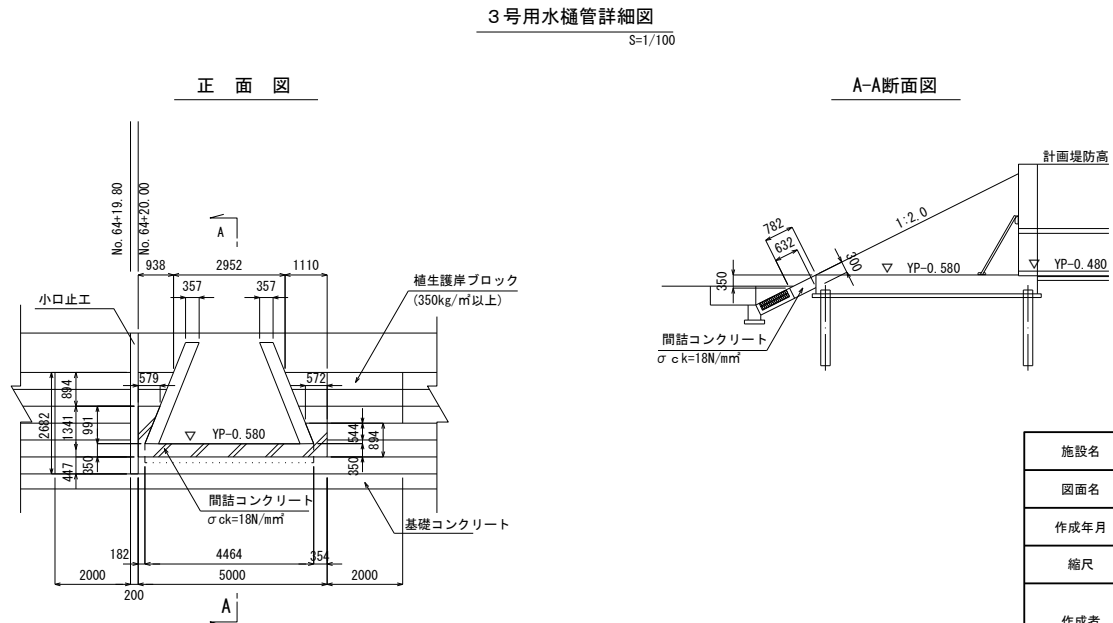
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	法覆護岸工詳細図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-43/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

護岸工展開図

平面図
S=1/200

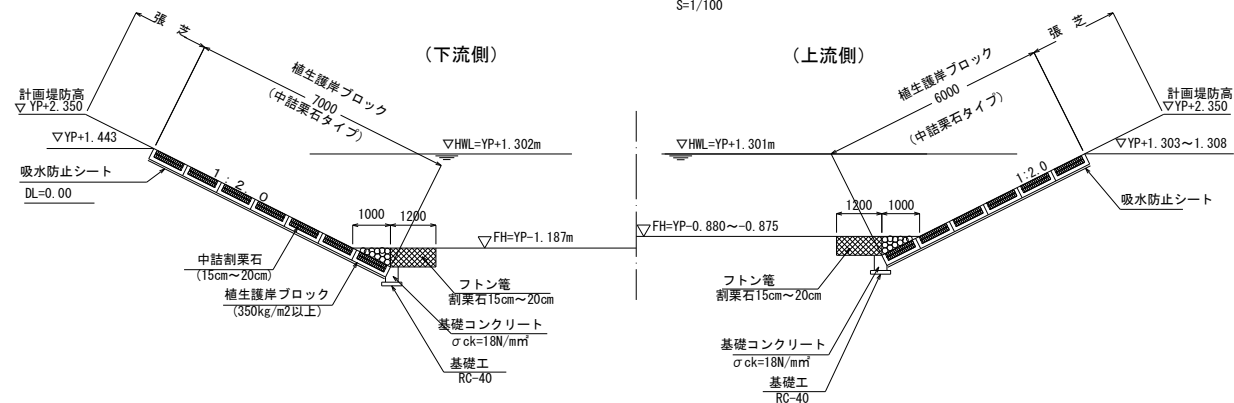


3号用水樋管詳細図
S=1/100



標準断面図

S=1/100



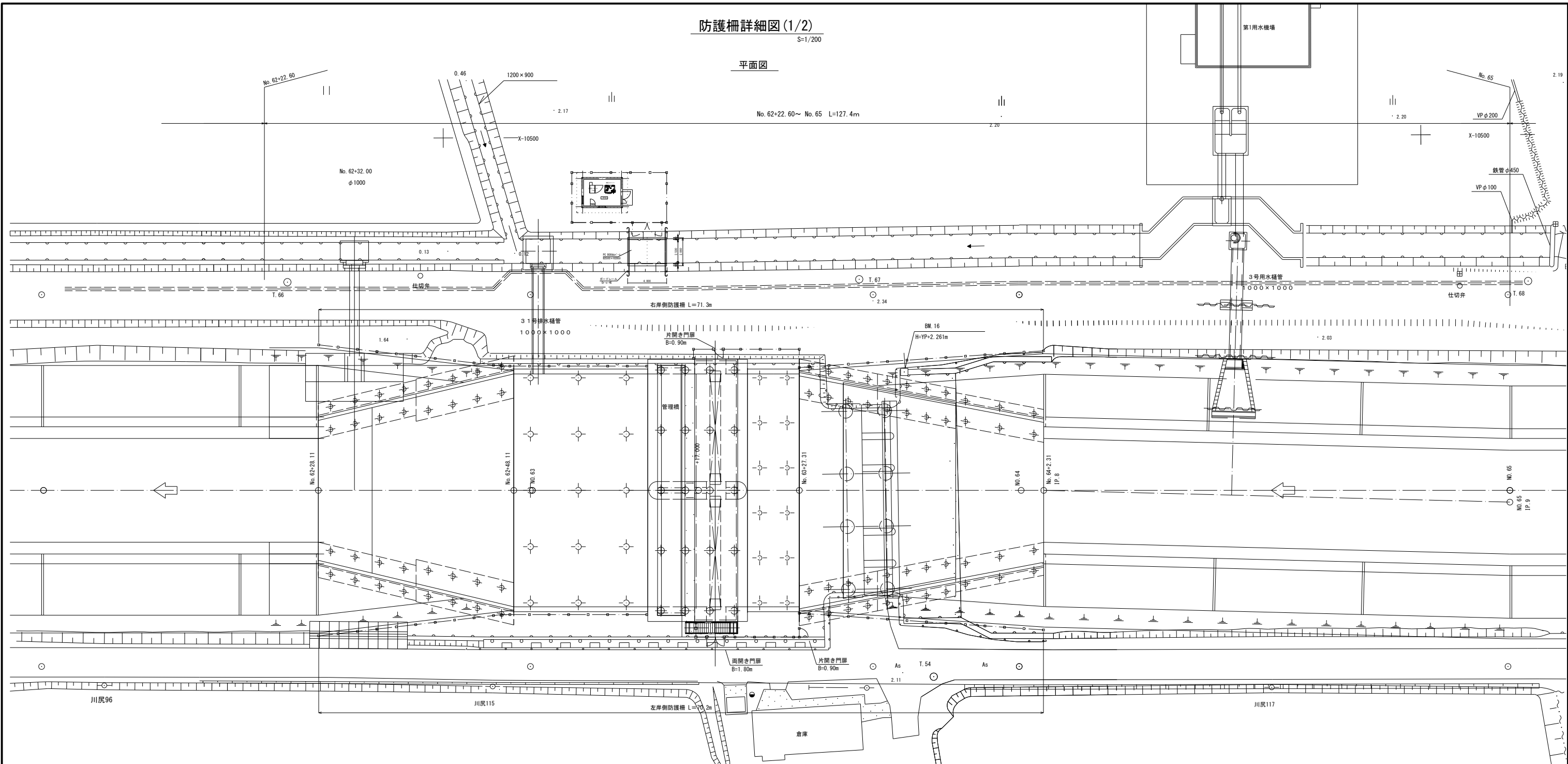
※ 上流側護岸工の寸法値において（ ）内は河床側の寸法値を示す。

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	護岸工展開図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-44/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

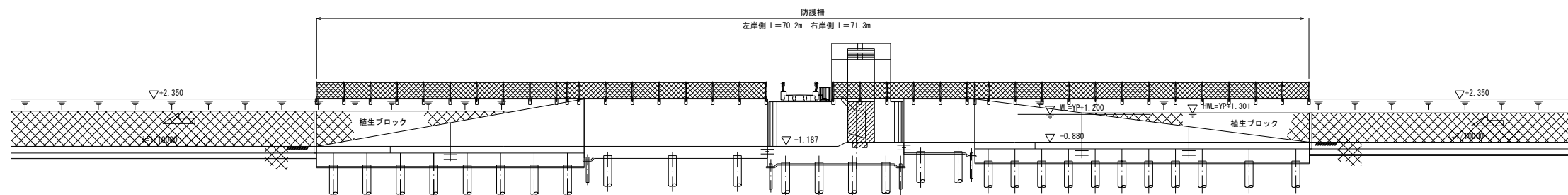
防護柵詳細図 (1/2)

S=1/200

平面図



縦断面図

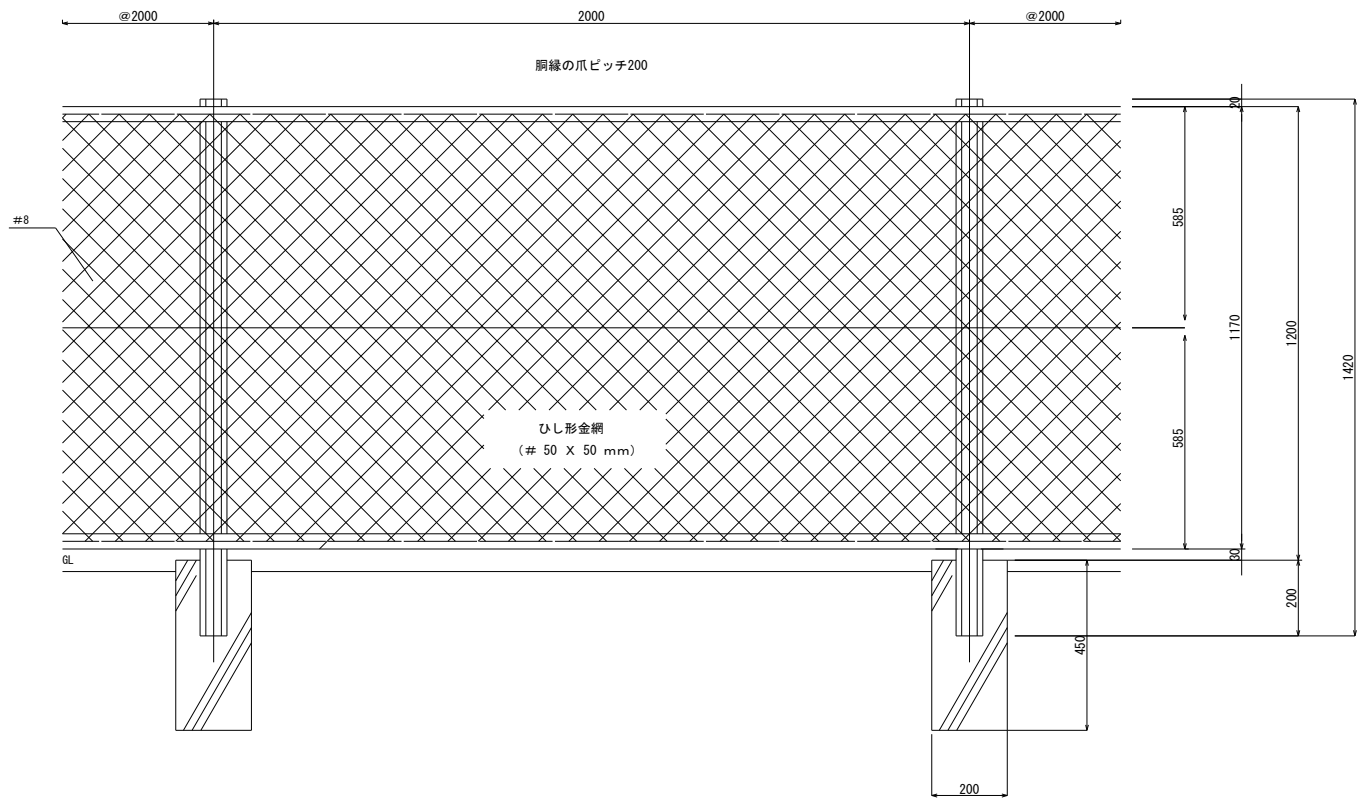


施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	防護柵詳細図 (1/2)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:200 A2 1:283	図面番号	5-45/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

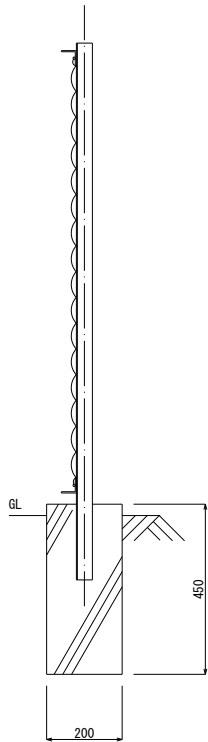
防護柵詳細図(2/2)

S=1 : 10

正面図

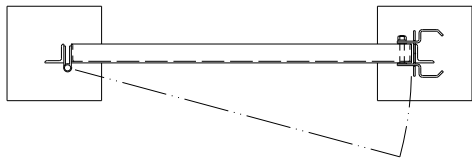


側面図

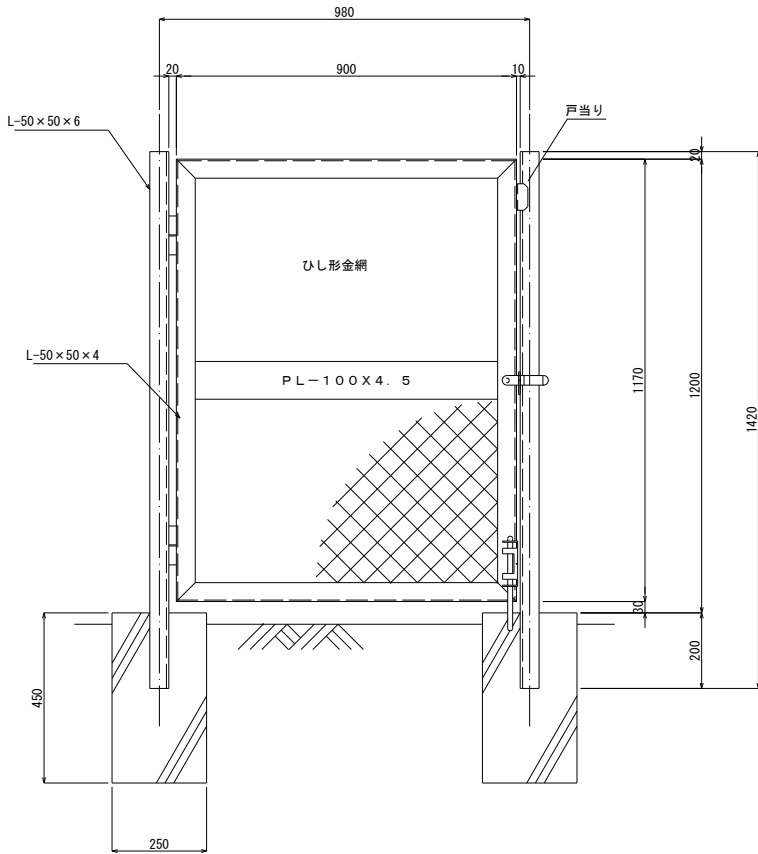


片開き門扉

平面図

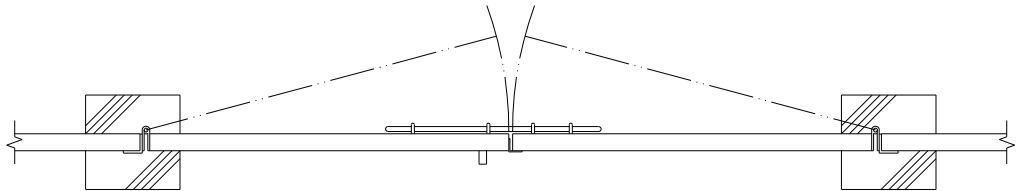


正面図

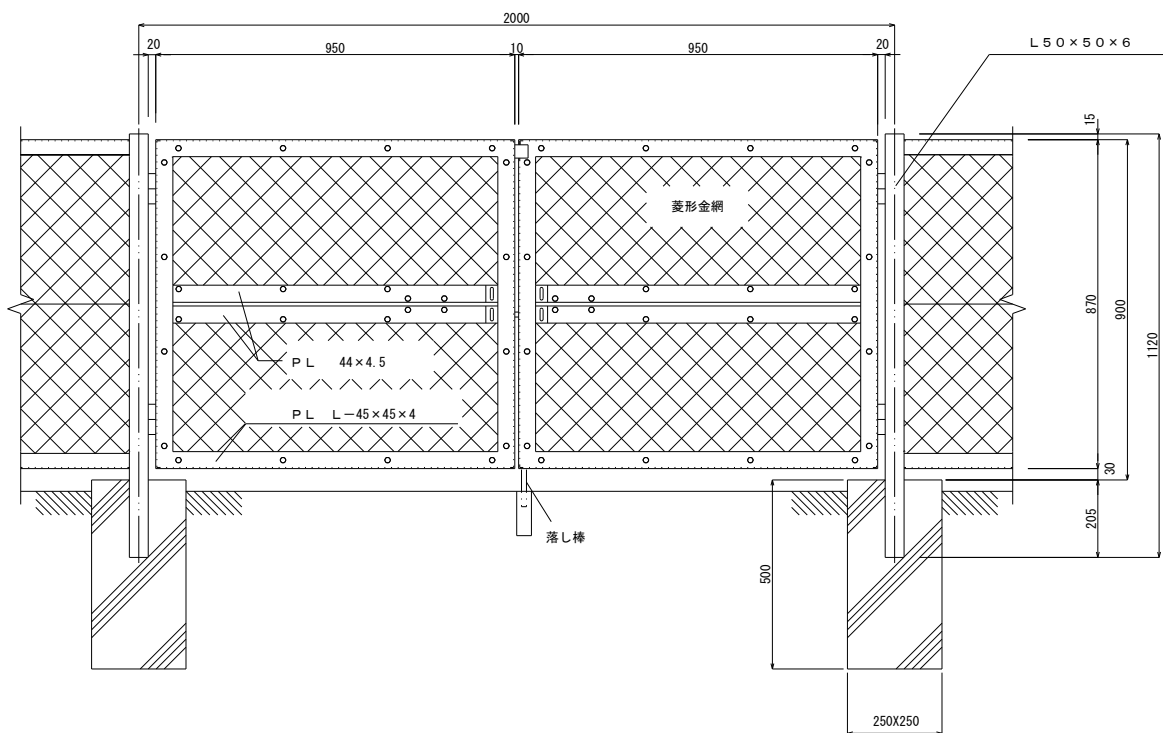


両開き門扉

平面図



正面図

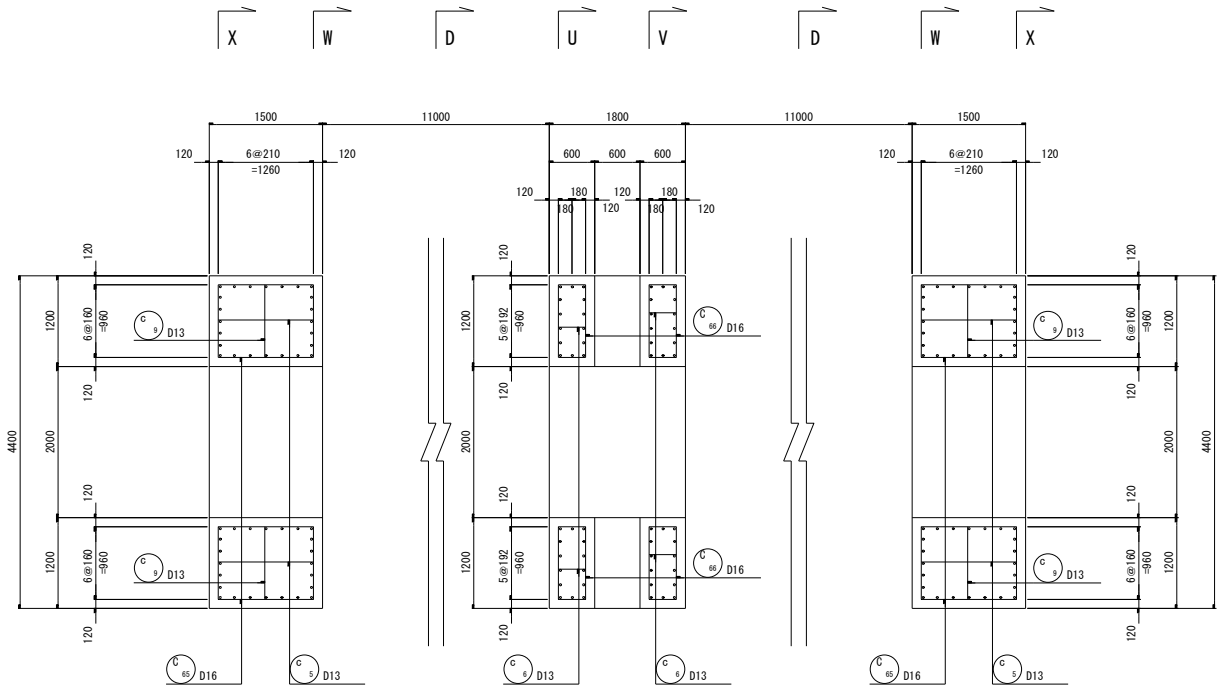


施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	防護柵詳細図 (2/2)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:10 A2 1:14	図面番号	5-46/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

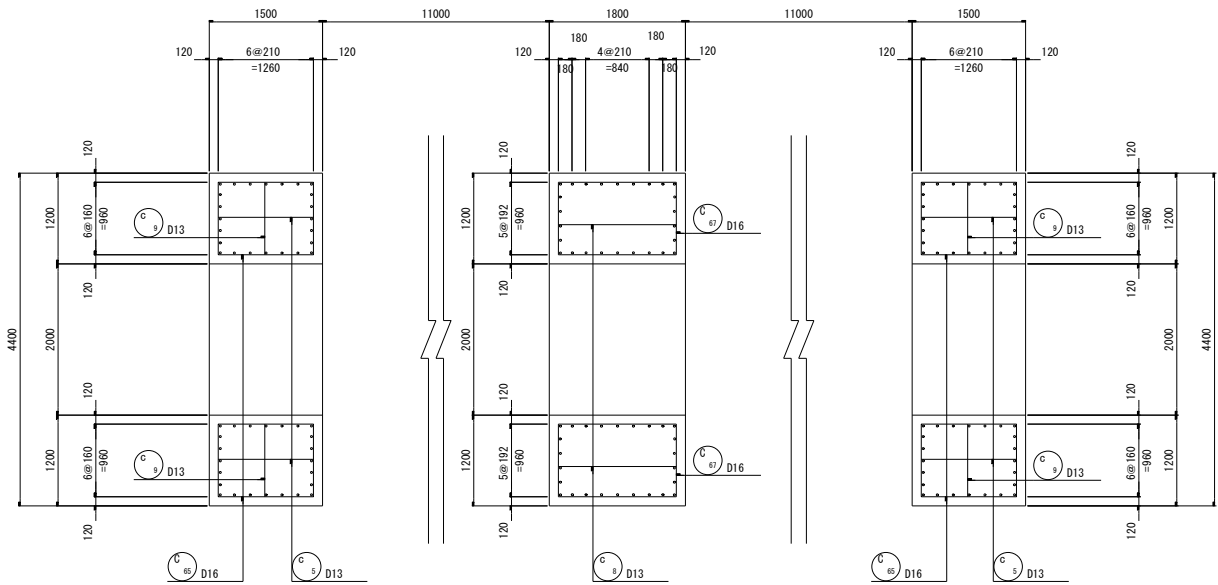
[illegible]

機械室建屋構造図
(本体工配筋図) S=1/50

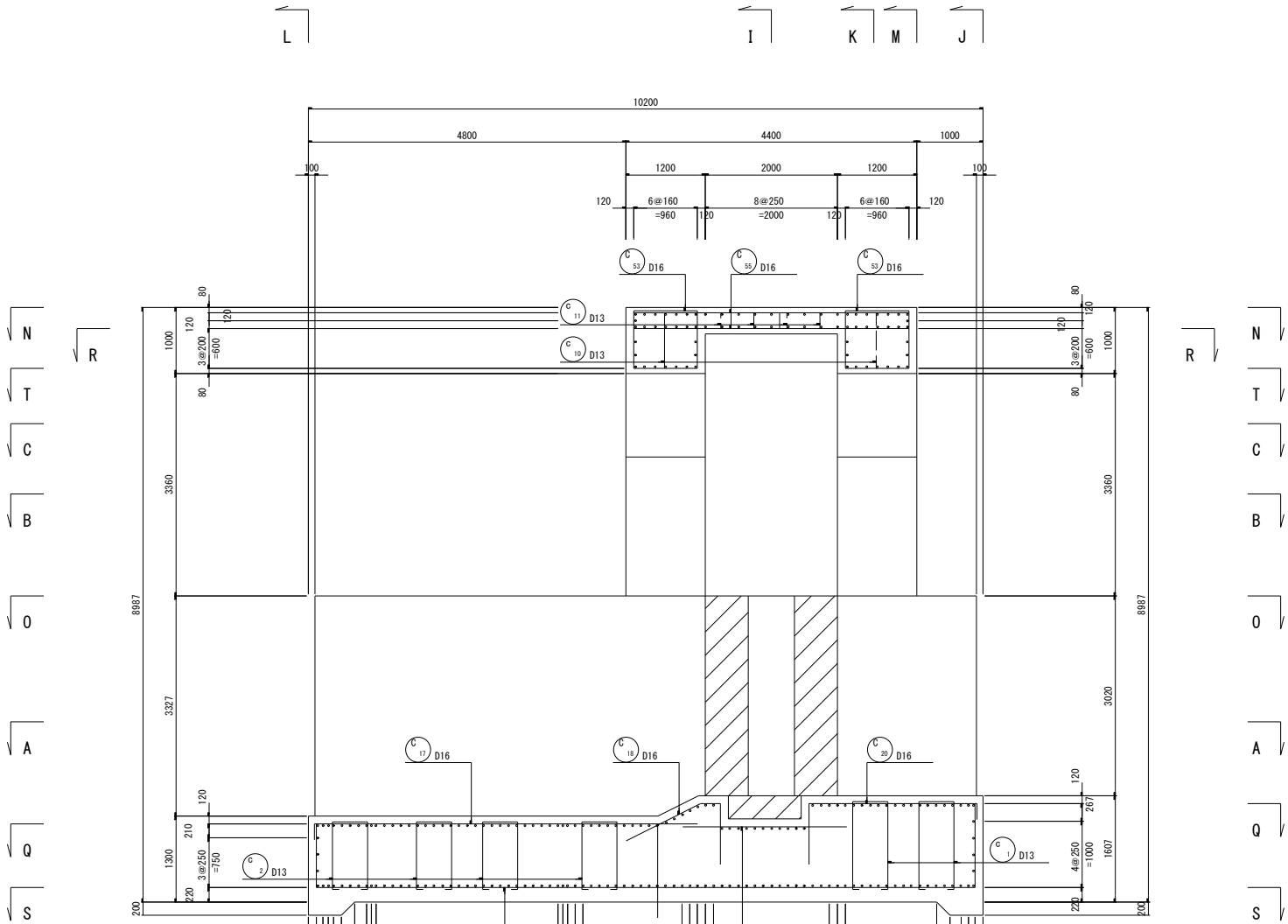
B-B



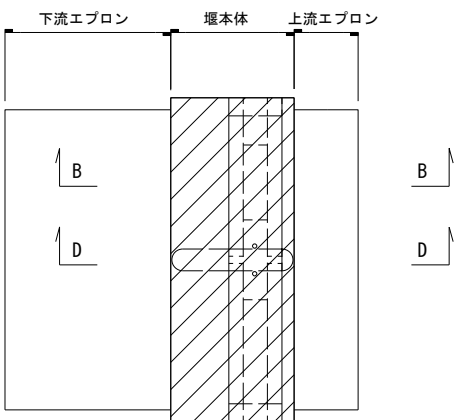
C-C



D-D



位置図
(平面)



施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	機械室建屋構造図 (2/12)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:50 A2 1:70	図面番号	5-48/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

適用は 印を記入する。

(1) 工事名称 川尻水門建設工事業務

建築場所

(2) 工事種別 ☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 増改築 ☐ 改築

(3) 構造種別

☐ 木造 (W) ☐ 精強コンクリートブロック造 (CB) ☐ 鉄骨造 (S)

☐ 鉄筋コンクリート造 (RC) ☒ 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)

☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) ☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)

☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC) ☐

(4) 階数

地下 0 階 地上 1 階 塔屋 0 階

(5) 主要用途 機械室

(6) 屋上付属物

☐ 広告塔 ☐ kN ☐

☐ 煙突 ☐ kN ☐

☐ キュービクル

(7) 増築計画 ☐ 有 () ☒ 無

(8) 付帯工事

☐ 門棚 ☐ 隔壁 ☐ ☐ ☐

(9) 特別な荷重

☐ エレベータ 人乗 (ロープ式 法定式) ☐ リフト kN ☐ ホイスト

☐ 倉庫積載用 N/m^2 ☐ 受水槽 kN

(10) 構造計算ルート X 方向ルート 1 - () Y 方向ルート 1 - ()

(1) コンクリート

注1) 品質基準強度 F_q は $F_o + 3N$ とする。ただし、捨てコンクリート・土間コンクリート及び押えコンクリートは除く。

注2) 単位水量は 185 kg/m^3 以下とする。

☐ A 種 ☐ B 種 ☐ C 種 厚 ☐ 100、 ☐ 120、 ☐ 150、 ☐ 190、

(3) 取 扱 形 式		種 類	症	使用箇所	継手 工 法
異 形 鉄 筋	☒ SD295A	D10 ~ D16		配 体 全 筋	☒ 重ね継手 D10 ~ D16
	☐ SD296B				
	☒ SD345	D19 ~ D22		配 体 全 筋	☐ ガス圧接継手 D19 ~
	☐ SD390				
丸 鋼	☐ SR235				☐ 特殊継手
	☐ KS5785				
高強度セメント補強筋					

(4) 鉄 骨		種 類	使用箇所	現場溶接	設計溶接強度
鋼 材	☐ SS400 ☐ SS400A ☐ SS400B ☐	☐ 有 ☐ 無	☐ 0.9F ☐ 1.0F		
	☐ STKR400 ☐ STKR490 ☐	☐ 有 ☐ 無	☐ 0.9F ☐ 1.0F		
	☐ SW490A ☐ SW490B ☐	☐ 有 ☐ 無	☐ 0.9F ☐ 1.0F		
	☐ SSC400 ☐ ☐	☐ 有 ☐ 無	☐ 0.9F ☐ 1.0F		
備 考					

(5) ボルト

☐ 高力ボルト ☐ F10T ☐ S8T ☐ S10T 認定品 (☐ M12, ☐ M16, ☐ M20, ☐ M22)

☐ 中ボルト φ = φ = 高力ボルトすべり係数試験 ☐ 要 ☐ 否

☐ アンカーボルト SS400 φ = ≒ mm ナット (シンガル, ダブル)

 φ = ≒ mm

☐ 取付スタッド φ = ≒ mm

☐ ALC版	厚		
☐ 折版	型式	H =	厚
☐ デッキプレート	型式		厚
☐ キーストンプレート	型式		厚

(1) 地盤調査資料
☐ 敷地内 (近隣) ☐ ボーリング調査 ☐ 平板載荷試験 ☐ 水平地盤反力係数の測定
☐ 無 (調査予定) ☐ 有 ☐ 無 ☐ 圧密試験

(2) 地盤調査計画
☐ ボーリング試験 ☐ 静的貫入試験 ☐ 標準貫入試験 ☐ 水平地盤反力係数の測定
☐ 土質試験 ☐ 物理探査 ☐ 平板載荷試験

(3) 地盤調査及び試験結果の結果により、杭長、杭径、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)

調査地番

位置図

支持地盤、地層及び深さについてのコメント

設計 $GL=KBM - m$

孔内水位

設計 $GL - m$

近隣データの調査地番と設計地番とは約 m の距離がある

備考

(1) 直接基礎 ☐ ベタ基礎 ☐ 布基礎 ☐ 独立基礎 ☐ 試験据 ☐ 有 ☐ 無

深さ GL - 0.75 m、支持層 層 長期許容支持力度 30.0 kN/m² 載荷試験 ☐ 有 ☐ 無

着工前に載荷試験を行なう事。

[illegible]

施工箇所	砕 石	割 栗	捨てコン	備 考
基礎下	100	—	50	
基礎床下・基礎スラブ下	100	—	50	
土間コンクリート下	—	—	—	

(1) 一般事項
鉄筋コンクリート工事は指示のない限り下記による
● 日本建築学会「JASS5 鉄筋コンクリート工事」2003年度

① コンクリートは、JIS認定工場の製品とし施工に関しては JASS5-2003 による。

② 耐久設計強度強度 F_d □一般 □橋梁 □長期とする。

③ 最大設計図書内に於けるコンクリート強度は設計基準強度を示す。

④ セメントは、JIS R 5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。

⑤ 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。

⑥ 寒中、雪中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。

⑦ フレッシュコンクリートの堆化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価をうける測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。

⑧ 測定検査の回数とは、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

⑨ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験試体(JASS 57-603)は、現場水中養生または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み区ごととする。また、打ち込み量が 150 cm^3 をこえる場合は 150 cm^3 ごとまたは、その端数ごとに一回標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔を設けた3台の運搬車からその必要本数を選択する。なお、供試体の数量は、特別指定なき場合は、1回当たり6本以上とし そのうち4回用いて3本を用いる。

⑩ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にまでできるだけ近付て垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能の有する者が従事することとし、なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は15分、25℃以上の場合は120分以内とする。

☒ 鉄筋は JISG 3112 の規格品を標準とする。
☐ 高強度せん断補強筋は、JISG 3137 に規定される D 種 1 号適合品とする。
☐ 高強度せん断補強筋 (KSS785) の配筋要領は、各メーカーの配筋要領に依う。
☒ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定尺長さなどは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
☒ D 19 未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D 19 以上) をガス圧接とする場合は、日本接合協会「鉄筋のガス圧接工標準仕様書」による。
☐ ガス圧接の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと 200 箇所を超えるときには、200 箇所ごとに 1 個行い、1 回の試験は 5 本以上とする。
 外観検査 ☐ 有 ☐ 無、引張試験 ☐ 有 ☐ 無、超音波試験 ☐ 有 ☐ 無
☒ 柱の帯筋 (H O P) の加工方法は、☒ H 型 (タガ型) ☐ W 型 (溶接型) ☐ S 型 (スライル型) とする。但し、図面表示のある場合はそれに従うこと。
☐ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱 第 4 条の試験図面で行うこと。
 試験機関名 } 工事監督者の指定する第 3 者機関
 代行業者名 }
 代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

☒ 材料 合板厚 12 mm を標準とする。 ☐
☒ 型枠存置期間

注)	1	片持ばり、応、スパン 9.0m 以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注)	2	大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注)	3	支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注)	4	盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注)	5	支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。 一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえしてはならない。
注)	6	上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

- ☐ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
- ☐ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
- ☐ (社)鉄骨建設業協会「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

☐ 製作工場 ☐ 製作要領書 ☐ 工作図 ☐ 施工計画書
☐ 認定工場（大臣認定　グレードまたは都登録　ランク）
☐ 材料規格証明書または試験成績書
 ☐ 鋼材 ☐ 高力ボルト ☐ 特殊ボルト ☐ スタッドボルト
☐ 社内検査表 ☐ ☐

(3) 工事監理者が行う検査項目

☒ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること

☐ 現寸検査 ☐ 組立・開先検査 ☐ 製品検査
☐ 建方検査 ☐ ☐

- ☐ 鉄骨構造等の建築物の工事に係る東京都取扱要綱（建築構造設計指針 第 2 章）
- ☐ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、IX」
- ☐ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針、工事現場施工編」

☐ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

注1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。
注2) 現場溶接は、超音波探傷試験を100%行う事。

□ 高力ボルトは「JIS B1986の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮
 どを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用い
 除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、
 ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である
 場合は、赤さびは発生しないままでよい。

☐ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの
序は部材が十分に密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として 2 度締
とする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する

☐ 国土交通省告示 1464 号に関する溶接部の検査

☐ 耐錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される部分とする。錆止めペイントは、JIS K5622、2回塗りを標準とする。

☒ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

- ④ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
- ⑤ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
- ⑥ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上、かつ5cm以上とする。

☒ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。

☐ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

☐ 必要に応じて記録写真を取り保管すること。

☒ 外壁、パラペット、外部廊下の床・手摺、バルコニーの床・手摺は、
※3000前後にひび割れ誘発目地を設ける。(位置は、意匠図による。)

☐

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	機械室建屋構造図 (3/12)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺		図面番号	5-49/59
作成者	関東農政局 南総農業水利事業所		

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
- d・・・異形棒鋼の呼び名に用いた数値 D・・・部材の成 R・・・直径
- ⊙・・・間隔 r・・・半径 Q・・・中心線 b・・・部材間の内法距離 h・・・部材間の内法高さ
- S T・・・あばら筋 H O O P・・・帯筋 S H O O P・・・補強帯筋 ϕ・・・直径

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	※片持スラブ上端筋の先端
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	

鉄筋は、SD295A、SD295B、SD345を使用する。
折曲げ内法寸法Rは、D16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SD295A SD295B、SD345	D16以下	3d以上
	上配以外の鉄筋	SD295A SD295B、SD345	D16以下	4d以上
			D19～D25	6d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

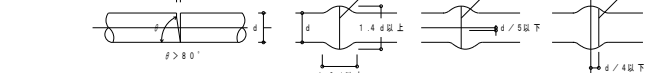
鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ (L ₁)
		一般 (L ₂)	下ば筋 (L ₁)		
			小 梁	スラブ	
SD295A	21 22.5 24	35dまたは 25dフックつき	25d または 15d フック つき	10d かつ	40dまたは 30dフックつき
SD295B SD345	18	40d または 30d フックつき		150mm 以上	45dまたは 35dフックつき

コンクリートは普通F_c=18N/mm²以上24N/mm²以下、軽量F_c=18N/mm²以上22.5N/mm²以下

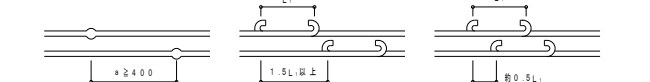
継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない。
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。

ガス圧接形状



圧接継手



(4) 鉄筋のかぶり厚さ(単位:mm)

構造部分	最小かぶり厚さ(mm)	設計かぶり厚さ(mm)
壁根スラブ・床スラブ・片持ちスラブ・非耐力壁*	20*	30*
耐力壁・壁梁・小梁・片持ち梁	30*	40*
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分・基礎つなぎ梁	40	50
基礎(掛コンクリート部分を除く)	60	70

〔注〕* 耐久性上有効な仕上げがない場合は、屋内・屋外にかかわらず10mm増しとする。
又、軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

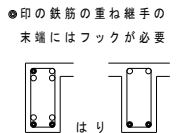
* * 片持ちスラブ先端は、最小かぶり30mmとする。〔8-(1)の㊸参照〕

(5) 鉄筋のあき

- a. 異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上 異形鉄筋
- b. 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

(6) 鉄筋のフック (a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

- a. 壁長が1m以下の壁根筋の末端 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
- d. 柱、梁(基礎梁を除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
- e. 単純梁の下端筋
- f. その他、本配筋標準に記載する箇所

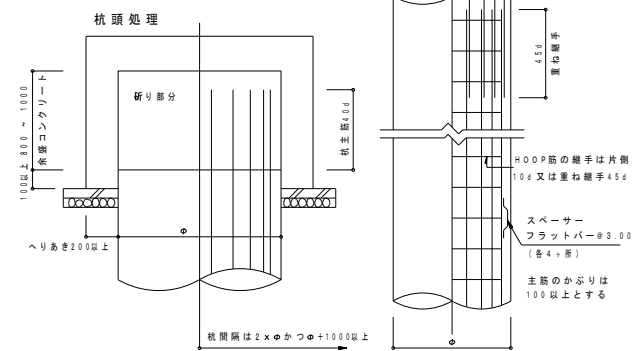


3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) P C杭、又はP H C杭の全てに補強を行う

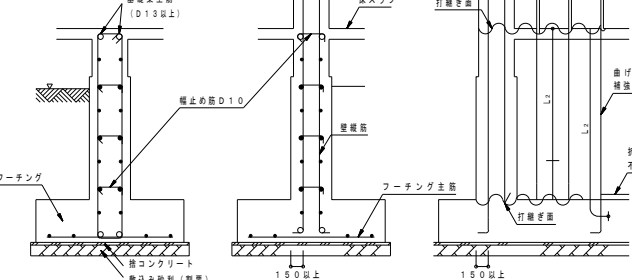
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合			
		但し $L \leq \phi$ の場合 $L > \phi$ の場合は工事監理者の指示による			
杭 径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補 強 筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
H O O P	D10-φ150				

(2) 現場打ちコンクリート杭

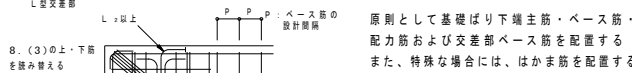


4. 基礎

(1) 布基礎



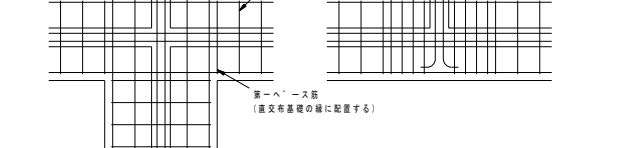
布基礎交差部の配筋(平面)



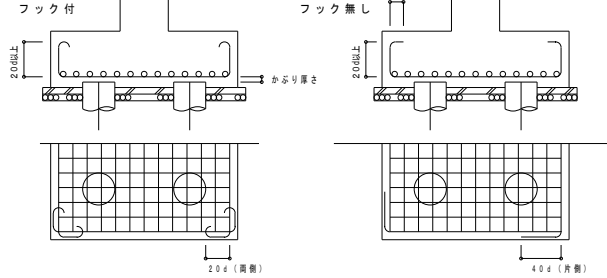
8. (3)の上・下筋を読み替える

原則として基礎ばり下端主筋・ベース筋・配力筋および交差部ベース筋を配置する
また、特殊な場合には、はかま筋を配置する

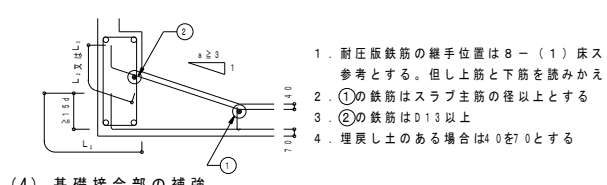
ベース筋の間隔は原則として20cm以下とし
配力筋の間隔は30cm程度とする
P:ベース筋の設計間隔



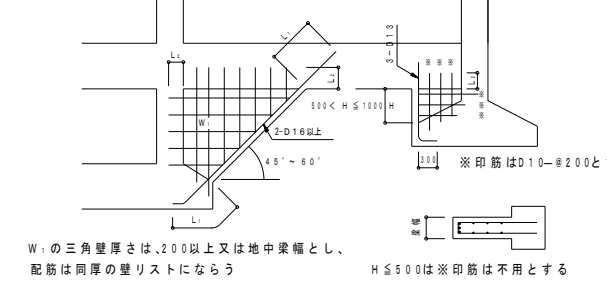
(2) 杭基礎



(3) ベタ基礎



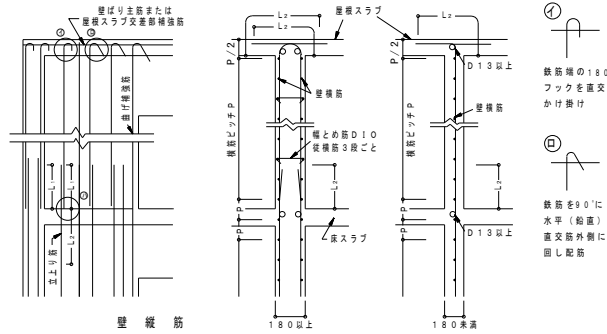
(4) 基礎接合部の補強



W₁の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、
配筋は同厚の壁リストにならう H≦500は※印筋は不用とする

5. 耐力壁

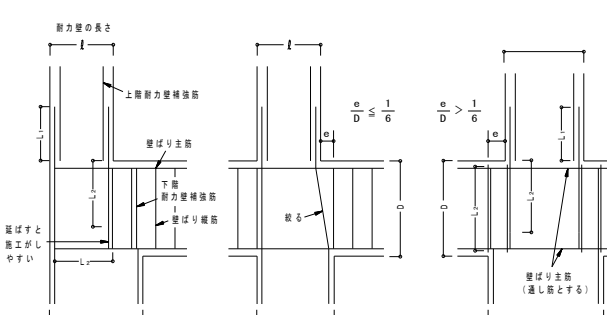
(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着



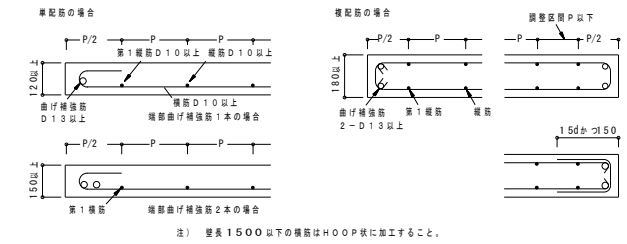
耐力壁と床・屋根スラブ



(2) 上・下階耐力壁の各種配置

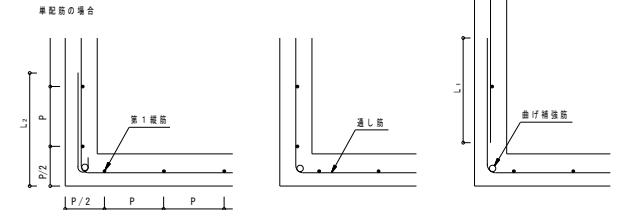


(3) 耐力壁の縦・横筋の配置

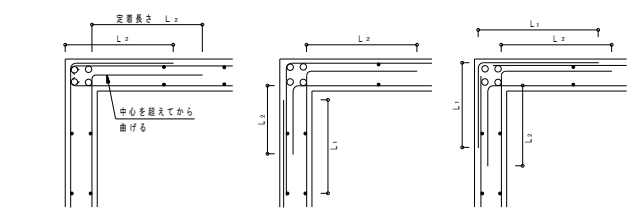


(4) 耐力壁が交差する場合(平面)

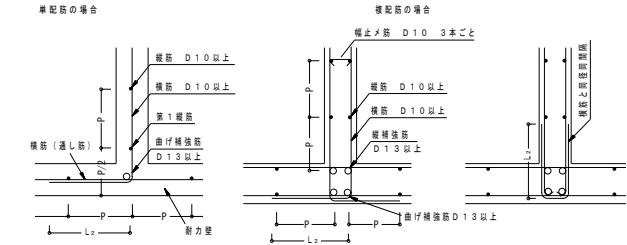
㊸ L形交差部の縦・横筋などの配置



㊹ T形交差部の縦・横筋の配置



㊺ 十形交差部の縦・横筋などの配置



6. 使用可能な鉄筋の最大径(標準)

部 位 構造種別	耐 力 壁	壁 が り よ う 小 梁	布 基 礎 基 礎 梁	ス ラ ブ	非耐力壁	欄
壁式鉄筋 コンクリート造	D22	D22	D25	D16	D16	D16

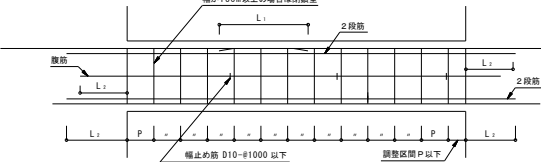
施設名	川尻水門(0312100-1100-25)
図面名	機械室建屋構造図 (4/12)
作成年月	平成26年3月
縮尺	図面番号 5-50/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

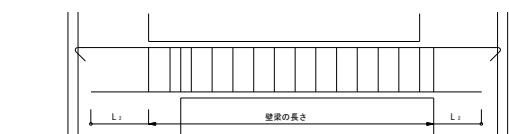
L＝鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）の2-（3）による。

7. 壁梁、小梁

（1）壁梁の標準配筋図

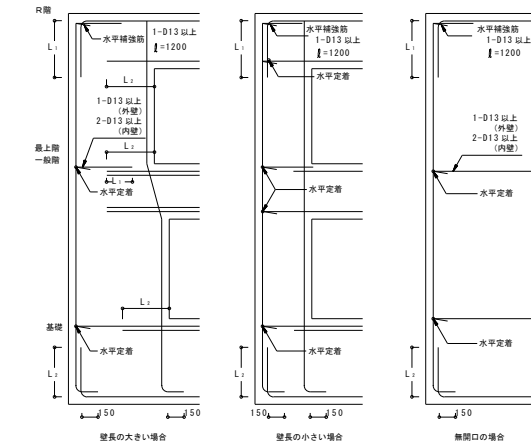
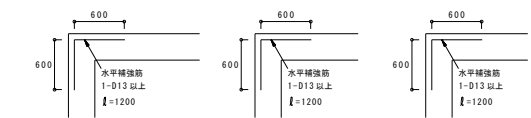


（2）壁梁の範囲

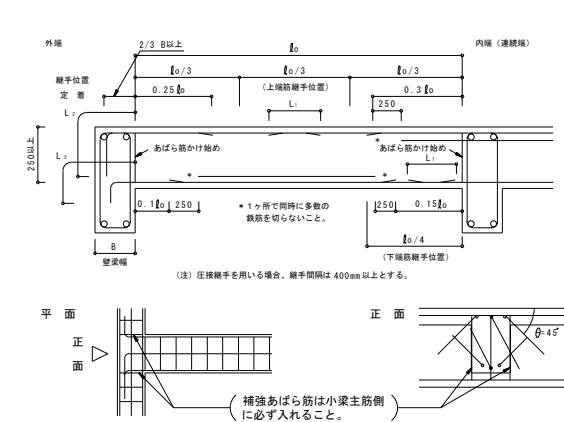


（3）定着

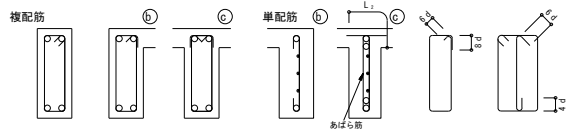
① 壁梁



② 小梁の定着・継手位置およびトップ筋長さ

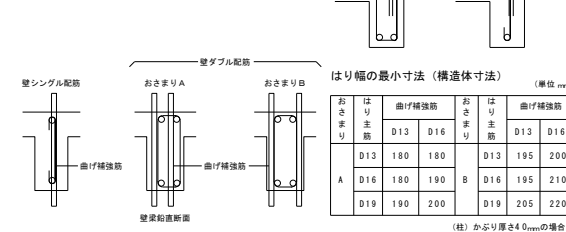


（4）あばら筋の型



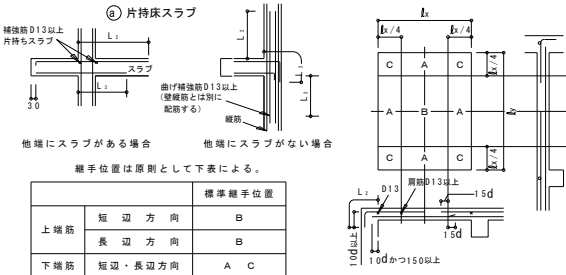
- （イ）原則として①のフック先曲げとする。
片側床版付（L型）梁で②、
両側床版付（T型）梁で③とすることができる。
（ロ）フックの位置は④にあてはる交互、
⑤にあてはるスラブ側とする。

（5）壁梁と壁のおさまり



8. 床板

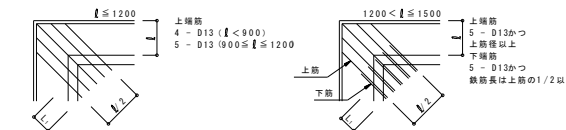
（1）定着および継手



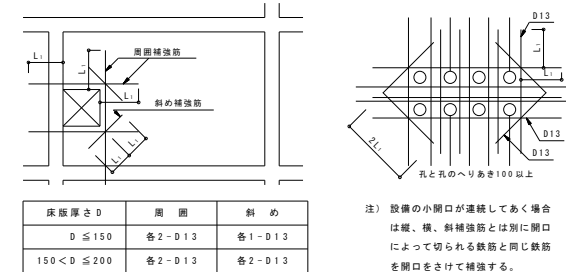
（2）屋根スラブの補強



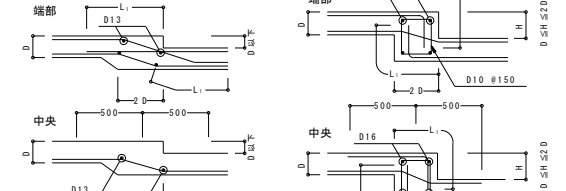
（3）片持ちスラブ出隅部補強



（4）床板開口部の補強（開口の径500以上の場合）



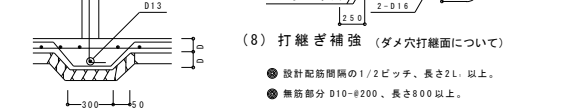
（5）床板段差



（6）土間コンクリート

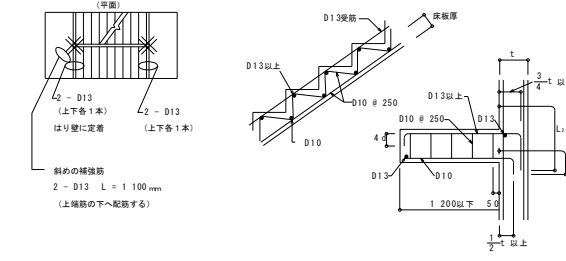


（7）釜場



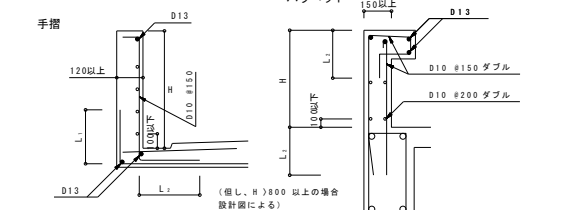
9. 階段

片持ち階段

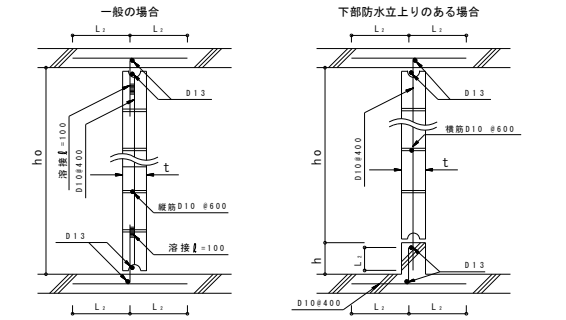


10. その他

（1）手摺、パラベット



（2）コンクリートブロック塀壁



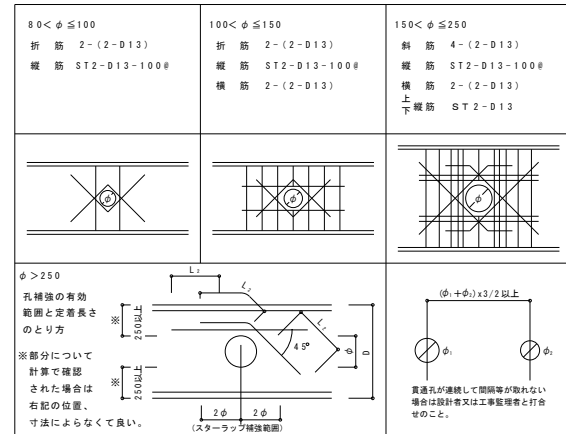
11. 梁貫通孔補強

（1）既製品（使用するときには、設計者又は工事管理者と打合わせのこと）

□リング型 □パイプ型 □金網型 □フレート型 □

（2）鉄筋標準配筋 但しφ≦D/3とする

設置可能範囲 梁端部（スパン 1/10以内かつ2φ以内）は避ける

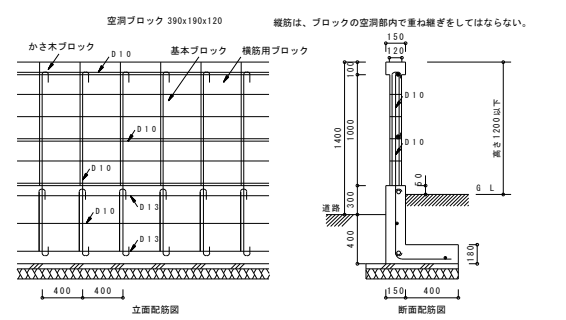


12. コンクリートブロック塀

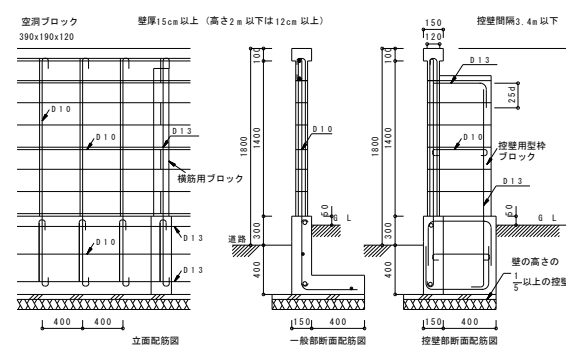
（1）ブロック塀の高さ・厚さと基礎の構造

- a. 塀の高さ（地盤面に高低差のある場合は低い方による）は2.2m以下。
b. 塀の厚さは、塀の高さ2m以下の場合は12cm以上、2mを超える場合は15cm以上。
c. 地盤が液状化の恐れのある砂質土および軟弱土の場合は、別途検討する。
d. 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。

控壁のない塀例 高さ1.2m以下



控壁のある塀例 高さ2.2m以下



施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)
図面名	機械室建屋構造図 (5/12)
作成年月	平成26年3月
縮尺	図面番号 5-51/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

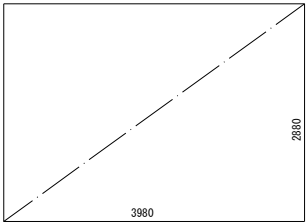
機械室建屋構造図
(機械室建屋一般図)

S=1/50

仕 上 表

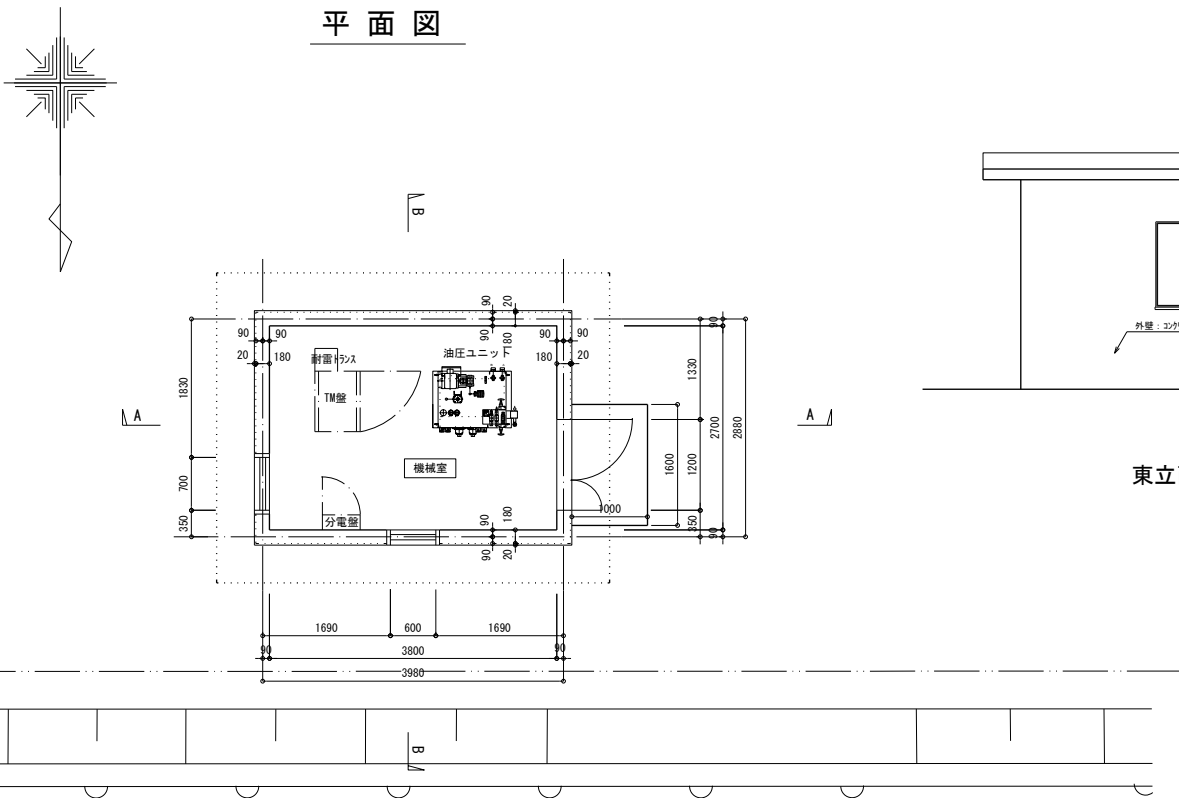
外部仕上		内部仕上	機械室
屋根	塗布防水	天井	コンクリート打放し
軒裏	コンクリート打放し (t10 増打)	壁	コンクリート打放し
外壁	コンクリート打放し (t20 増打)	幅木	コンクリート打放し目地別れ H=200
根回り	コンクリート打放し (t20 増打)	床	シンダーコンクリート金ゴテ押え
出入口床	t30 モルタル金ゴテ押え		
外部建具	アルミ建具 (ステンカラー)		
硝子	t6.8 網入透明ガラス		

求 積 図

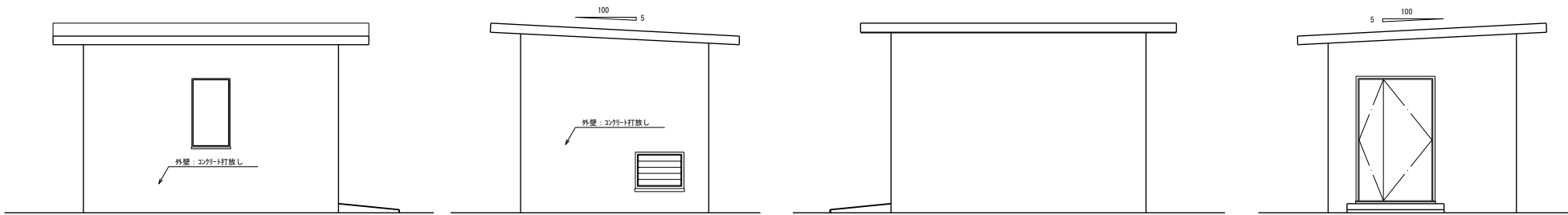


3.98×2.88=11.4624
建築面積 11.46 m2
延床面積 11.46 m2

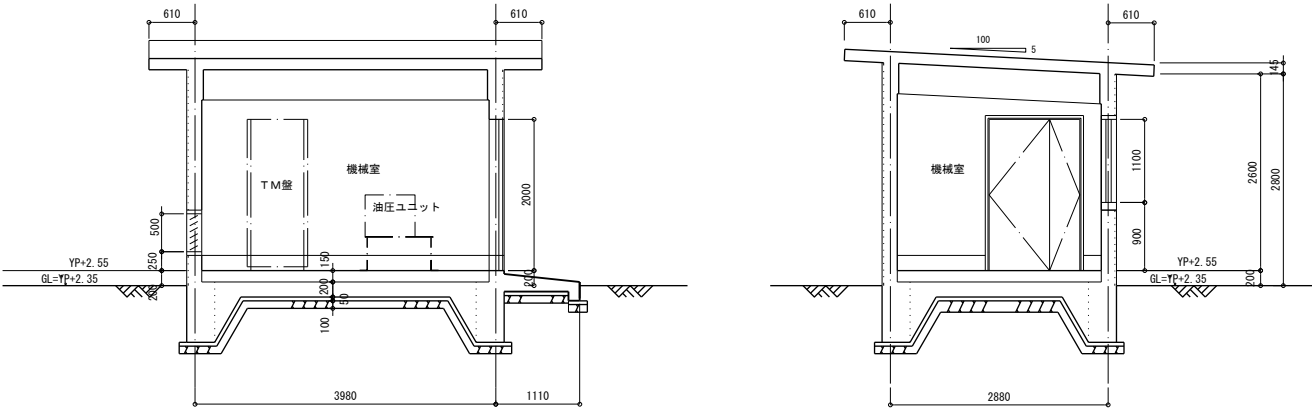
平 面 図



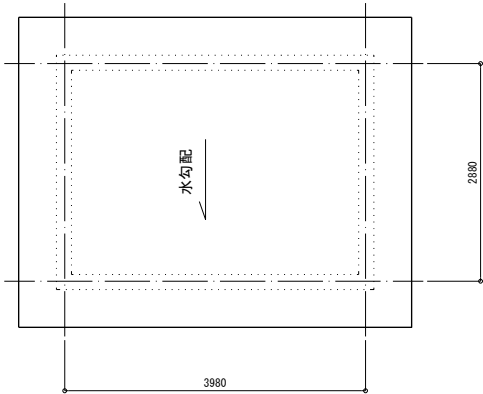
立 面 図



断 面 図



屋根伏図



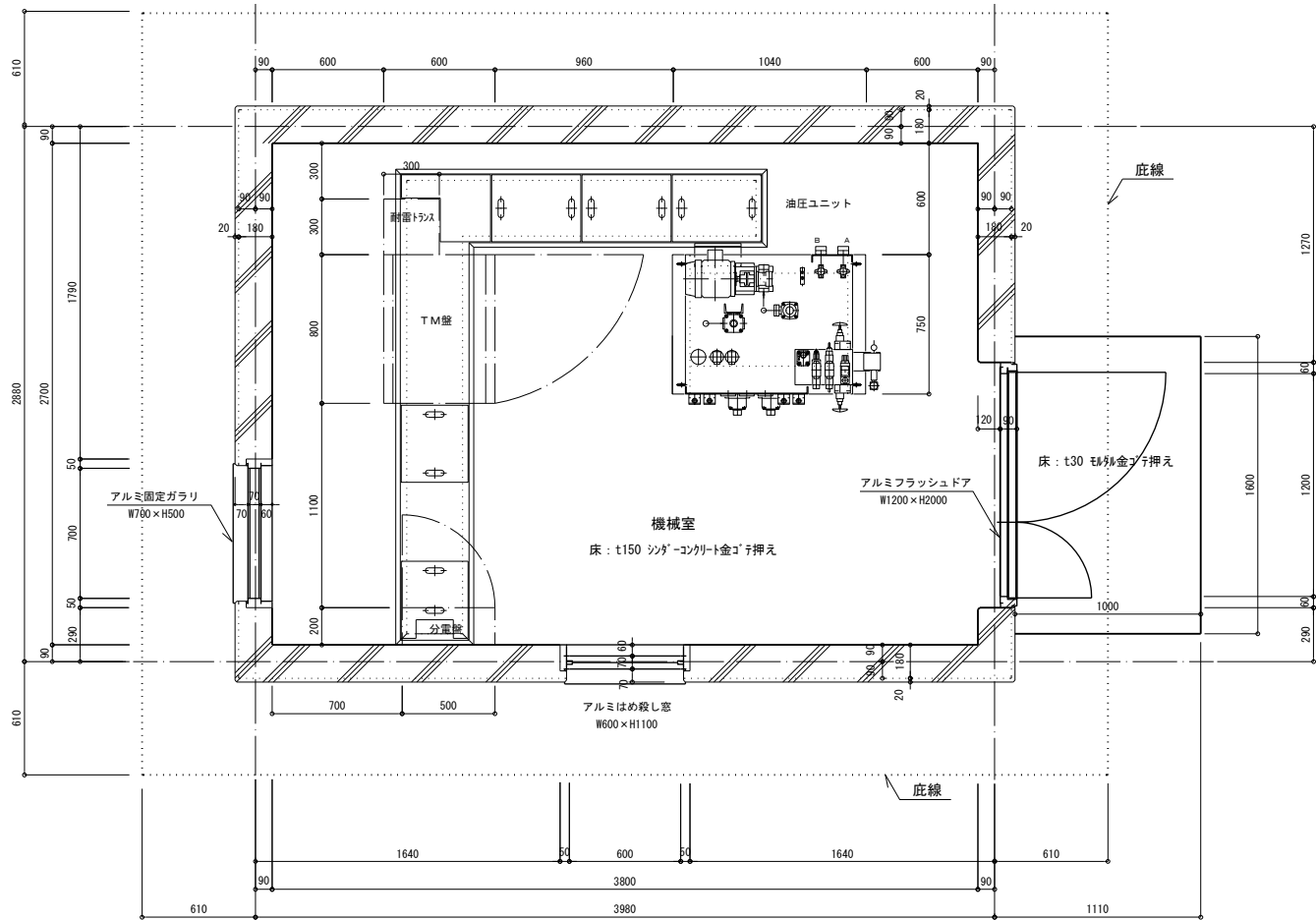
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	機械室建屋構造図 (6/12)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:50 A2 1:70	図面番号	5-52/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

機械室建屋構造図

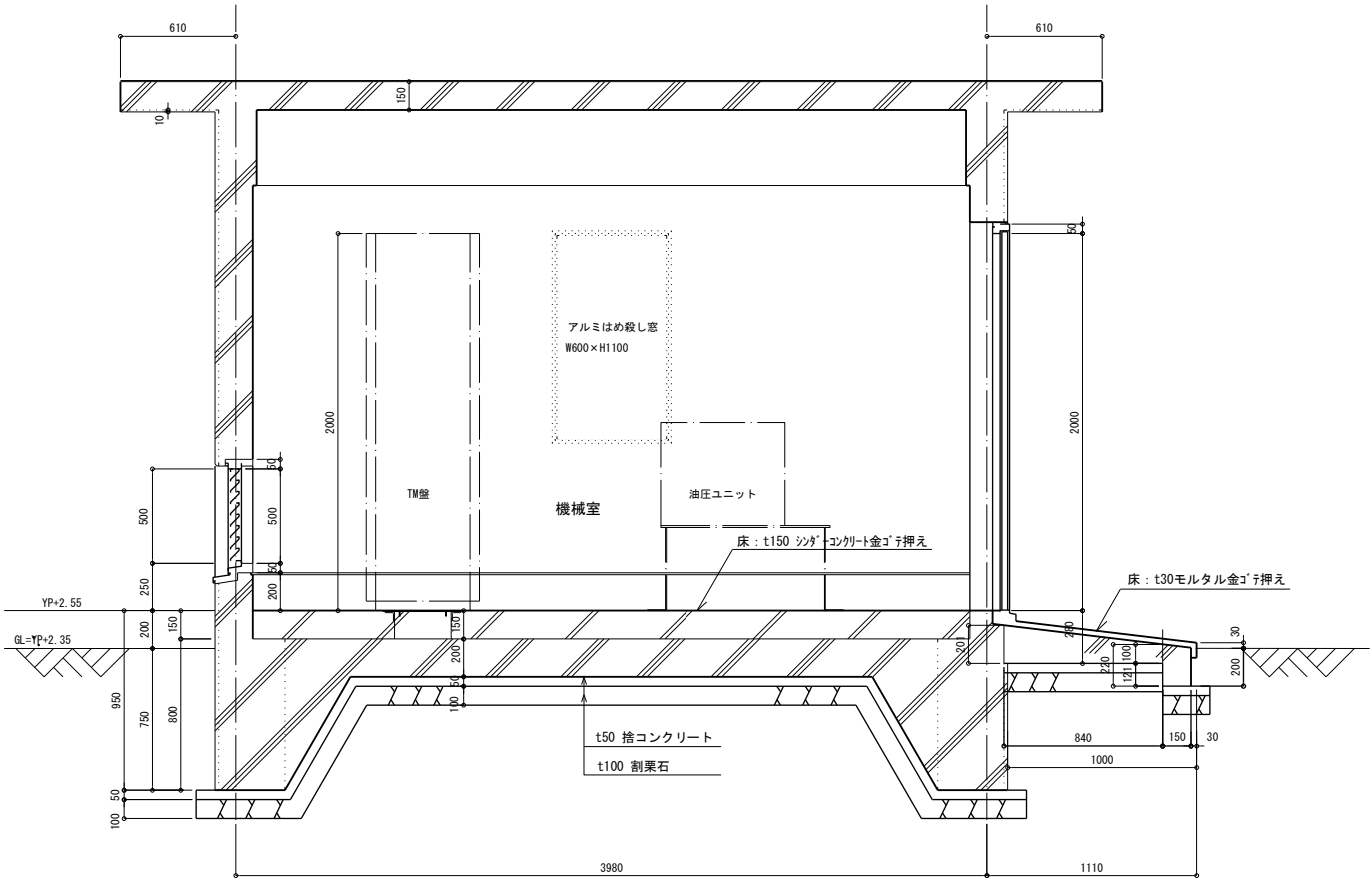
(機械室建屋詳細図)

S=1/20

平面詳細図

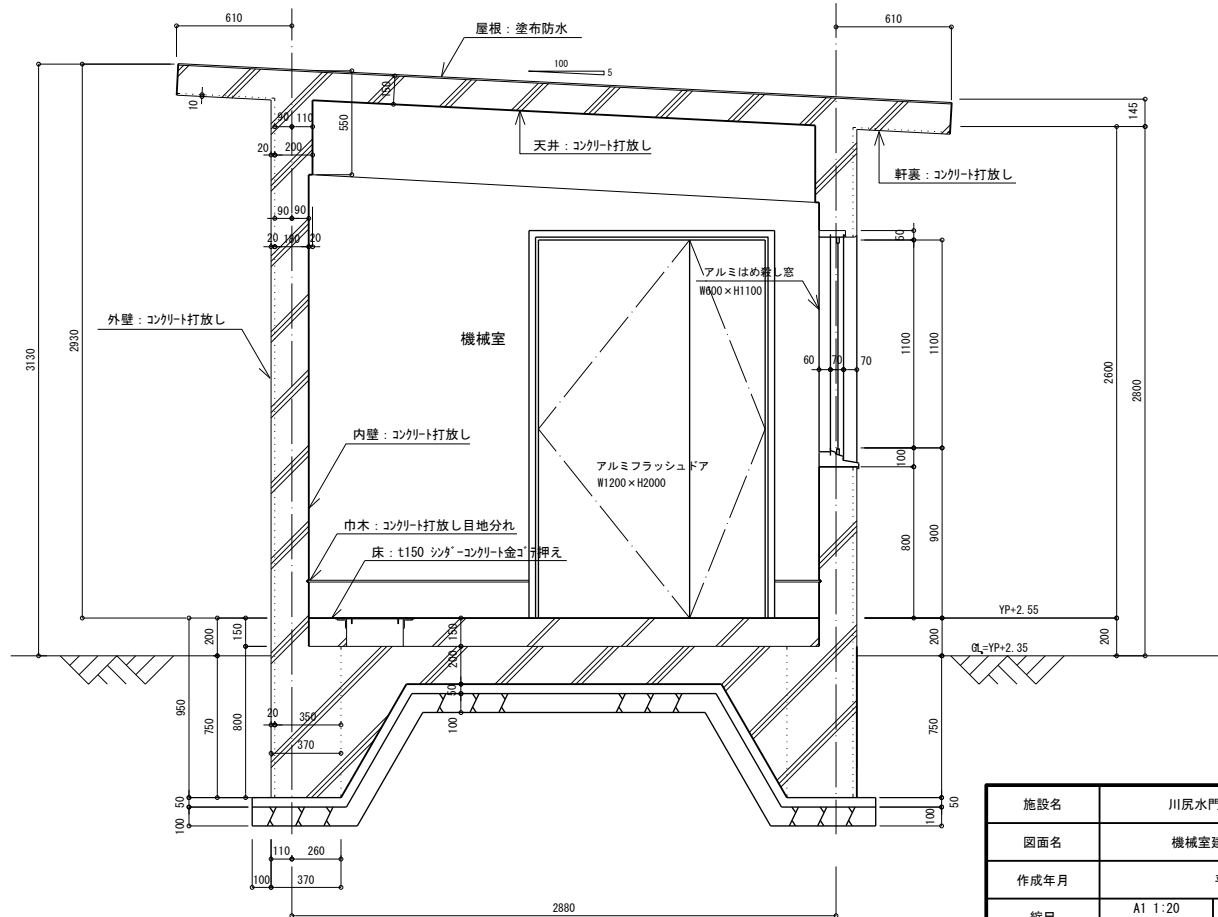


断面詳細図



建 具 表

符 号	数 量	1	1	1	1
見 込	見 込	AD	AW	AG	AW
型 式	親子開アルミフラッシュ戸	親子開アルミフラッシュ戸	親子開アルミフラッシュ戸	親子開アルミフラッシュ戸	親子開アルミフラッシュ戸
材 質	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
姿 図					
仕 上	シルバー	シルバー	シルバー	シルバー	シルバー
枠	アルミ	ステンレス	アルミ	アルミ	アルミ
水切	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
ガラス	t6.8 網入透明ガラス	t6.8 網入透明ガラス	t6.8 網入透明ガラス	t6.8 網入透明ガラス	t6.8 網入透明ガラス
金 物	丁番、ドアロック、レバー・ハンドル、フランス落し、シリンダー錠、戸当り	クレセント・付属金物一式	クレセント・付属金物一式	クレセント・付属金物一式	クレセント・付属金物一式
備 考	丁番 (3枚吊り)				固定アミ戸 (ステンレス)

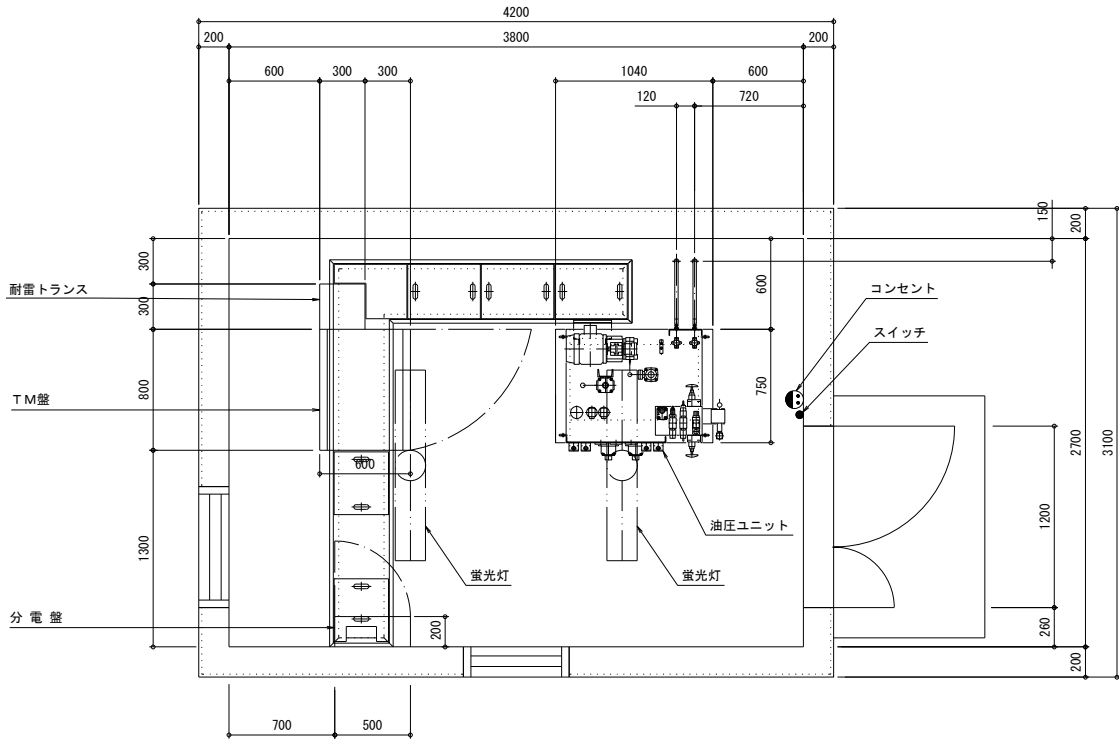


施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	機械室建屋構造図 (7/12)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:20 A2 1:28	図面番号	5-53/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

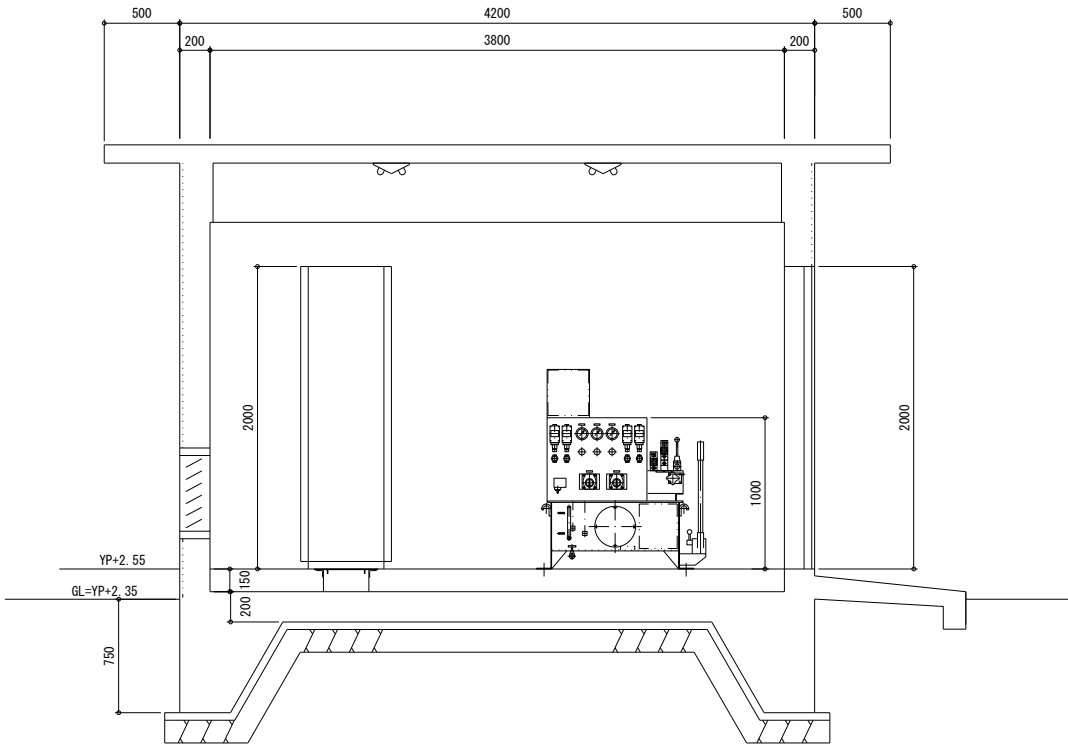
機械室建屋構造図

(機械室建屋内配置図)

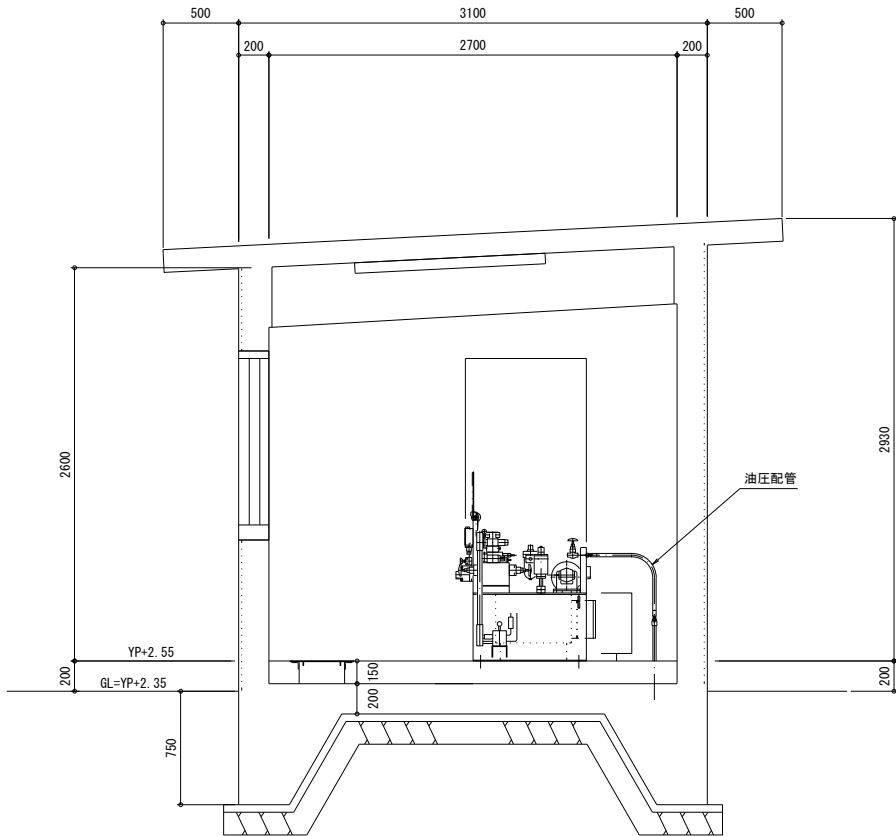
S=1/25



平面図



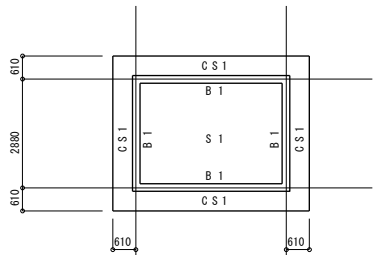
正面図



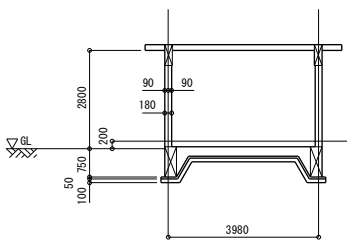
側面図

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	機械室建屋構造図 (8/12)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:25 A2 1:35	図面番号	5-54/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

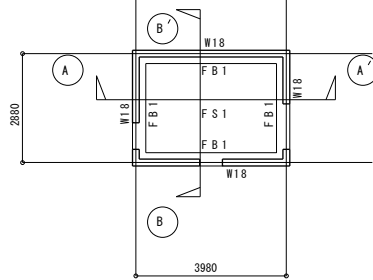
機械室建屋構造図



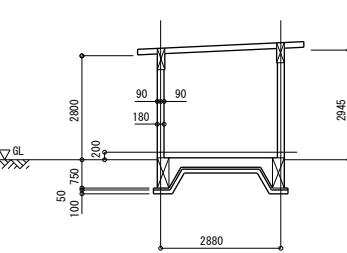
R 階床梁伏図 1/100



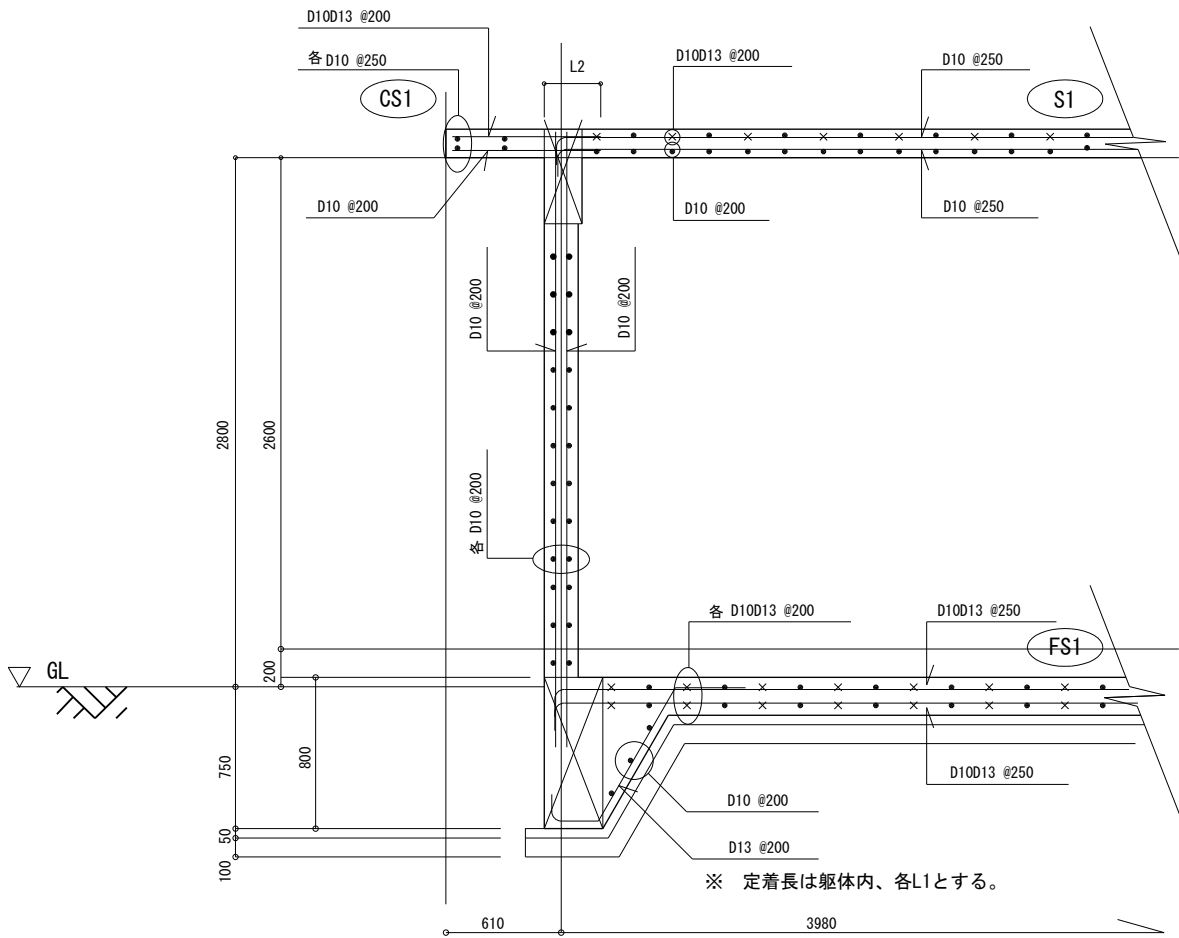
A - A' 断面図 1/100



1 階床梁伏図 1/100

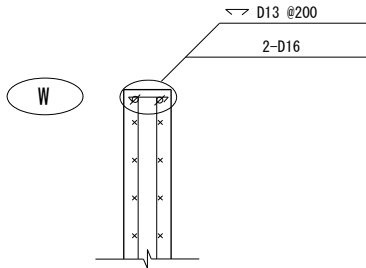


B - B' 断面図 1/100

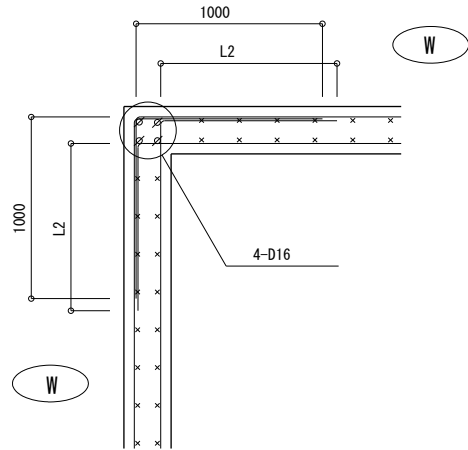


A - A' 配筋詳細図 1/20

壁上部要領 1/20



横筋定着要領図 1/20



※ コーナー部横筋直行躯体内に外側 L=1000定着 内側 L2

小梁リスト 1/40 注記 1. 巾止筋 D10-@1000 以内とする。

符 号	B 1	F B 1	
		端 部	中 央
位 置	全断面		
断 面			
b x D	200 x 550	350 x 800	
上端筋	2 - D 16	3 - D 2 2	3 - D 2 2
下端筋	2 - D 16	3 - D 2 2	3 - D 2 2
スターラップ	□ - D 10 - @ 250	□ - D 13 - @ 250	
腹 筋		2 - D 13	

使用材料
コンクリート 設計基準強度 : FC21 (品質基準強度は+3Nとする)
鉄 筋 D10 ~ D16 : SD295A D19 ~ D22 : SD345 D29 : SD390

スラブリスト 1/40 注記 1. 使用材料 鉄筋 D10～D13 : SD295A

符号	t 版厚	位置	短 辺 (主筋)				長 辺 (配力筋)				配筋 タイプ
			中 央		隅 部 (C)(D)	中 央		隅 部 (A)(D)			
			端 部 (A)	中 央 (B)		端 部 (C)	中 央 (B)				
S 1	150	上端筋	D10D13 #200	→	→	D10 #250	→	→	B		
		下端筋	D10 #200	→	→	D10 #250	→	→	モチアミ		
FS 1	200	上端筋	D10D13 #200	→	→	D10D13 #250	→	→	B		
		下端筋	D10D13 #200	→	→	D10D13 #250	→	→	モチアミ		
		上端筋									
		下端筋									

片持スラブリスト 1/40 注記 1. 使用材料 鉄筋 D10～D13 : SD295A

符 号	版 厚		位 置	主 筋	配力筋	備 考
	元 端	先 端				
CS1		150	上端筋	D10D13 #200	D10 #250	
			下端筋	D10 #200	D10 #250	
			上端筋			
			下端筋			

配筋タイプ			キープラン	スラブ配筋要領図
タイプ	中 央 O-O-O	端 部 O-O-O		
A				
B				

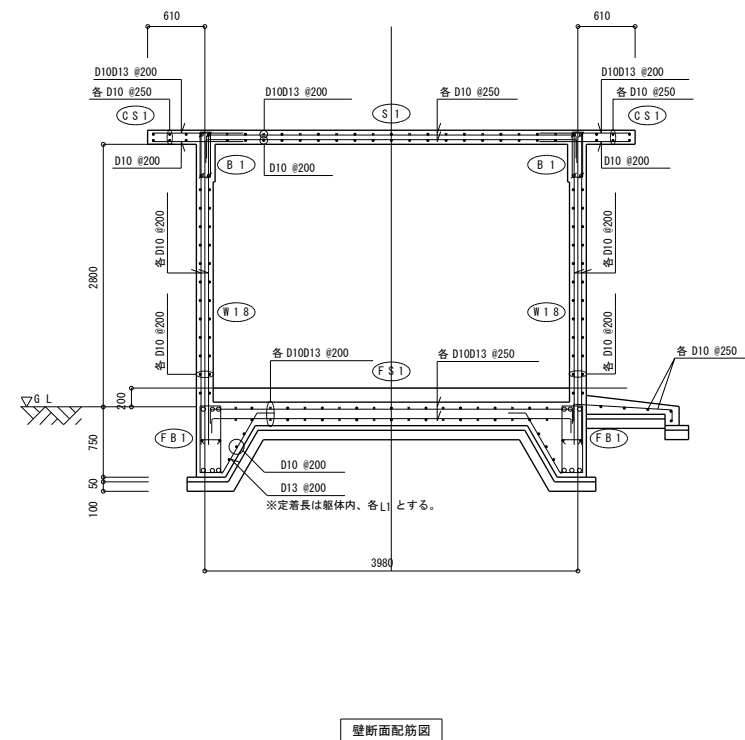
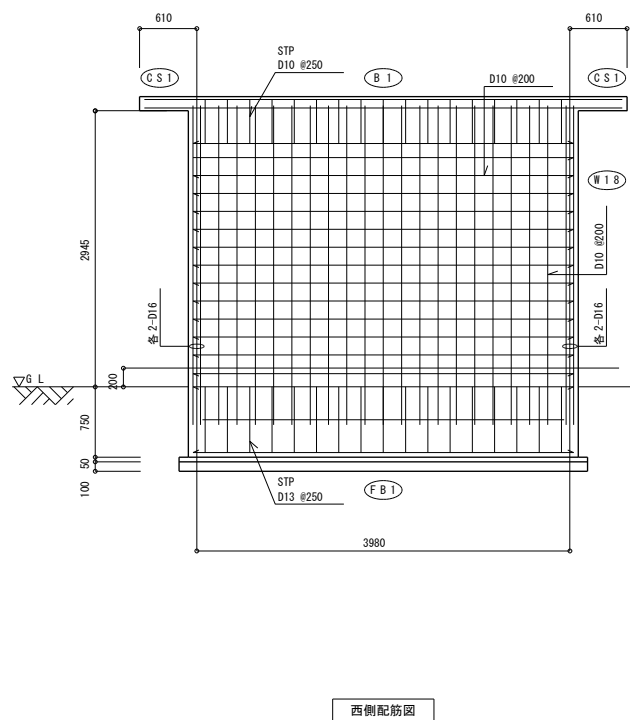
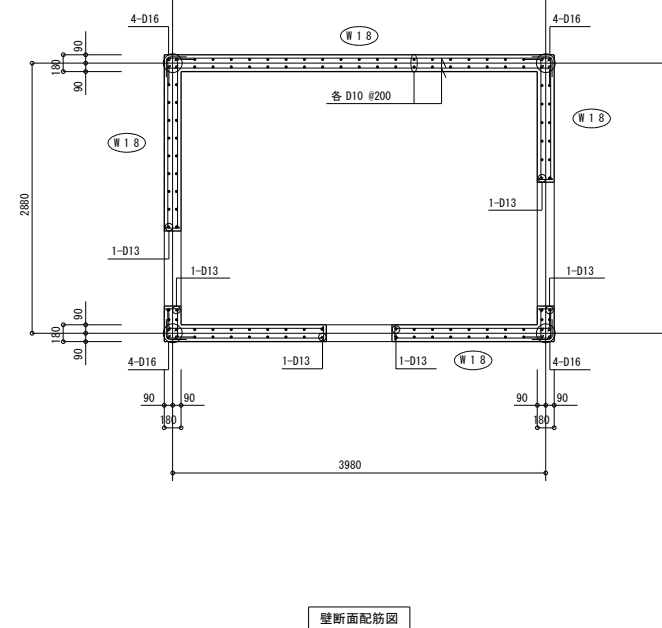
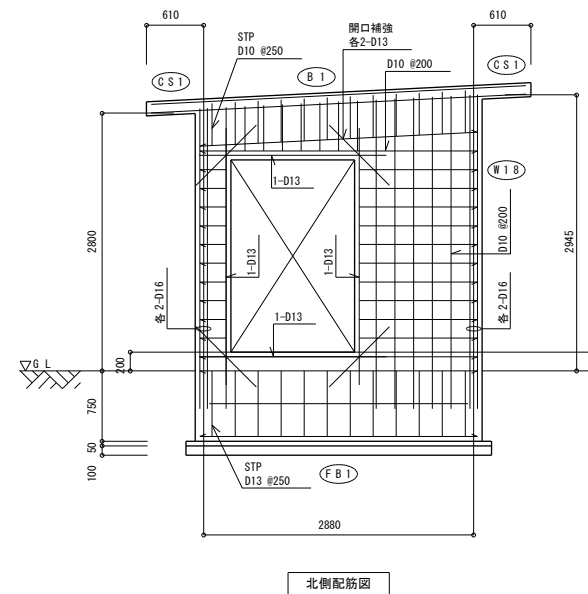
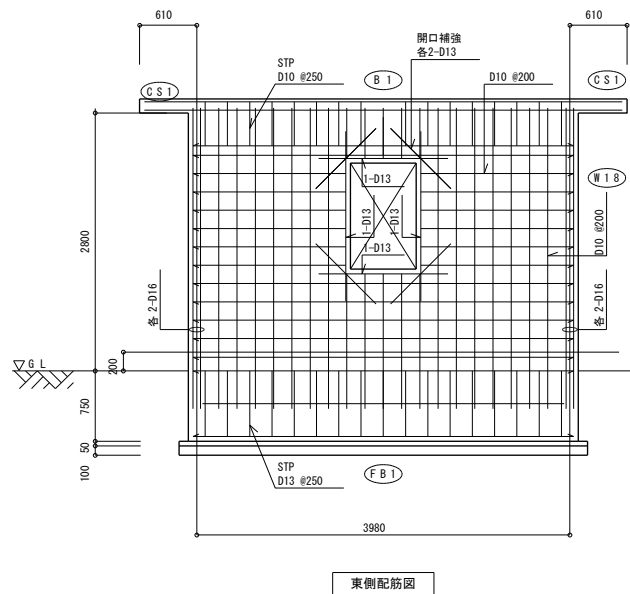
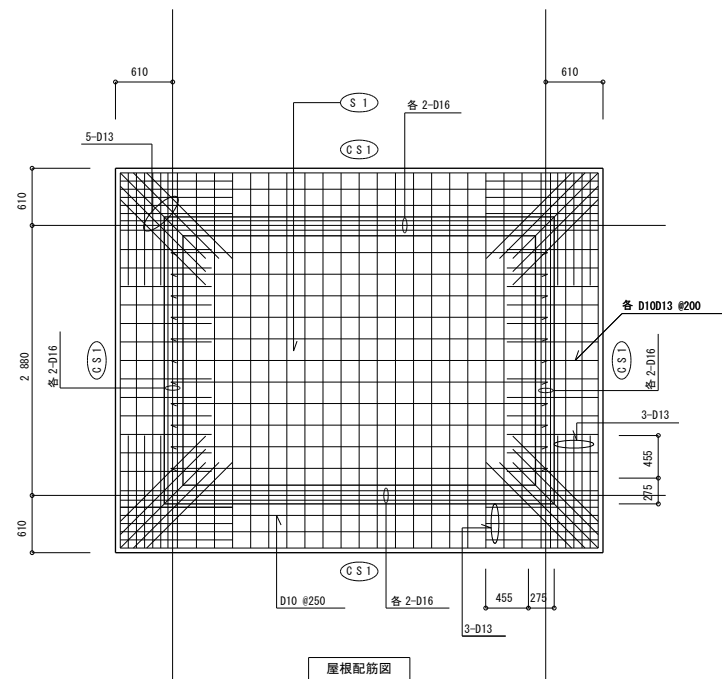
壁リスト 1/40 注記 1. 巾止筋 D10-@1000以内とする
2. 使用材料 鉄筋 D10～D13 : SD295A

符 号	W18	
立断面		
縦 筋	D10 #200	ダブル
横 筋	D10 #200	ダブル
開 口 補強筋	縦	1 - D 13
	斜メ	1 - D 13

※ 現地地盤の地耐力は30KN/m2以上確保する事。

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	機械室建屋構造図 (9/12)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-55/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

機械室建屋構造図
(機械室建屋配筋図) S=1/40

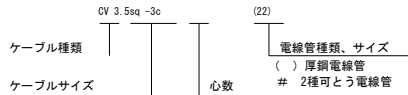


施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	機械室建屋構造図 (10/12)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:40 A1 1:56	図面番号	5-56/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

機械室建屋構造図
(機械室建屋配線配管系統図)

図示記号表

記 号	名 称
— — — — —	埋設配管
— — — — —	露出配管
— — — — —	ビット内配管
~~~~~	二種可とう電線管

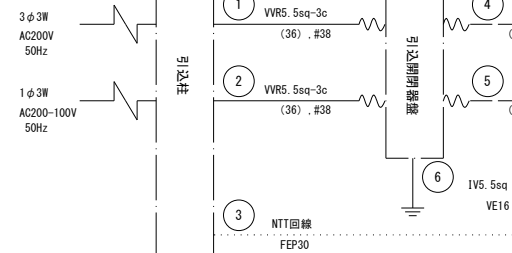


ブルボックス：防水タイプ

No. 1～4	500×500×300 (SUS)
No. 5	600×600×400 (SUS)
No. 6	400×400×300 (SUS)
No. 7～10	200×200×150 (SUS)
No. 11	600×600×400 (SUS)
No. 12	200×200×150 (SUS)

ハンドホール：中加重鉄蓋付

No. 1	600×600×900
-------	-------------



配線・配管表

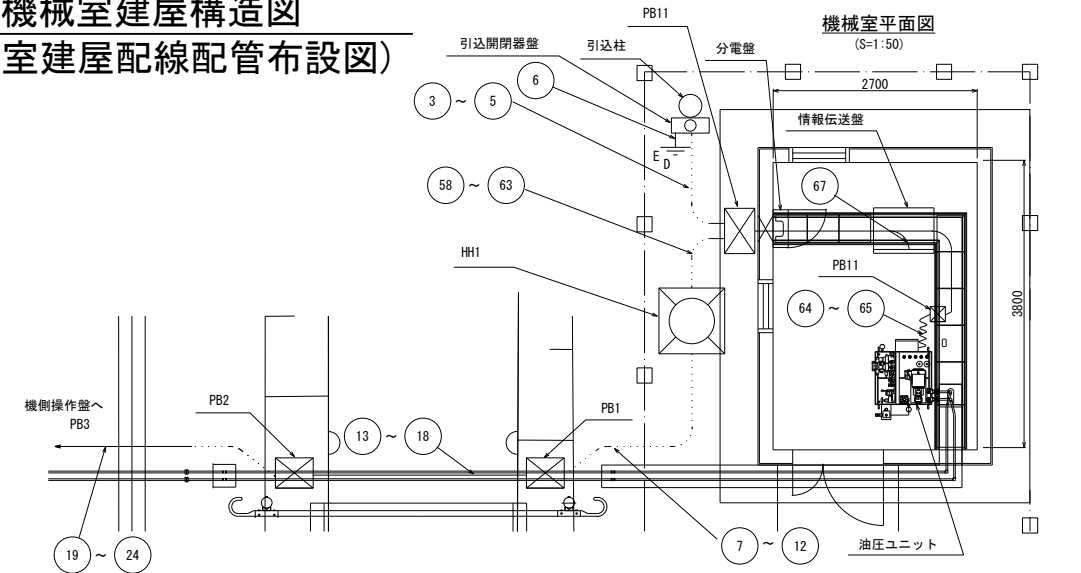
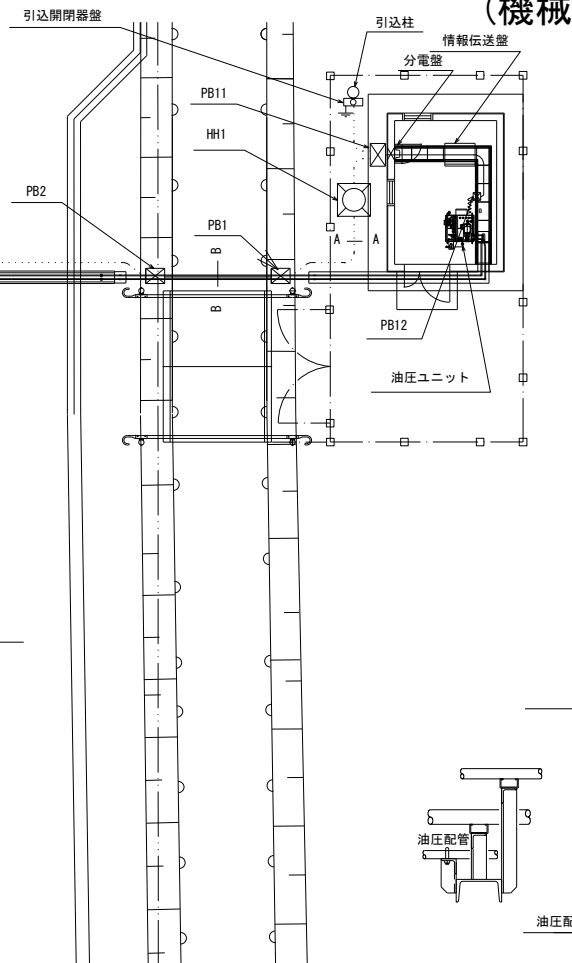
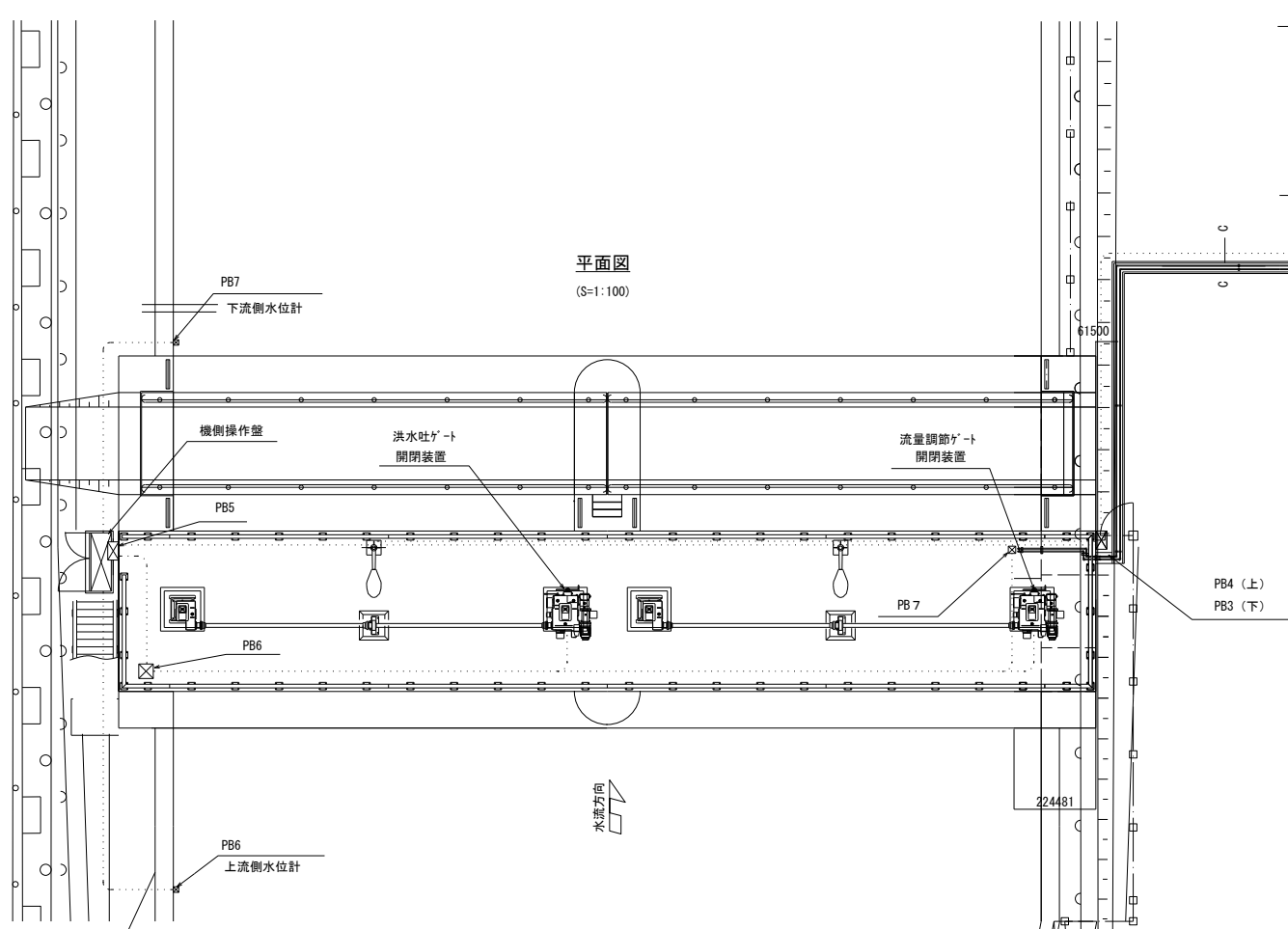
番号	ケーブル	電線管	可とう管	備 考
1	VVR5. 5sq-3c	(36)	#38	引込柱～引込開閉器盤
2	VVR5. 5sq-3c	(36)	#38	
3	N T T 回線 (N T T 施工)	FEP30		引込柱～No. 117' 鉢' ヱッス
4	CV5. 5sq-4c	FEP40/ (36)	#38	引込開閉器盤～No. 117' 鉢' ヱッス
5	CV5. 5sq-3c	FEP40/ (36)	#38	
6	IV5. 5sq	VE16		引込開閉器盤～接地棒
7	CV8sq-4c, CV3. 5sq-4c	FEP40		No. 1' ハンド' ネ-ル～No. 17' 鉢' ヱッス
8	CV14sq-2c	FEP40		
9	CVV2sq-10c×3	FEP65		
10	光ケーブル	FEP40		
11	C—	FEP65		
12	CV3. 5sq-3c	FEP30		
13	CV8sq-4c, CV3. 5sq-4c	(42)		No. 17' 鉢' ヱッス～No. 27' 鉢' ヱッス
14	CV14sq-2c	(36)		
15	CVV2sq-10c×3	(54)		
16	光ケーブル	(36)		
17	C—	(54)		
18	CV3. 5sq-3c	(28)		

番号	ケーブル	電線管	可とう管	備 考
19	CV8sq-4c, CV3. 5sq-4c	FEP40		No. 27' 鉢' ヱッス～No. 37' 鉢' ヱッス (とう管横断箇所使用)
20	CV14sq-2c	FEP40		
21	CVV2sq-10c×3	FEP65		
22	光ケーブル	FEP40		
23	C—	FEP65		
24	CV3. 5sq-3c	FEP30		
25	CV8sq-4c, CV3. 5sq-4c	(42)		No. 37' 鉢' ヱッス～No. 47' 鉢' ヱッス
26	CV14sq-2c	(36)		
27	CVV2sq-10c×3	(54)		
28	光ケーブル	(36)		
29	C—	(54)		
30	CV3. 5sq-3c	(28)		
31	CV8sq-4c, CV3. 5sq-4c	(42)		No. 47' 鉢' ヱッス～No. 57' 鉢' ヱッス
32	CV14sq-2c	(36)		
33	CVV2sq-10c×3	(54)		
34	光ケーブル	(36)		
35	C—	(54)		
36	CV3. 5sq-3c	(28)		No. 47' 鉢' ヱッス～水銀灯1取出口
37	CV3. 5sq-3c	(28)		水銀灯1取出口～水銀灯2取出口
38	CV8sq-4c, CV3. 5sq-4c	(42)		No. 57' 鉢' ヱッス～機側操作盤
39	CV14sq-2c	(36)		
40	CVV2sq-10c×3	(54)		
41	光ケーブル	(36)		
42	C—	(54)		

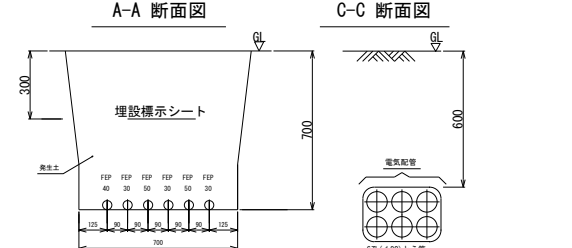
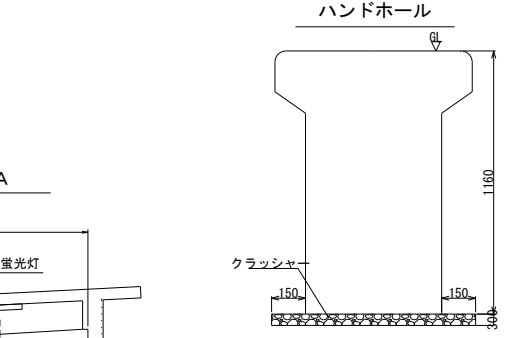
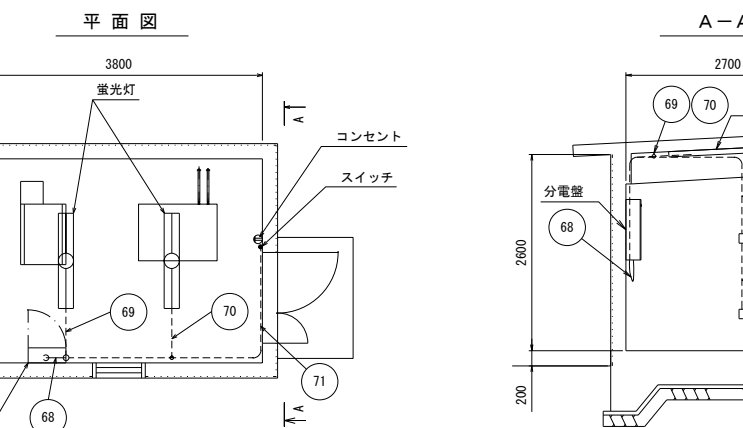
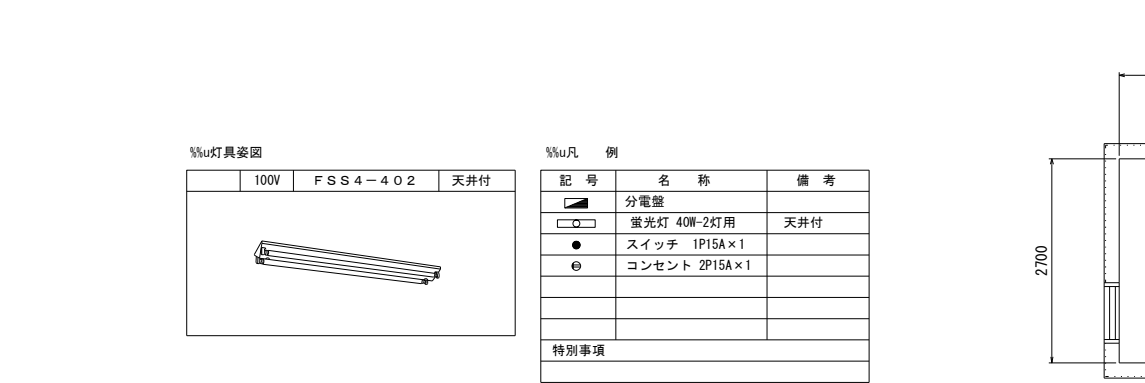
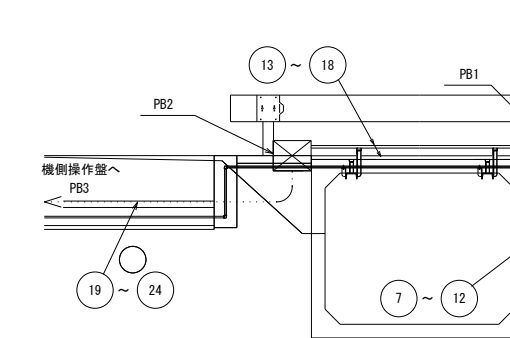
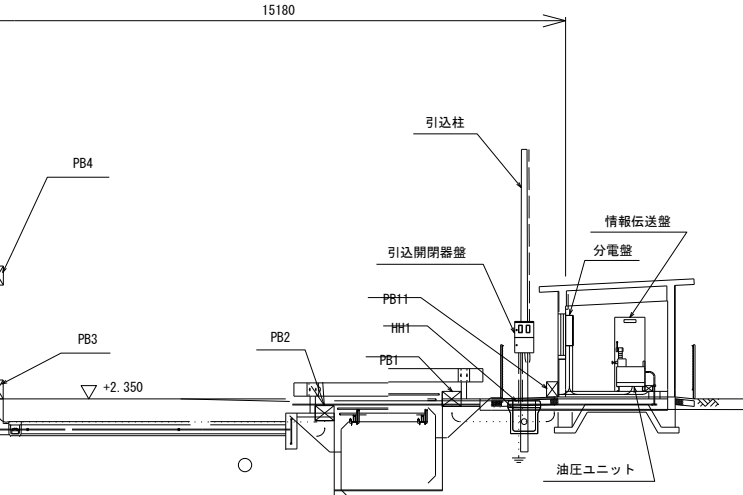
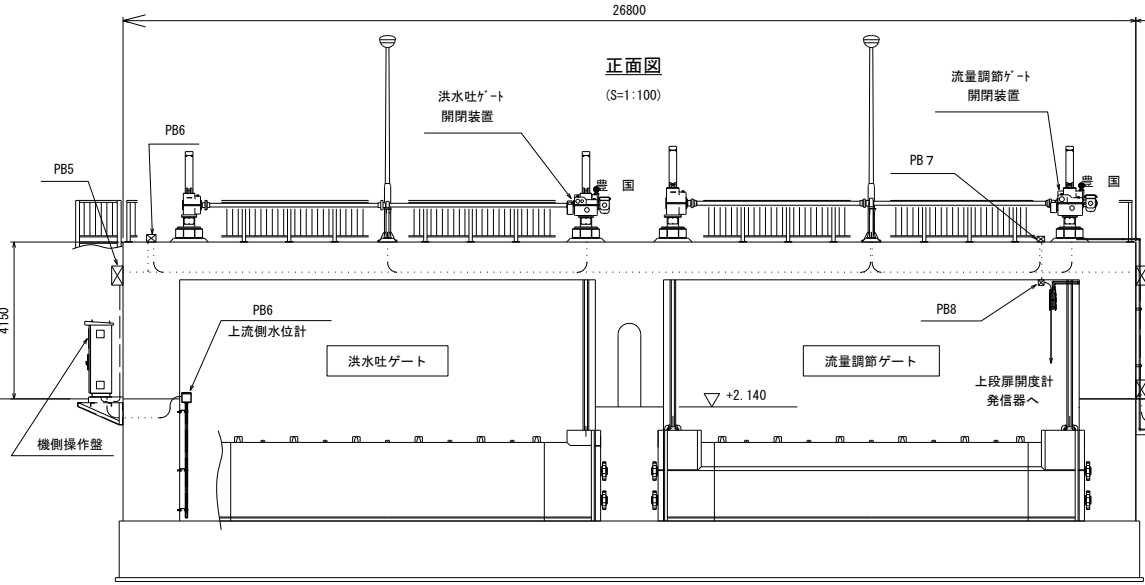
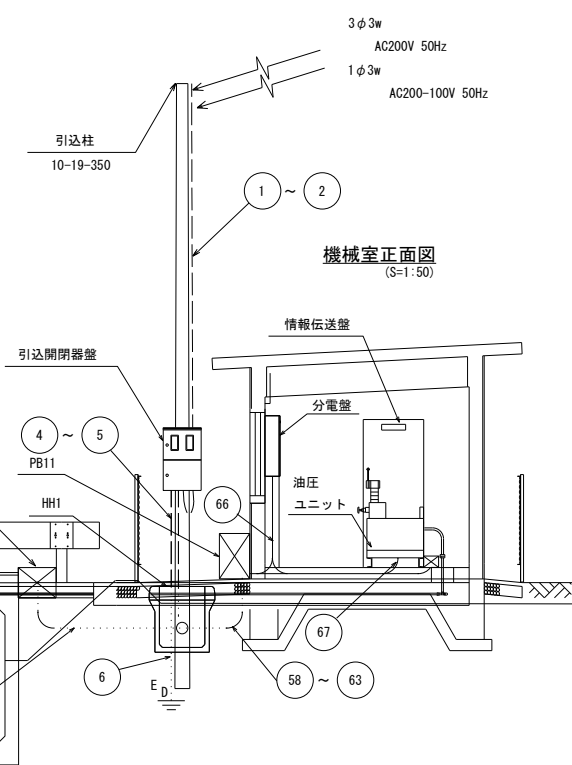
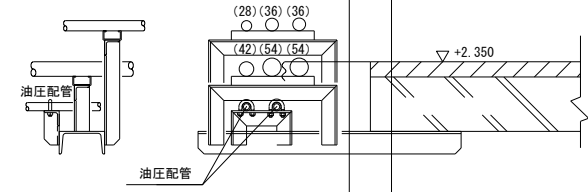
番号	ケーブル	電線管	可とう管	備 考
43	CV3. 5sq-4c, CV5. 5sq-4c	(42)		機側操作盤～No. 57' 鉢' ヱッス
44	CVV2sq-15c×2, 専用ケーブル	(54)		
45	CV3. 5sq-4c, CV5. 5sq-4c	(42)		No. 57' 鉢' ヱッス～No. 67' 鉢' ヱッス
46	CVV2sq-15c×2, 専用ケーブル	(54)		
47	CV3. 5sq-4c	(28)	#30	No. 67' 鉢' ヱッス～洪水吐ゲ-ト開閉機
48	CVV2sq-15c	(36)	#38	
49	CV5. 5sq-4c	(28)	#30	No. 67' 鉢' ヱッス～下段扉開閉機
50	CVV2sq-15c	(36)	#38	
51	シンクロ専用ケーブル	(28)		No. 67' 鉢' ヱッス～No. 77' 鉢' ヱッス No. 77' 鉢' ヱッス～No. 87' 鉢' ヱッス
52	シンクロ専用ケーブル	(28)		No. 97' 鉢' ヱッス～上段扉用シンクロ
53	シンクロ専用ケーブル			No. 97' 鉢' ヱッス～上流側水位計
54	水位計専用ケーブル			No. 97' 鉢' ヱッス～下流側水位計
55	水位計専用ケーブル			No. 107' 鉢' ヱッス～下流側水位計
56	水位計専用ケーブル			No. 107' 鉢' ヱッス～下流側水位計
57	水位計専用ケーブル			No. 107' 鉢' ヱッス～下流側水位計
58	CV8sq-4c, CV3. 5sq-4c	FEP40		No. 1' ハンド' ネ-ル～ No. 117' 鉢' ヱッス (ビット)
59	CV14sq-2c	FEP40		
60	CVV2sq-10c×3	FEP65		
61	光ケーブル	FEP40		
62	C—	FEP65		
63	CV3. 5sq-3c	FEP30		
64	CV3. 5sq-4c		#30	ビット (No. 127' 鉢' ヱッス) ～ 油圧ユニット
65	CVV2sq-10c×2		#63	
66	CV8sq-4c, CV5. 5sq-4c CV5. 5sq-3c CV14sq-2c, CV3. 5sq-3c			ビット～分電盤
67	CV3. 5sq-3c, 光ケーブル CVV2sq-10c, N T T 回線 (N T T 施工)			ビット～情報伝送盤
68	IV1. 6sq×2, IV2. 0sq×2	(19)	#17	分電盤～蛍光灯, スイッチ, コンセント
69	IV1. 6sq×2	(19)		分電盤～蛍光灯 1
70	IV1. 6sq×2	(19)		分電盤～蛍光灯 2
71	IV1. 6sq×2, IV2. 0sq×2	(19)		分電盤～スイッチ
72	IV2. 0sq×2	(19)		分電盤～コンセント

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	機械室建屋構造図 (11/12)		
作成年月	平成26年3月		
縮尺		図面番号	5-57/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

機械室建屋構造図  
(機械室建屋配線配管布設図)



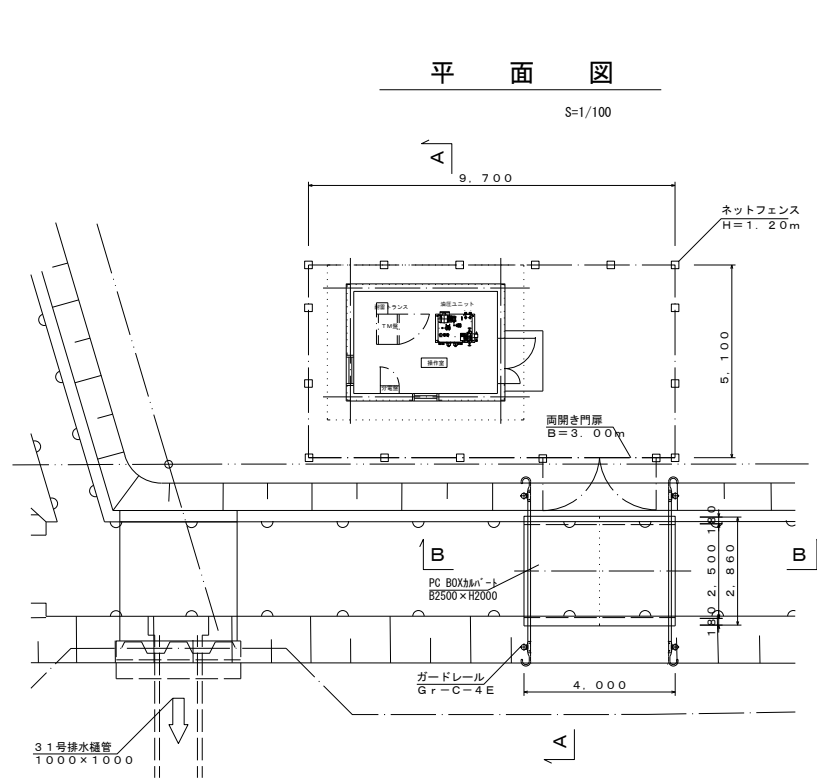
B-B



図示記号表

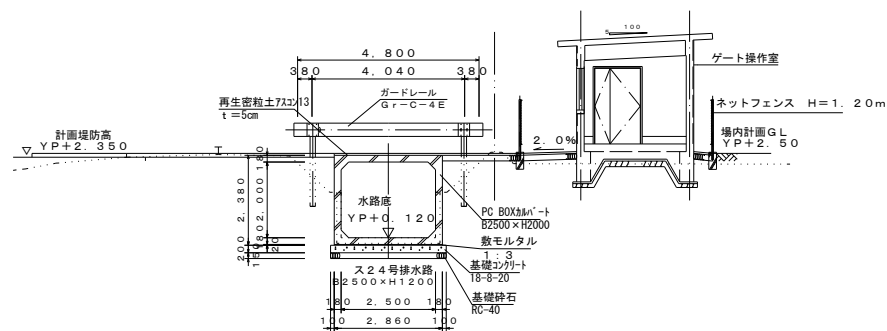
記号	名称
.....	埋設配管
----	露出配管
----	ビット内配管
~~~~~	二種可とう電線管

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)
図面名	機械室建屋構造図 (12/12)
作成年月	平成26年3月
縮尺	A1 1:100 A1 1:141
図面番号	5-58/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所



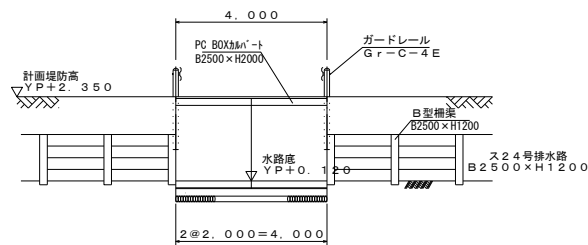
A-A断面図

S=1/100



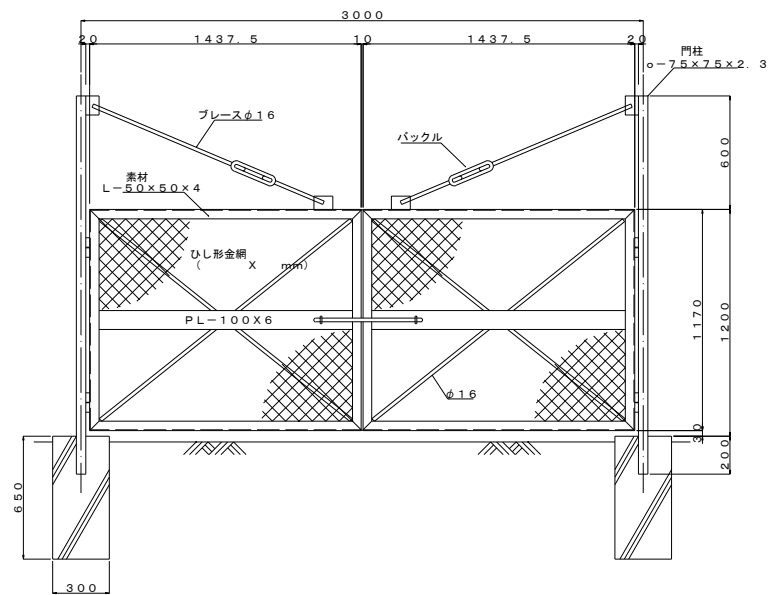
B-B断面図

S=1/100



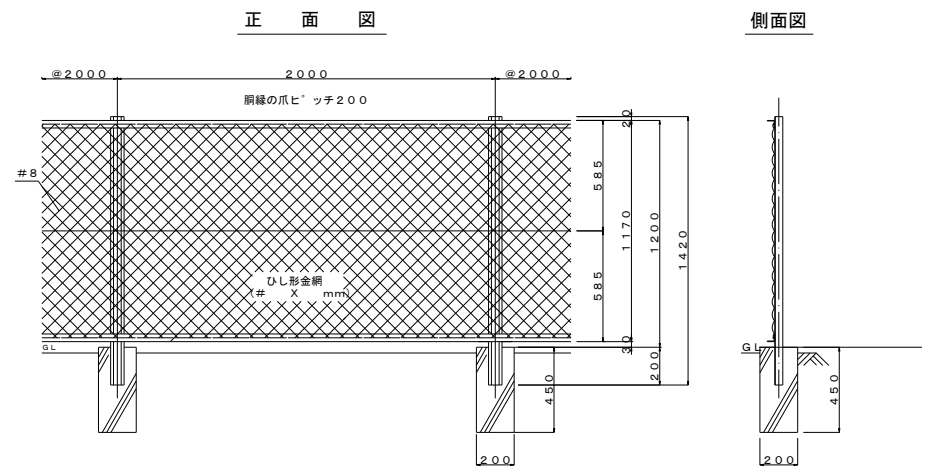
両開き門扉

S=1/20

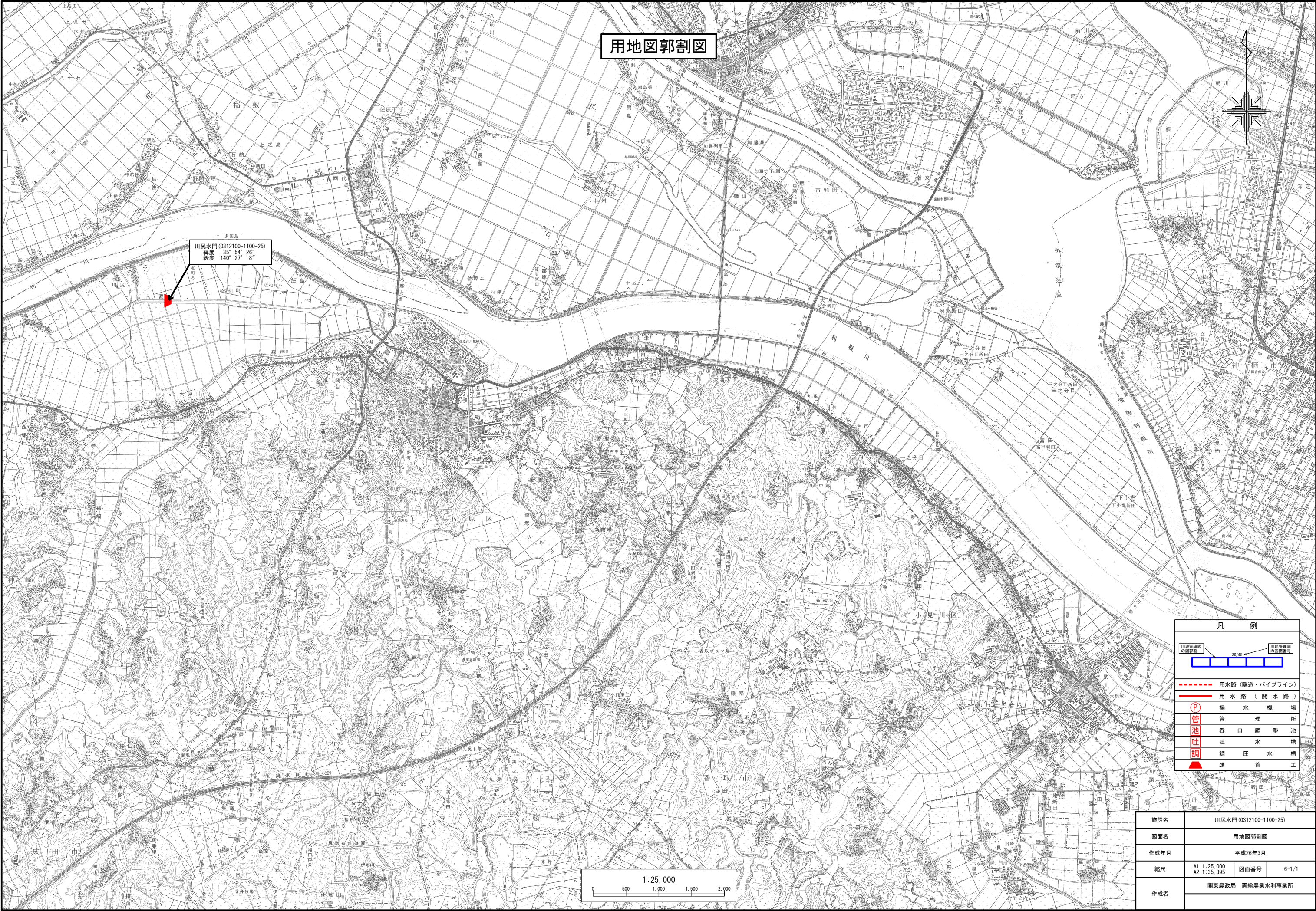


ネットフェンス

S=1/20

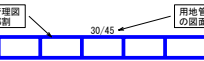
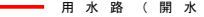


施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	機械室廻り整備工図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 図示	図面番号	5-59/59
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

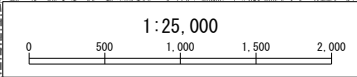


用地図郭割図

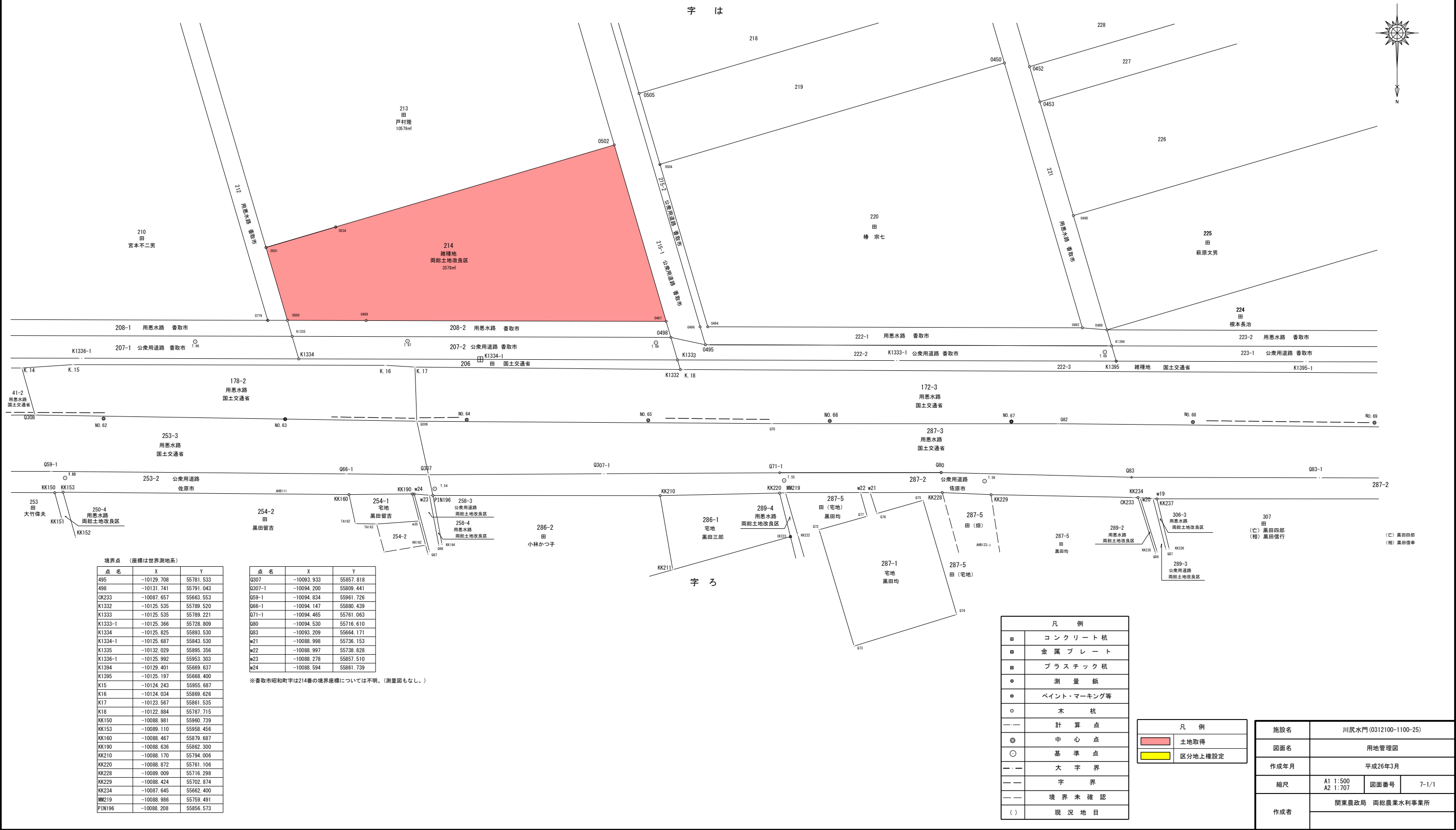
川尻水門 (0312100-1100-25)
緯度 35° 54' 26"
経度 140° 27' 8"

凡 例	
	用地管理図の図面番号
	用水路 (隧道・パイプライン)
	用水路 (開水路)
	揚水機
	管
	池
	吐
	調
	頭首工

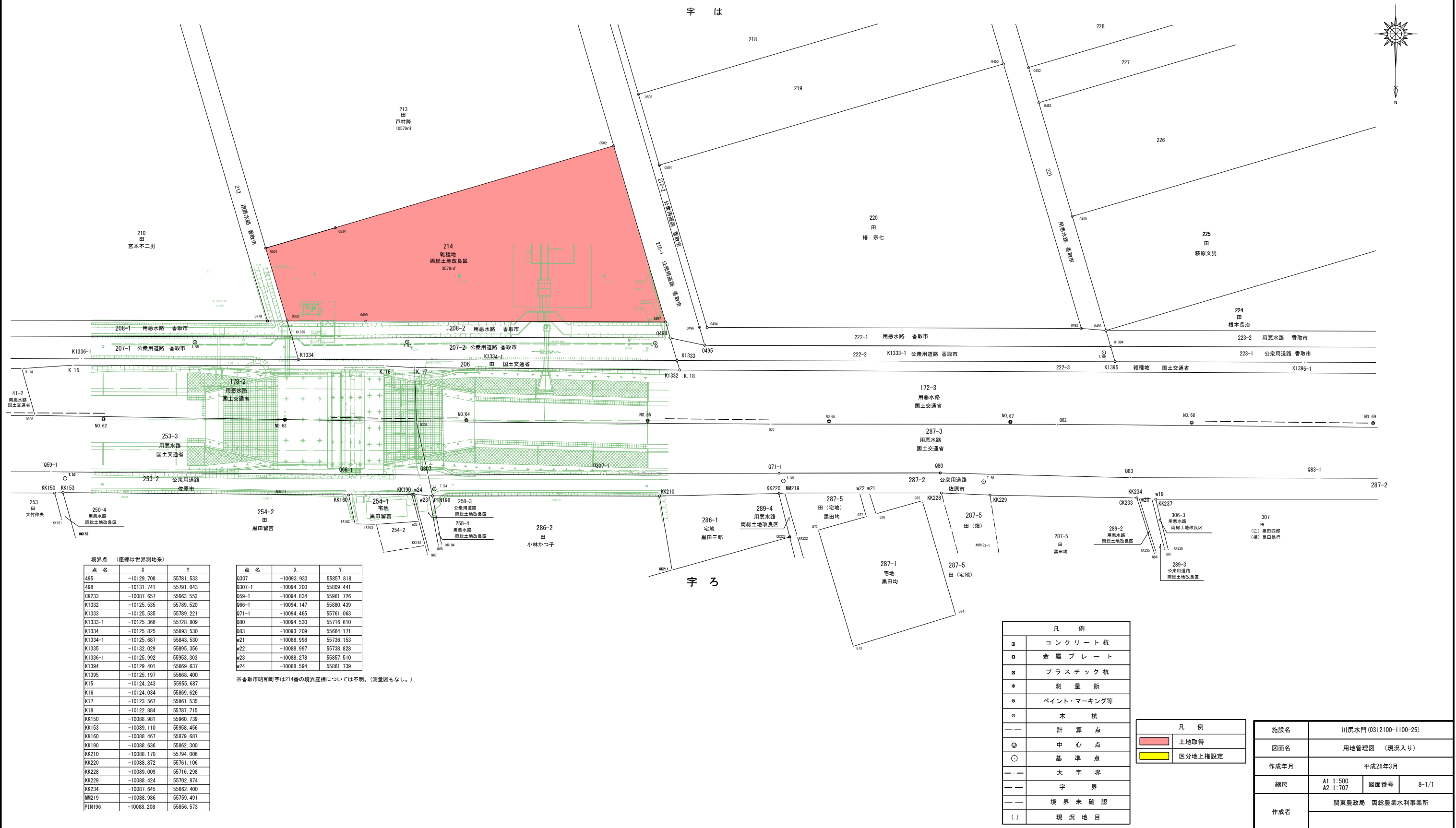
施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	用地図郭割図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:25,000 A2 1:35,395	図面番号	6-1/1
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		



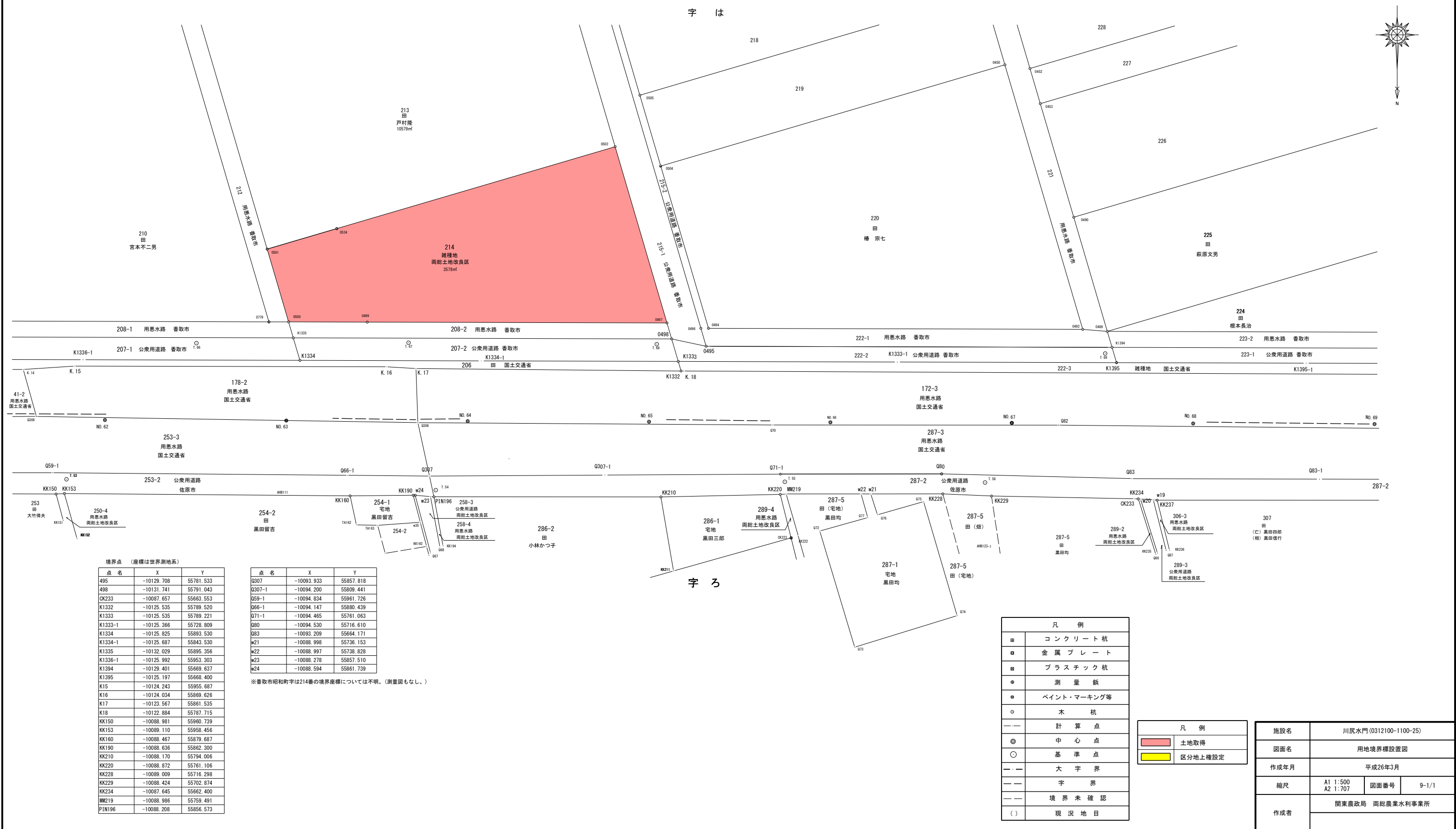
香 取 市 昭 和 町



香取市昭和町



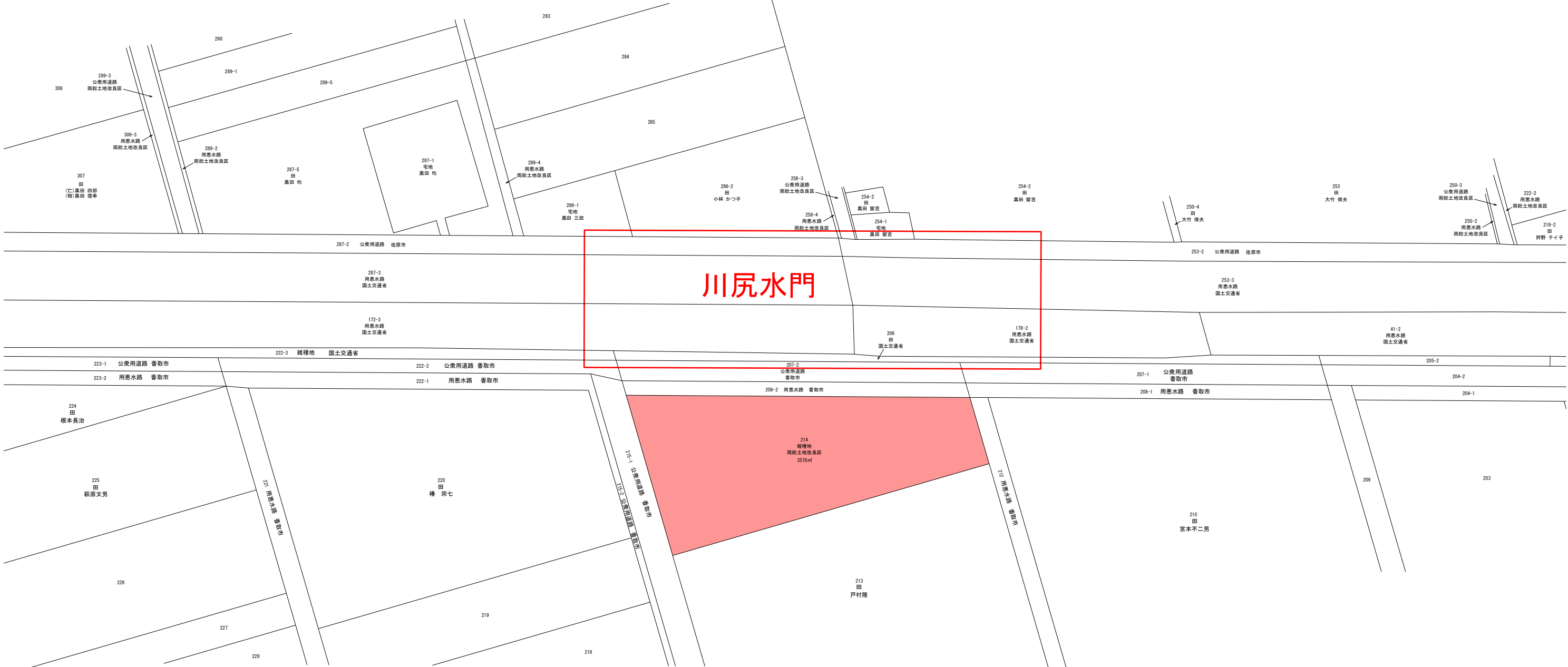
香取市昭和町



香 取 市



昭 和 町
字
S=1:600



昭 和 町
字
S=1:600

凡 例		凡 例	
→●→●→●→	市 町 村 界	■	土地取得
→●→●→●→	大 字 界	■	区分地上権設定
→●→●→●→	字 界		

施設名	川尻水門 (0312100-1100-25)		
図面名	転写連続図		
作成年月	平成26年3月		
縮尺	A1 1:600 A2 1:849	図面番号	10-1/1
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		